官報 號外 大正十五年三月十七日 水曜日 内閣印刷局

○第五十一回帝國議會 衆議院議事速記錄第三十一號

大正十五年三月十六日(火曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第三十號

大正十五年三月十六日 午後一時開議

質問

一 金鵄勳章年金令改正卽行ニ關スル再質問(古川清君外一名提出)

二 東本願寺問題ニ關スル再質問(津崎尚武君提出)

三 松島遊廓移轉並政界革新ニ關スル質問(田崎信藏君提出)

四 綱紀肅正ニ關スル再質問(丹下茂十郎君提出)

五 株式取引所取締ニ關スル再質問(中山貞雄君提出)

六 森林政策ニ關スル再質問(佐藤富十郎君提出)

七 軍部ノ公金取扱方法ニ關スル質問(清瀨一郎君提出)

八 製鐵所ノ經營ニ關スル再質問(岡田伊太郎君外一名提出)

第一 出版物法案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第三 土地賃貸價格調査法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第五 海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第七 暴力行爲等處罰ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第九 獸醫師法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第十一 民事訴訟費用法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十二 民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十三 商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十四 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十五 人事訴訟手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十六 競賣法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十七 民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十八 破產法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十九 明治三十二年法律第五十號中改正法律案(外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第二十 刑事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第二十一 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第二十二 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第二十四 大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第二十六 製鐵業奬勵法改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十七 製鐵所特別會計法案(政府提出) 第一讀會

第二十八 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第二十九 土地收用法中郡長ノ職務ヲ定ムル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第三十一 都市計畫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三十二 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三十三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第三十四 產業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第三十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第三十六 大正十三年法律第十號中改正法律案(高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第三十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第三十八 大正十三年度第一豫備金支出ノ件
大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件
大正十四年度第二豫備金支出ノ件
大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件
大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件
自大正六年二月二十六日至大正九年六月二十五日臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)

第三十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

第四十 農業倉庫業法中改正法律案(政府提出) 第一讀ノ續(委員長報告)

第四十一 府縣會中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十二 市制中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十三 町村制中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十四 北海道會法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十五 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十六 水利組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十七 徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十八　日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）
第一讀會ノ續（委員長報告）
第四十九　農工銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）
第一讀會ノ續（委員長報告）
第五十　北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）
第一讀會ノ續（委員長報告）
第五十一　議員高橋熊次郎君懲罰事犯ノ件（委員長報告）

○議長（粕谷義三君）　諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一議員ノ異動左ノ如シ

大分縣第三區選出議員木下謙次郎君ノ補充トシテ羽田彦四郎君當選セラレタリ

一昨十五日若槻内閣總理大臣ヨリ粕谷議長宛大正十三年度國有財産增減總計算書及之ニ添付スヘキ各省ノ同增減報告書並會計檢査院檢査報告ヲ受領セリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

金鵄勳章年金ニ關スル法律案
提出者
古川　清君　青木　精一君
山口　義一君

俱知安町ニ區裁判所設置ニ關スル建議案
提出者
小池　仁郎君　淺川　浩君
一柳仲次郎君　山本　厚三君
手代木隆吉君　神部　爲藏君
澤田　利吉君

福井市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案
提出者
谷口宇右衛門君　土生　彰君
山口　嘉七君

金澤市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案
提出者
佐藤　實君　堀　喜幸君
米原於菟男君　室木彌次郎君
青山　憲三君

渡良瀨川改修工事速進ニ關スル建議案
提出者
阿由葉勝作君　飯塚春太郎君
高橋元四郎君

朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及促進ニ關スル建議案
提出者
牧山　耕藏君　箕浦　勝人君
川原　茂輔君　山本朶太郎君
松田　源治君　松山常次郎君
横山金太郎君　西　英太郎君
本多貞次郎君　高木益太郎君
野田　俊作君　湯淺　凡平君
佐藤　潤象君　河崎助太郎君
田中　讓君

貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
高井　商二君　藤澤萬九郎君
兼松寅太郎君　長田　桃藏君

淡水魚族增殖施設ニ關スル建議案
提出者　藤澤萬九郎君

關ヶ原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
藤澤萬九郎君　兼松寅太郎君
高井　商二君

北海道治水ニ關スル建議案
提出者
岡田伊太郎君　黑住　成章君
松實喜代太君　東　武君

北海道港灣修築ニ關スル建議案
提出者
黑住　成章君　東　武君
松實喜代太君　岡田伊太郎君

北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者
松實喜代太君　東　武君
黑住　成章君　岡田伊太郎君

北海道綜合大學ノ完成並高等教育機關設置ニ關スル建議案
提出者
東　武君　松實喜代太君
黑住　成章君　岡田伊太郎君

北海道漁港並船入澗築設ニ關スル建議案
提出者
黑住　成章君　東　武君
松實喜代太君　岡田伊太郎君

寺泊港修築ニ關スル建議案
提出者
中村　貞吉君　山田　又司君
中野　寅吉君

（以上三月十五日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

綱紀肅正ニ關スル再質問主意書
提出者
藤澤萬九郎君　高井　商二君

滋賀縣會ニ於ケル原案執行ニ關スル再質問主意書
提出者
藤澤萬九郎君　高井　商二君

（以上三月十五日提出）

農村振興ニ關スル再質問主意書
提出者　土井　權大君

（以上三月十六日提出）

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員山本芳治君外五名提出大阪市立高等商業學校昇格ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員加藤十四郎君提出店舗飾窗損壞行爲制裁的立法ニ關スル質問ニ對スル答辯書

（以上三月八日受領）

衆議院議員丸山浪彌君提出綱紀肅正ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

（以上三月九日受領）

衆議院議員長田桃藏君外一名提出京都府會決議無效ニ關スル質問ニ對スル答辯書

（以上三月十二日受領）

衆議院議員古川清君外一名提出金鵄勳章年金令改正卽行ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

衆議院議員津崎尙武君提出東本願寺問題ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田崎信藏君提出松島遊廓移轉並政界革新ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中山貞雄君提出株式取引所取締ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

衆議院議員佐藤富十郎君提出森林政策ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

衆議院議員清瀨一郎君提出軍部ノ公金取扱方法ニ對スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員岡田伊太郎君外一名提出製鐵所ノ經營ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

（以上三月十六日受領）

大阪市立高等商業學校昇格ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年二月十九日

提出者　山本　芳治　外五名

大阪市立高等商業學校昇格ニ關スル質問主意書

大阪市立高等商業學校昇格問題ハ年來ノ懸案ニシテ既ニ第四十九回議會ニ於テ之カ建議案ノ通過セルノミナラス當局ニ於テモ屢贊意ヲ表明セルニ拘ラス今日ニ至ルモ尙之カ實現ヲ見サル理由如何

右及質問候也

大正十五年三月八日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員山本芳治君外五名提出大阪市立高等商業學校昇格ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員山本芳治君外五名提出大阪市立高等商業學校昇格ニ關スル質問ニ對スル答辯書

大阪市立高等商業學校ヲ大學ト爲スコトハ大學ニ關スル根本規程タル大學令ノ改正ヲ必要トスルヲ以テ尙愼重ナル手續ヲ要ス

右及答辯候也

大正十五年三月八日

文部大臣　岡田　良平

店舗飾窗損壞行爲制裁的立法ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年二月二十日
提出者　加藤十四郎
店舗飾窗損壞行爲制裁的立法ニ關スル質問主意書

店舗ノ異彩タル飾窗ハ我カ國ニ於テ近時非常ノ進展ヲ遂ケツツアリ彼ノ先進文明國ノ如キハ之ヲ以テ普通建造物ノ單ナル一部トセス保險契約ノ獨立的對手物タルヲ認ムルモ準主格的物件タルノ性質アリトスレハナリ而モ玲瓏透明ヲ要スル結果トシテ無防備ノ狀態ニアルカ爲其ノ被ルヘキ侵害事實ハ將ニ益增加セムトスルノ狀アリ就中現代ニ於ケル都市ノ地域カ漸次商工中心區ト住宅區ニ分離セムトスル傾キアルト同時ニ自カラ看守上ノ困難ヲ招致セサル能ハサルカ故一朝不逞ノ徒出沒スルニ當テハ最危險ニ瀕シ易キ憂ナキニ非ス殷鑑遠カラス彼ノ銀座事件ニアリ若夫レ社會的現象ニモ霜ヲ履ムテ堅氷至ルノ觀アルヲ解セハ政府タルモノ今ノ時ニ當リテ舊時代ノ產物タル現行法規ノミニ甘ムセス更ニ痛切有力ナル立法ノ必要ヲ感セサルヤ或ハ現行刑法ニ建造物關係ノ規定アルカ爲之ヲ以テ足レリトスルノ意思ナリヤ如何

右及質問候也

大正十五年三月八日
內閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員加藤十四郎君提出店舗飾窗損壞行爲制裁的立法ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員加藤十四郎君提出店舗飾窗損壞行爲制裁的立法ニ關スル質問ニ對スル答辯書

犯情重キモノニ對シテハ嚴重ニ之カ取締ヲ爲スノ必要ヲ認メ近ク暴力行爲等處罰ニ關スル法律案ヲ提出スルコトト爲セリ

右及答辯候也

大正十五年三月二日
內務大臣　若槻禮次郎
司法大臣　江木　翼

綱紀肅正ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月二日
提出者　丸山　浪彌

綱紀肅正ニ關スル再質問主意書

現代ニ於テ官權ヲ利用シテ私利ヲ營ム者尠シトセス是レ綱紀ノ紊亂最太シキモノナリト認ム

右及再質問候也

追テ右ハ二月十六日質問書ヲ提出セシニ政府ハ今日ニ至リ漫然斯ル事實無キ旨答辯書ヲ發シタルカ予ハ其ノ事實ヲ演說シテ其ノ答辯ヲ煩ハサムト欲スルモノナリ政府ハ其ノ趣旨ヲ聽取シタル上ニ於テ口頭ヲ以テ詳細答辯セラレタシ

大正十五年三月九日
內閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員丸山浪彌君提出綱紀肅正ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員丸山浪彌君提出綱紀肅正ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

政府ハ斯ノ如キ事實ヲ認メス

右重ネテ及答辯候也

大正十五年三月九日
內閣總理大臣　若槻禮次郎

京都府會決議無效ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月四日
提出者　長田　桃藏
外一名

京都府會決議無效ニ關スル質問主意書

大正十四年十二月開會シタル京都府會通常會ニ於テ府會ノ少數派ニシテ單リ市部會ニ於テノミ多數ヲ有スル一派カ多數派タル郡部會及市郡聯帶會ノ議事ヲ妨ケテ之ヲ未決議ニ了ラシメムカ爲府會ノ最終期日ニ於テ先ツ議場ヲ占領シテ市部會ヲ開キ故ラニ議事ヲ延引シ時刻ノ切迫スルモ尙議場ヲ開ケ渡サス茲ニ於テ郡部會及聯帶會ハ府知事ニ對シ府參事會議場ニ於テ開會セムコトヲ要求シタルモ府知事ハ言ヲ左右ニ托シテ之ニ應セサルカ故ニ止ムヲ得ス先ツ郡部會ハ市部會カ占領シツツアル議場ニ入リ議事ヲ開キ議案全部ヲ議了シ聯帶會亦相續テ同議場ニ入リ同シク議案ヲ議了シ卽チ市郡部會聯帶會執レモ議事ヲ了ヘ府知事ハ閉會式ヲ行ヒタリ蓋京都府會議場ハ手廣ニシテ優ニ同時ニ二會ヲ開テ混雜セサルノ餘地アリ府參事會議場亦決シテ狹隘ニ非ス

事實ハ以上ノ如シ然ルニ府知事ハ市部會ノ決議ノミヲ有效トシ郡部會及聯帶會ノ決議ハ之ヲ認メス卽チ府縣制第八十五條「議決スヘキ事件ヲ議決セサルモノ」ノ條項ヲ適用シ目下事後ノ處分ヲ爲シツツアリ抑郡部會及聯帶會ハ法律命令ニ違ハス會議規則ニ背カス三十日ノ日子ヲ費シテ正當ニ審議ヲ重ネ議事ノ全部ヲ了ヘタルニ唯最終日時ニ於テ同時ニ同一議場ニ二會ヲ開クノ止ムヘカラサルニ至リタル一事ヲ因ヘテ其ノ決議ヲ無效トシ如上ノ處分ヲ爲スカ如キハ曲解モ亦太シカラスヤ殊ニ故意ヲ以テ議場ヲ占領シ他ヲ妨クル暴舉ニ出テタル市部會ノ決議ノミヲ有效トス爲スハ何事ソヤ若市部會ノ決議ヲ以テ有效ナリトスレハ郡部會及聯帶會ノ決議亦有效ナラサルヘカラス何トナレハ市議會ト雖亦同一議場ニ於テ同時ニ二會ヲ開キタルモノニ外ナラサレハナリ唯其ノ議場ニ入ルノ前後ニ依リテ一ハ以テ有效トシ一ハ以テ無效トスルカ如キハ明ニ矛盾ニ非スヤ且府知事カ府參事會議場ニ於テ開會スルコトヲ拒ミタルカ如キモ甚タ不可解ノコトナリト謂ハサルヘカラス元來府縣會ハ每時一定不變ノ場所ニ於テ開カサルヘカラサルカ如キ理由ナケレハ府知事ハ假令府會ノ要求ナシト雖同議場ニ於テ開會スルノ臨機ノ處置ニ出ツヘキ筈ナルニ却テ其ノ要求ヲ拒ムテ之ニ應セス遂ニ斯ル紛紜ヲ來サシメタルカ如キ其ノ處置果シテ誤ナシト謂フコトヲ得ヘキカ今若百步ヲ讓リテ郡部會及聯帶會ノ決議ヲ無效ナリト假定スルモ其ノ意思ノ表示ニ至リテハ兩會執レモ業ニ已ニ明確ナリ然レハ則チ府知事ハ輿論政治ノ本旨ニ鑑ミ其ノ表示サレタル意思ノ全部ヲ取リ是ニ依テ善後ノ處分ヲ爲スヘキハ當然ナリ若郡部會及聯帶會ノ決議ヲ無效トシ加之明確ニ表示サレタル意思ヲ捨テテ顧ミス原案ヲ執行スルカ如キ擧ニ出ムカ監督權ノ濫用自治體ノ不安之ヨリ大ナルハナシ政府ノ所見如何

右及質問候也

大正十五年三月十二日
內閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員長田桃藏君外一名提出京都府會決議無效ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

內務省發地第二五號

衆議院議員長田桃藏君外一名提出京都府會決議無效ニ關スル質問ニ對スル答辯書

京都府ニ於テハ從來連帶會、市部會、郡部會ヲ開會スルニ當リテハ交互ニ一ノ議場ヲ使用スルノ慣例ニシテ現ニ市部會ノ開會中ナルニ拘ラス郡部會議員、連帶會議員カ同一議場ニ入リテ爲シタル會議ハ之ヲ法律上有效ノモノト認ムルヲ得ス

右ノ如ク郡部會、連帶會ノ會議ニシテ無效ナル以上ハ其ノ議決スヘキ事件ニ關シ知事カ善後ノ處置ヲ講スルハ當然ノコトニ屬ス、尙郡部會、連帶會カ知事ニ對シテ參事會議場ニ於テ開會セムコトヲ要求シ知事ニ於テ之ヲ拒絕シタル事實ハ之ヲ認メス

右及答辯候也

大正十五年三月十二日
內務大臣　若槻禮次郎

金鵄勳章年金令改正卽行ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年二月二十一日
提出者　古川　清
外一名

金鵄勳章年金令改正卽行ニ關スル再質問主意書

一　金鵄勳章年金令改正ニ關スル請願ハ每會期本院ニ於テ採擇セラレ更ニ前後二回迄滿場一致ノ議決ヲ以テ政府ニ建議シ之カ改正卽行ヲ要望セリ然ルニ政府ハ名ヲ行政調査會ノ調査ニ藉リテ漫然放置シ單ニ增額ノ意見ヲ有スルヤ否ヤヲモ亦調査終了ノ期限ヲモ言明セス之レ全ク院議ヲ無視シ武功者ヲ顧ミサルノ舉ニシテ此ノ如キハ立憲政治ノ本義ニ悖ルソミナラス　聖旨ニ反シ思想ヲ惡化セシムルノ嫌アリ政府ハ(一)行政調査會ノ調査ト本院ノ院議(建議)ト何レヲ重シトスルヤ(二)若本院ノ院議ヲ以テ尊重スヘキモノトセハ改正卽行ノ主旨ニ顧ミ本期議會ノ終迄ニ調査終了ノ期限ヲ言明シ及增額ノ意思ヲ表明スル能ハサルヤ

二　治ニ在テ亂ヲ忘ルルハ國亡フノ徵ナリ若夫レ一朝有事ニ際セムカ現在ノ年金令ヲ卽時改正セサルヘカラサルコトハ日露戰役及大正戰役ノ行賞ニ徵シテ明白ナリ然ルニ干戈治マリテ年ヲ隔ツルニ從ヒ治ニ慣レ亂ヲ忘レ忠勇ナル戰士ノ年年數萬人ノ請願ヲ無視シ更ニ本院ノ院議ヲ無視シテ名ヲ行政調査會ノ調査ニ藉リテ責ヲ免レムトスル現內閣ノ不誠意實ニ驚クヘク此ノ如キハ精神的國防計畫ヲ忘レタルモノニシテ邦家前途ノ爲寒心ニ堪ヘサルモノアリ政府ノ所見如何

三　金錢給與ヲ加味セサル恩賞ハ暫ク措キ苟クモ金錢給與ヲ加味スル以上ハ主タル目的カ生活費補助ヲ目的トスルモノナルト否トヲ問ハス其ノ功勞ニ準シ時代ニ適應シタル經濟的價値ヲ有スル額ナラサルヘカラス然ラサレハ恩賞ノ光輝ハ沒却ス茲ニ於テカ明治二十七年十月勅定ノ功一級ハ九百圓ニシテ功七級六十五圓ナリシモノヲ翌二十八年七月ニ至リテ其ノ加賜スル年金額ノミヲ改正シタリ又日清戰役ニ於ケル伍長級ノ一時賜金ハ五十圓ナリシカ日露戰役ニ於テハ二百圓乃至三百圓トナリ大正戰役ニ於テハ八百圓乃至千圓トナレリ要スルニ恩賞ト雖金錢給與ヲ加味スル以上ハ其ノ額ハ常ニ其ノ時代ニ適應セシメサルヘカラス然ラサレハ恩賞ノ光輝ハ沒却ス政府ノ所見如何

四　一時賜金ハ其ノ給與セラレタル當時其ノ當時ノ經濟的價値ニ於テ之ヲ使用シ恩賞ノ目的ヲ完了シタルモノナリ年金ハ然ラス故ニ年金ヲ增額シタリトスルモ之カ爲當時ノ他ノ恩賞ニ波及スヘキモノニ非ス政府ノ所見如何

五　金鵄勳章ハ特ニ武功拔群ナル者ニ對シ忠勇奬勵ノ御思召ヲ以テ一般恩賞ニ超絕シテ國民羨望ノ的トナルヘク當時ノ功七級ニ於テ已ニ迂遠ノ一箇年ノ生活費ニ該當スヘキ經濟的價値アル金錢ヲ終身給與セラル誠ニ深遠ナル御恩召ト謂フヘシ然ルニ時代ノ變遷ニ依リ經濟的價値著シク減退シ又ハ滅失シタルト殆ト均シキ狀態ナルニ於テモ尙之ヲ顧ミサルカ如キコトアラハ制定當時ノ深遠ナル御思召ニ悖ルモノト信ス政府ノ所見如何

六　政府ハ年金ハ生活費給與ノ性質ヲ有セサルカ故ニ生活品物價變動ノ爲之ヲ增額スヘキモノニ非スト謂ヘリ然レトモ左記事實ノ如キハ生活費給與ノ性質ヲ有セサルニ拘ラス現ニ增額改正セリ要スルニ時代ノ變遷及要求ニ伴フテ之ヲ改正スルコトハ當ニ爲政者ノ執ルヘキコトニ屬ス生活費給與ノ性質ヲ有スルト否トハ問フ所ニ非スト信ス政府ノ所見如何

イ　帝國議會議員ノ歲費ハ制定當時八百圓ナリ其ノ後一千五百圓トナリ今日三千圓トナレリ而シテ生活費給與ノ爲ニ非ス

ロ　大正元年頃ノ准士官ノ年俸賞與ハ三十圓內外ナリ其ノ後七八十圓トナリ今ヤ百五十圓內外トナレリ而シテ生活費給與ノ爲ニ非ス

ハ　日清戰役ニ於ケル伍長ノ一時賜金ハ五十圓ニシテ大正戰役ニハ八百圓乃至千圓ナリ

ニ　日清戰役ノ當時故有栖川宮殿下ハ功二級六百五十圓ニ敍セラレ其ノ後二十八年七月ノ改正ニ依リ年金千圓トナレリ

七　古ノ武功者ニハ祿高ヲ給シテ子子孫孫ニ迄之ヲ支給シ其ノ恩典ニ浴セシメタリ拔群ノ武功者ニ年金ヲ加賜セラレタル御思召ハ蓋之ニ基因スルモノナリト信ス果シテ然ラハ一定年限單ニ無事ニ勤續シテ恩給年金ヲ受クル者ニハ其ノ遺族ニ對シテ迄扶助料トシテ年金ノ半額ヲ支給スルモノトセハ武功者ニハ更ニ半額以上ノ額ヲ其ノ遺族ニモ給スヘキモノナリト考フ政府ノ所見如何

八　强制徵集セラレテ筋肉勞働ニ服シ國家ノ爲死生ノ巷ニ奮戰シテ拔群ノ功ヲ奏シタル如キハ一種ノ國寶ナリ然ルニ國家ハ當初ハ生活費ヲ支持スルニ足ル年金ヲ與ヘ今日ニ至リテ生計ニ窮スル者甚タ多キニ拘ラス法理ニ藉口シテ之ヲ顧ミサル如キハ理由ノ是非ニ拘ラス國家トシテ殊勳者ヲ遇スル所以ノ道ニ非スト信ス政府ノ所見如何

九　法理上ノ性質論ハ暫ク之ヲ別トシ敍功者カ其ノ受クル年金ヲ以テ生活費ノ補助ニ供シタルハ事實ナリ而シテ受恩給者ハ相當ノ俸給ヲ受ケテ自ラ好テ單ニ十一年間勤續シタルニ過キス然ルニ終身恩給ヲ受ケ更ニ再三增額セラレ且遺族ニ迄繼續支給セラルルニ拘ラス僅少ノ小使費ノ外ハ無給ニテ且其ノ意ニ反シ徵集セラレテ服役シ砲煙ノ下彈雨ノ中劍戟交リ叫喚ノ聲四方ニ起リ滿目凄愴ノ裡ニ於テ血ヲ踏ミ屍ヲ超ヘテ苦戰奮鬪九死ニ僅ニ一生ヲ得テ而モ群ニ拔ムテテ武功ヲ樹テ依テ以テ一世ノ龜鑑トシテ殊勳ニ敍セラレタルモノハ咽喉元過キテ熱サヲ忘レ易ク三十年改正ナク增額ナク依然トシテ放置セラルル之レ本人及其ノ家族ハ勿論一般ノ國民觀念ニ於テ不公平ヲ感ス政府ハ法理上ノ性質論ヲ避ケテ此ノ際年金ヲ改正增額スルノ意思ヲ決シ行政調査會ニ對シ通達スルノ誠意ナキヤ

十　恩給ハ年年增加ノ傾向アルモ年金受領者ハ加速度ヲ以テ減退シ今後十年二十年ノ後ニハ殆ト絕滅スヘシ年金制度ヲ存置スルヤ否ヤノ根本問題ハ寧ロ恩給ニ於テ研究スヘキモノト信ス依テ政府ハ行政調査會ノ議案ヨリ年金問題ヲ撤回シ速ニ建議ノ主旨ニ依リ本問題ヲ解決スルノ至當ナルヲ信ス政府ノ所見如何

十一　本員素ヨリ武斷政治ヲ好マス然レトモ太平ニ慣レテ國民ハ武功者ノ當時ノ苦難ヲ忘レ文官ハ日ニ跋扈シテ武官ノ言議ハ廟議ニ輕ムセラレムトス邦家前途ノ爲寒心ノ至ニ堪ヘサルナリ現ニ年金令改正增額案ノ如キモ陸海軍ハ前年已ニ提案セルニ拘ラス文官側之ヲ蔑視シ年ヲ經ルモ尙名ヲ行政調査會ノ調査ニ藉リテ放置セムトスルノ事實ハ請願委員會ノ答辯ニ於テ明白ナリ政府ノ所見如何

十二　法ヲ適用スルノミヲ以テ職トスル司法官ハ別トシ苟クモ輔弼ノ大任ニ當リ立法ノ發案權ヲ有スル者ハ立法當時ノ精神ヲ參酌シ時代ニ適應シテ之ヲ改善スルノ道ヲ講セサルヘカラス當時ノ關係者ヨリ確聞スル所ニ依レハ金鵄勳章年金令制定當時ノ年金額ノ立案ノ基礎ハ之ヲ當時ノ軍人恩給法ノ恩給額ニ因リタルモノニシテ功一級年金千五百圓ハ當時ノ大將ノ最低恩給年額一千五百圓ニ全ク相當セシメ功五級年金三百圓ハ當時ノ大尉ノ最低恩給年額三百圓ニ全ク相當セシメ兵卒ノ功七級年金百圓ハ當時ノ准士官ノ最低恩給年額百五十圓ト曹長ノ最低恩給額六十圓トノ中間ニ相當セシメタリト謂フ敢テ質問ス果シテ然ルヤ否ヤ若夫レ年金額制定ノ基礎不明ナリトセハ本問題ニ對スル政府ノ不誠實無責任ヲ語ルモノニシテ若前

述ノ如シトセハ制定當時ノ御精神ハ生活費補給ノ恩給額ト對比セシメタルモノニシテ今日ノ大將ノ最低恩給額ハ二千五百圓大尉ノ最低恩給額ハ七百八十四圓准士官ノ最低恩給額ハ四百圓曹長ノ最低恩給額ハ二百八十五圓ナリ故ニ今年金額ヲ制定當時ノ御精神ニ則リ乃チ立法當時ノ精神ヲ參酌シ改正スルトキハ功七級ハ年額三百五十圓功五級ハ年額七百八十四圓功一級ハ二千五百圓ニ改正增額スルヲ至當ナリトス立法ノ發案權ヲ有スルモノハ宜シク茲ニ鑑ミテ時代ニ適應スルノ改正ヲ爲サザルヘカラス然ルニ後年ニ至リ若輩ノ官吏カ立法ノ精神ヲ解セス司法官ニモ劣ル法文ノ字句ニ拘泥シテ勝手ナル法理性質論ヲ說キ以テ深遠ナル　聖旨ヲ覆ハムトス恐懼ノ至ニ堪ヘサルナリ政府ハ宜シク速ニ反省シテ今期議會ニ改正增額ノ意思ヲ表明シ以テ輔弼ノ責ヲ完ウスルノ意思ナキヤ

右及再質問候也

大正十五年三月十六日

內閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員古川清君外一名提出金鵄勳章年金令改正卽行ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員古川清君外一名提出金鵄勳章年金令改正卽行ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一　政府ハ金鵄勳章年金令改正ニ關スル衆議院建議ノ存スルコトヲ重ンシテ之ニ關スル事項ヲ行政調査會ニ討議シタル次第ナリ然レトモ調査事項ハ關係スル所廣汎ナルヲ以テ今ニ於テ其ノ調査終了ノ期限等ヲ表明スルコトヲ得ス

二　政府カ關係事項ヲ行政調査會ニ付議シタルハ本問題ニ付多方面ヨリ觀察シテ最モ公正妥當ナル結果ヲ得ムトスルニ在リ固ヨリ名ヲ調査ニ藉リテ責ヲ免レムトスルモノニ非ス

三　金錢給與ヲ加味スル恩賞ハ當初ニ於テ諸般ノ事情ヲ考慮シ適當ト認メラレタル額ヲ定メラレタルモノナルモ其ノ標準ハ相當複雜ニシテ單ニ物價ノ高低ニ從ヒテ判斷シ得ル經濟價値ノミニ依リテ之ヲ決スヘキニ非ス

四　質問者ノ見解モ理由アリト考フレトモ年金額ヲ增額スルヤ否ヤヲ決定スルニ付テハ他ノ諸般ノ關係ヲモ併セテ考慮スルヲ要スヘシ

五及八　金鵄勳章年金額ヲ如何ニスヘキカハ目下行政調査會ニ付議中ニ屬スルヲ以テ今日未タ答辯スルノ時機ニ達セス

六　質問ニ係ル諸給與中增額アリタルモノハ各理由ノ存スルアリテ之ヲ以テ金鵄勳章年金ニ類推スルコトヲ得ス

七　恩給及扶助料ト勳章年金トハ制度ノ理由ヲ異ニスルヲ以テ政府ハ扶助料ノ例ニ準シ其ノ遺族ヲシテ終身年金ヲ享有セシムヘキモノナリトハ考ヘス

九　年金ニ關スル制度ニ付テハ行政調査會ノ愼重ナル調査ヲ以テ決定セムトスル爲之ニ付議シタルモノナルヲ以テ其ノ調査ニ先チ增額ノ意思ヲ決定シテ之ヲ行政調査會ニ通達スルノ意思ナシ

十　年金ニ關スル問題ハ極メテ重要ナル關係ヲ有スルモノナルヲ以テ愼重ニ之ヲ攻究スルノ要アリト信ス從テ行政調査會ヲシテ之ヲ調査セシムルヲ相當ト思考ス

十一　年金改正ニ關スル事項ヲ名ヲ行政調査會ノ調査ニ藉リテ放置セムトスルノ事實ナキコト既述ノ如シ

十二　明治二十八年七月十五日ノ金鵄勳章年金令改正ノ理由ハ全ク旭日章年金トノ權衡ヲ保ツニ在リタルモノニシテ質問ニ係ルカ如キ他ノ理由ヲ參酌シタルモノト認ムヘキ資料ヲ發見セス而シテ年金增額ニ關スル事項ハ行政調査會ニ付議シ調査中ナルコト既述ノ如クナルヲ以テ今直ニ意思ヲ表明スルコトヲ得ス

右及答辯候也

大正十五年三月十六日

內閣總理大臣　若槻禮次郎

東本願寺問題ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年二月二十一日

提出者　津崎　尙武

東本願寺問題ニ關スル再質問主意書

本年一月二十七日東本願寺問題ニ關シ十項ニ亙ル質問主意書ヲ提出セルニ對シ政府ハ二月六日附四項ノ簡單ナル答辯ヲ爲シタリ

本員ハ具體的ニ事實ヲ指摘シテ答辯ヲ求メタルニ對シ政府ハ抽象的ニ簡單ナル一語ヲ以テ之ニ答ヘタリ斯ノ如キハ質問ニ對スル答辯トシテ其ノ體ヲ爲サザルノミナラス極メテ不親切ナル答辯ト認ム故ニ本員ハ茲ニ再質問主意書ヲ提出シテ政府ノ所見ヲ問ハムトス政府ハ各項ニ付親切ニシテ責任アル答辯アラムコトヲ望ム

一　大正十四年九月十八日岡田文部大臣ハ文部事務官ヲ東京「ステーションホテル」ニ遣ハシ眞宗大谷派管長伯爵大谷光演氏ニ管長ノ辭表ヲ提出セシメタルハ事實ナリヤ

二　當時事務官ハ大谷伯爵ニ對シ文部大臣ノ命令ヲ傳達スト稱シ貴下ハ大谷派管長ニ不適任故直ニ辭職スヘキヲ以テセリ之ニ對シ大谷伯ハ長ク此ノ職ニ在ルノ意ナキモ時局ヲ拾收シテ退職セムト考ヘ居タル折ナリシヲ以テ退職スルハ安キモ事一山ノ重大事ナルカ故ニ歸山其ノ順序ヲ運フヘキヲ述ヘタリ然ルニ事務官ハソレハ相成ラヌ文部大臣ノ命令ナレハ唯今直ニ退職書ヲ差出スヘシト强要セリ大谷伯ハ旅行中ニテ印章ヲ持參セサル由ヲ告ケタルニ自省ナレハ印章ニ及ハス御待申ス故直ニ持參セラレヨトテ聞入レス仍テ大谷伯ハ餘リニ人格ヲ無視セラレタルニ憤慨シ席ヲ立チテ自署スヘク自室ニ歸ル際事務官ハ後ヨリ追掛ケ來リ辭職書ハ願ニ非ス屆ナリト注意セリ大谷伯ハ自室ニ歸リ懷紙ニ屆書ヲ認メ事務官ニ持參セシニ一覽シテ自署ニ間違ナキヤヲ問ヒタル故伯ハ苦笑シテ御命令通認メタリト答ヘタルニ直ニ申達スヘシト立去リタルカ當日直ニ都下ノ新聞紙ハ管長辭職ノコトヲ發表シタリ

右ニ對シ政府ハ

イ　文部事務官カ斯ノ如キ行動ヲ執リタルコトヲ認メラルルヤ

ロ　苟クモ歷史アリ且皇室トモ關係深ク國民ノ信仰厚キ大谷派管長ノ職ヲ罷メシムルニ付テ斯クモ急迫セル手續ヲ執ルノ必要アリタリト認メラルルヤ

ハ　斯カル處置カ何等宗教ノ權威ヲ傷クルコトナク又國民思想ニ惡影響ナシトセラルルヤ

三　內閣總理大臣ハ岡田文部大臣カ大谷派管長ヲシテ辭表ヲ提出セシムルニ至リタル前後ノ處置竝其ノ手續ヲ是認シ何等ノ遺憾ナキモノトセラルルヤ

四　大谷伯ノ管長辭職ヲ屆出ツルヤ同日約一時間後一本宮內大臣ハ大谷伯ニ面會ヲ申傳ヘラレタルカ大谷伯ハ病氣ノ爲面會ヲ謝絕セラレタルヨリ翌十九日午前宮內大臣ハ大谷瑩潤氏及九條公爵ヲ宮內大臣官舍ニ招キ宗秩寮總裁立會ノ上大谷宗家ノ安泰ヲ計レト命シタルハ明ニ伯爵ヲモ隱退スヘキコトヲ迫レルニ非サルカ何トナンハ右宮內大臣ノ申聞ト入レ違ニ大谷伯爵ノ隱居願ハ宮內大臣ニ到著シタルヲ以テ宮內大臣ハ之レサヘ出レハ今朝官舍ニテ申入レタルコトハ最早返事ニ及ハサル旨ヲ同日午後宮內大臣ヨリ九條公爵ニ傳ヘラレタルコトニ依リテ明ナリトス果シテ然ラハ文部大臣ハ宮內大臣ト聯絡シテ大谷派管長ノ職ヲ辭セシムルト同時ニ伯爵ヲモ辭退セシメタルモノト解シテ差支ナキヤ

五　管長職ヲ辭セシメタル上ニ更ニ同時

ニ伯爵ヲモ隱居セシメムトシタルハ文部宮內兩大臣間ニ聯絡シテ眞宗大谷派管長伯爵大谷光演氏ヲ强要シテ其ノ顯要ノ地位ヲ去ラシメタルモノニシテ國民精神ニ及ホス影響大ナルノミナラス將來ニ重大ナル惡例ヲ殘スモノナリト信ス政府ノ所見如何

六　十二月九日新法主大谷光暢氏カ東宮妃殿下御慶事奉祝並淺草別院就職披露ノ爲東上ヲ期トシ岡田文部大臣ハ一木宮內大臣方ニ光暢師ヲ伴ヒ行キ大谷伯爵家相續ニ付限定相續ノ必要ヲ力說セラレ結局親戚ニ委任セヨト强要セラレ光暢師ハ已ムヲ得ス九條三條兩公爵並正親町伯爵ノ三氏ニ委任セルノ事實ハ文相カ宮相ト共ニ限定相續ヲ强要セルモノニシテ相續問題ニテ東本願寺ヲ更ニ紛擾ニ導キタル一原因ナリト思惟ス政府ノ所見如何

七　國民思想ヲ善導スルハ政府ノ重大ナル任務ニシテ特ニ文敎ノ府ニ在ル文部大臣ハ其ノ最重要ナル責任ヲ有ス然ルニ岡田文部大臣ハ所謂東本願寺問題ニ付テ事件ノ眞相ヲ究ムルコトナク一度管長辭職ヲ强要シ續テ伯爵隱退ヲ迫リ更ニ限定相續ヲ强要セリ斯クテ東本願寺問題ハ益紛擾ヲ重ネテ其ノ國民思想ニ及ホス惡影響極メテ大ニシテ誠ニ寒心スヘキモノアリ政府ハ岡田文部大臣ノ執レル敍上ノ行動ニ付テ何等缺點ナシトスルヤ而シテ又文部大臣ノ處置ハ文部大臣ノ所期ニ反シ却テ東本願寺ノ紛擾ヲ大ナラシメ國民思想ニ惡影響ヲ及ホシタリト思惟セスヤ

八　岡田文部大臣ノ執レル敍上ノ處置ニ付テハ文部大臣ハ東本願寺並大谷伯爵家ノ爲ニ計リテ爲シタルコトナリト謂ハム其ノ動機ノ如何ハ別トスルモ其ノ結果ハ明ニ東本願寺ノ紛擾ヲ大ニシ而シテ國民思想ニ重大ナル惡影響ヲ及ホシタルハ否ムヘカラスト信ス政府ノ所見如何

以上述フル所ニ付テ政府ハ親切ニシテ責任アル答辯アラムコトヲ要求ス殊更ニ茫漠タル答辯ヲ以テ本問題ヲ取扱ハムトスルハ啻ニ無責任ナルノミナラス國民思想ニ惡影響ヲ及ホス結果ヲ更ニ招來スルニ至ルヘシ

右及再質問候也

大正十五年三月十六日

內閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員津崎尙武君提出東本願寺問題ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員津崎尙武君提出東本願寺問題ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一　眞宗大谷派前管長大谷光演ノ行動ニ關シテ注意ヲ與ヘタルニ對シ之ヲ遵守スヘキ旨ノ回答アリタルニ拘ラス毫モ其ノ實ヲ擧クルニ至ラサリシヲ以テ更ニ召致シテ談示スル所アラントセシモ之ニ應セス茲ニ於テ已ムヲ得ス宗務課長タル文部書記官ヲ遣シ辭職ヲ勸告セシメタルニ本人ニ於テ何等ノ異議無ク辭職ノ屆出ヲ爲シタルモノナリ

二　政府ハ前項文部大臣ノ執リタル措置並手續ニ付何等ノ遺憾ナキモノト認ム

三　曩ニ提出セル答辯書記載ノ如ク大谷光演ニ對シ伯爵ヲ辭セシメントシタル事實無ク又大谷伯爵家ノ相續ニ關シ限定承認ヲ强要シタル事實無シ

右及答辯候也

大正十五年三月十六日

內閣總理大臣　若槻禮次郎

文部大臣　岡田　良平

松島遊廓移轉並政界革新ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月二日

提出者　田崎　信藏

松島遊廓移轉並政界革新ニ關スル質問主意書

一　近時我カ國政治家ノ風紀ニ關シ續續トシテ不祥ノ事實ノ傳ヘラルルハ邦家ノ爲深憂ヲ禁スル能ハス過般大阪西區同仁會ノ名ニ於テ配布シタル印刷物ニ依レハ近來一部政商並政黨實ハ大阪市中ニ存在スル「松島遊廓」ヲ同市郊外ニ存在スル某某土地會社經營地ニ移轉シ該經營地ノ地價ヲ暴騰セシメ以テ會社ヲシテ巨利ヲ博セシメムト圖リ此ノ目的ヲ達スル爲政府側大新聞地方官並政黨幹部ニ巨額ノ黃白ヲ散布セムトシタリトアリ又大正十五年三月二日發行大阪朝日新聞ノ記事ニ依レハ「各方面ヘノ運動資金トシテバラ撒カレタ金ハ大部分田附政次郎氏ノ手カラ出テヰルト噂サレ一昨年夏カラ今日マテニ各政黨利權屋等ニ撒カレタ額ハ實ニ七十餘萬圓ノ巨額ニ達スルト稱セラレテヰル」トアリ更ニ本日ノ大阪各新聞紙ニ於テハ大阪地方裁判所西堀安井生島外數名ノ檢事角南服部西川石井芹川ノ五豫審判事ハ三月一日朝大阪府刑事課員多數ヲ帶同シ前記田附政次郎ノ家宅並同人カ社長タル豐國土地株式會社ヲ搜索セリト傳ヘラル吾人ハ一片ノ回文又ハ一時ノ新聞記事ヲ信セサラムト欲シタレトモ事茲ニ至レハ其ノ事實ノ存在ヲ否定シ去ルノ勇氣ナシ田附某カ此ノ問題ノ爲ニ黃白ヲ散シタルコトカ事實ナル以上亦之ヲ受ケタル者ノ存在スルコトモ事實ナリト考ヘサルヘカラス

二　綱紀ノ肅正ヲ以テ重要主張トセル若槻內閣總理大臣ハ此ノ事實ニ付知ル所ナキヤ之ヲ知ル以上其ノ經緯一切ヲ議場ニ公開スヘシ若之ヲ躊躇スルニ於テハ政府亦其ノ渦中ニ在ルヲ疑ハシムルコトト爲ラム

三　我カ國家ノ憂患ハ實ニ政黨並政黨員ノ健全ヲ疑ハシムルノ傾向ニ在リ今日ヨリ以後此ノ邦國ノ運命ヲ擔當スルモノカ政黨ニ在リトスレハ國家ノ大政ヲ託セラレタル首相ニハ必スヤ黨界廓清ノ大志ナカルヘカラス若槻首相ハ政黨革新ノ爲如何ナル抱負ヲ有スルヤ此ノ問題ニ關スル徹底的所懷ヲ議場ニ披瀝セラレムコトヲ望ム

右及質問候也

大正十五年三月十六日

內閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員田崎信藏君提出松島遊廓移轉並政界革新ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員田崎信藏君提出松島遊廓移轉並政界革新ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一　本年一月中旬「西區同仁會」ナル名義ヲ以テ大阪市松島遊廓移轉問題ニ關スル印刷物ヲ頒布シタル者アリ右印刷物ハ出版法ニ抵觸シ且關係者ヨリ名譽毀損ノ告訴アリタルヲ以テ司法官憲ニ於テ之ヲ起訴シ目下取調中ナリ

二　右印刷物並大正十五年三月二日發行大阪朝日新聞記載ノ事實ニ關シテハ目下司法官憲ニ於テ取調中ニシテ其ノ結果ヲ俟ツニ非サレハ事實ノ眞否並其ノ經緯等明カナラス

三　政府ハ若シ果シテ政黨並政黨員ニシテ其ノ健全ヲ疑ハシムルカ如キ傾向アラハ自發的ニ革新セラレムコトヲ希望ス

右及答辯候也

大正十五年三月十六日

內閣總理大臣　若槻禮次郎

內務大臣　若槻禮次郎

司法大臣　江木　翼

株式取引所取締ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月三日

提出者　中山　貞雄

株式取引所取締ニ關スル再質問主意書

本年二月十二日本員ノ提出セル株式取引所取締ニ關スル質問主意書ニ對シ政府ヨリ三月二日附ヲ以テ三項ヨリ成ル簡單ナル答辯書ヲ受領セリ

本員ノ擧市セル具體的ノ事實ニ對シテ政府ハ悉ク抽象的言辭ヲ以テ之ニ應酬シ答辯其ノ體ヲ爲サザルノミナラス極メテ不親切ナル答辯ト認ム依テ本員ハ茲ニ再質問主意書ヲ提出シテ更メテ政府ノ所見ヲ問ハムトス政府ハ左記各項ニ付明確懇切且責任アル答辯ヲ爲サレムコトヲ望ム

一　當所株ノ上場ヲ禁止スルコトハ財界ニ及ホス影響甚大ナルモノアルヘキヲ以テ政府ニ於テハ目下之カ禁止ヲ爲スノ意思ヲ有セストノコトナルカ取引所法改正ノ主旨ヨリスレハ當然當所株上場禁止ニ到達スルコトハ自明ノ理ニシテ本員カ改正當時ノ農相山本達雄氏ヨリ聽取セシ改正法ノ精神ハ行行當所株上場禁止ノ域ニ迄到達セシムル目的ヲ以テ立案提出セルモノナリトノ話説ハ正シク本員ノ見解ニ對スル鐵證ト謂フヘキナリ偖テ本員ハ頭次ノ質問主意書ニ於テ當所株上場カ如何ニ投機的空賣買ヲ旺ムナラシムルカヲ詳述シ置キシカ猶最近ノ東京取引所ニ於ケル熱狂的人氣カ東株ニノミ集中シテ急激異常ナル相場ノ騰落ヲ演シツツアル反面他ノ多クノ上場株ニハ影響太タ少ク殆ト財界復活ノ反映ヲ發見スルコト難キハ端的ニ當所株上場ノ弊ヲ暴露セルモノニシテ或ハ之ニ代フルニ他ノ有力ナル事業株ヲ以テシテモ同樣ノ結果ニ陷ルカ如ク說ク者アルモ畢竟自家擁護ノ曲論ニ過キス事業株ノ騰落ハ時ニ常調ヲ逸スルコトアルモ直ニ事業自體ヲ反映シテ平靜ニ復スヘキハ「スチール」株等ノ例ニ見テモ明白ナリトス然ルニ當所株ヲ標準トスルコトハ其ノ取引高ノ增加手數料ノ增收株價ノ上騰カ因ハ果トナリ果ハ因トナリ無限ニ循環上昇シテ一回ハ一回毎ニ取引所ノ利益ヲ增進セシムル點及前記作用ニ依リテ或程度迄ハ財界事業界ニ關係ナク投機的技術ニ依リテ相場ノ昂下ヲ左右シ得ル可能性最大ナルモノアルヲ以テ取引所及取引員ノ投機心煽揚ニ伴ヒ世人ノ當所株ヲ以テスル投機的空賣買ニ魅惑セラレテ產ヲ破リ家ヲ失フ者頻年絕ヘス其ノ弊容易ナラサルモノアリ殊ニ國民精神ニ及ホス惡影響恐ルヘキモノアルハ公知ノ事實ナリ政府ハ此ノ當面ノ嚴タル事實ニ眼ヲ塞キ抽象的ニ過キタル單ニ財界ニ及ホス影響大ナリトノ理由ヲ以テ其ノ上場ヲ禁スルノ意ナキヲ聲明セルハ答辯ノ不親切ナルハ謂フ迄モナク其ノ改正法ノ主旨ニ悖レル國民ノ投機心挑發ノ原動力タル當所株上場ノ根本ニ向テ斧鉞ヲ加フルノ意思如何ニ付テ何等言及スル所ナシ然ルニ副島局長ハ嘗テ本員ニ對シ當所株上場ノ弊ヲ大體ニ於テ承認シ理想トシテハ其ノ禁止ヲ可トスル旨言明セル事實ニ照シ特ニ此ノ點ニ具體的ニ明確ナル答辯ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

二　有價證券ノ短期精算取引カ法理上形式上投機的空賣買タルノ性質ヲ有セサルハ勿論ニシテ若其ノ性質ヲ有スルニ於テハ政府カ之ヲ認許スルノ理由ナキハ法治國治下ニ在リテハ三尺ノ童子モ之ヲ知悉セリ唯其ノ運用上其ノ內容カ純乎投機的空賣買ニ墮セルノ事實ヲ擧ケ具體的ニ之ヲ詳述シテ其ノ現狀カ政府認許ノ主旨ニ反シ弊害特ニ甚シキモノアルニ對シ此ノ取引方法ヲ禁止又ハ改善スルノ意圖ナキヤヲ頭次ノ質問主意書ニ依テ問ヒタルモノニシテ政府ノ回答ハ寸毫モ此ノ要點ニ觸レス更ニ之ニ對スル所見ノ具體的明答ヲ望ム

三　二重上場廢止ノ時期ニ關シ政府ハ短期取引ノ實施ニ伴ヒ取引員ノ之ニ慣熟セサルカ爲當分ノ間認ムルコトトナリタルモノニシテ適當ナル時期ニ之カ廢止ヲ行フ意思アル旨答辯セリ

抑二重上場問題ハ大正十一年取引所法改正ノ精神ニ基キ特ニ投機的空賣買ノ禍源ト看做サレタル此ノ二重上場ヲ絕對禁止スルコトトナリシカ急激ナル變革ヲ加フルコトハ財界ヲ惡化スル所以タルヲ考慮シ改正當時ノ農相山本氏カ之ニ一箇年ノ期限ヲ附シテ許可シ期限經過後ハ斷乎トシテ之ヲ禁スル方針ナリシコトハ本員カ親シク同氏ヨリ聽取セシ所ニシテ猶之カ現行省令ニ改定セラレタル經緯ニ關シ同氏ヨリ承リタル事實左ノ如シ

一年ノ期限ヲ附シ二重上場許可ノ後期限撤廢ノ猛運動カ隴ヲ得テ蜀ヲ望ム取引所及取引員ニ依テ開始サレ時ノ農相荒井氏ハ前任者山本氏ヲ訪問シテ當業者ノ猛運動當リ難キヲ以テ更ニ一箇年ヲ限リ許可スルノ外ナキ事情ヲ訴ヘ且山本氏改正法ノ精神ヲ絕對尊重スル諒解ノ下ニ改定ヲ行ヒシカ何故カ之ヲ二箇年ト改メスシテ「當分ノ內」ト改メラレタルモノナリ

兎ニ角以上ノ經緯ヨリ「當分ノ內」ハ許可ノ初ヨリ數ヘ二箇年以內ニ解スヘキヲ至當トス爾來四星霜其ノ間當局ハ一回タモ其ノ禁止ニ付テ考慮シ又ハ問題トセシ形跡ナク寧ロ今日ニテハ當局モ當事者モ二重上場ヲ當然トシテ怪マス當分ノ意義ハ頭次質問主意書ニ述ヘシ如ク實際上永久ト解シ居ルヤノ觀アリ而シテ之ニ依テ招來セル投機的空賣買ノ滔天的盛行ハ現ニ吾人ノ目擊シツツアル所ナルニ拘ラス當局ハ今日猶適當ナル時期ヲ云云シツツアルカ過去四年間ニ果シテ適當ナル時期ナカリシトスルカ將又政府カ當分ノ間許可セシ理由トシテ擧ケタル取引員ノ短期取引ニ對スル不慣熟カ此ノ期間ニ於テ猶慣熟ノ域ニ達シ得サリシトスルモノナルカ或ハ震災等ノ大變事カ其ノ機會ヲ與ヘサリシトセハ今後如何ナル時期ヲ適當トスルモノナルヤ單ニ適當ノ時期ト謂フカ如キ漠タル措辭ヲ用ヰス禁止時期ニ對スル政府ノ具體的方針及見解ニ付明答アラムコトヲ望ム

四　先日付手形問題ニ關シ政府ハ現在ノ狀態ニ於テハ取引上何等ノ危險ナシトシ其ノ理由トシテ提供株ノ種類提供者ノ信用手形ノ發行金額ヲ考查シテ愼重ニ發行シツツアルコトヲ擧ケタリ政府ハ果シテ實際ニ付調查シテ此ノ所信ニ到達セシモノナリヤ若政府カ調查ヲ行ヘルモノトセハ去ル二月二十六七日ニ於テ一氣ニ三十圓近キ暴落ヲ告ケタル當所株カ提供株ノ五割以上ヲ占メ居ルコト提供者カ無資產且無保證無證據金狀態ニテ投機市場ニ輸贏ヲ爭ヒツツアル取引員ナルコト及手形發行金額カ丸金ナルコト等ノ事實カ果シテ今日又ハ萬一ノ際財界ニ危險ヲ及ホス恐ナシト認メタルモノナルカ又此ノ先日付手形ノ濫發カ投機資金ヲ潤澤ナラシメ益投機ヲ助長昂進セシメツツアルコトハ如何ナル口實ヲ以テシテモ到底否認シ難キ所ニシテ之ハ最近銀行集會所ニ於テ市來日銀總裁カ銀行家ニ向テ發シタル警告ノ一節ニ

假令資金カ一時潤澤ナリトスルモ投機其ノ他不健實ナル事業ニ對シ貸出スコトハ最愼ムヘキコトニシテ之カ爲ニ或ハ投機熱ヲ煽リ或ハ一般產業資金ヲ奪ヒ產業發展ノ好機ヲ阻害ストアリシヲ裏切レル銀行家カ東京取引所カ發行セル五千万圓近キ巨額ノ先日付手形ヲ割引シ投機資金ヲ豐富ニ當業者ニ向テ供給セルカ爲ニシテ昨冬以來ノ投機ノ熱狂狀態醸成ノ主因ナリトス而シテ確實ナル手形ニ投資スルコトハ銀行家當然ノ態度トシテ深ク之ヲ尤ムルヲ得サルカ不健全ナル投機助長ヲ豫期シテ此ノ手形ノ濫發ヲ敢行セシ取引所ノ罪ハ堂堂皷ヲ鳴シテ責ムルニ値スルコト世既ニ定論アリ又其ノ權內ニ於テ之カ取締ヲ爲シ得ル當局ノ放任的態度ヲ以テ世人ハ甚シク不可解事ト爲シ居ルモノノ如シ然ルニ尙政府ハ此ノ眼前ノ事實ヲ否認シテ何等財界ニ危險ナシト斷スルモノナルヤ本員ハ財界ノ重大問題化シツツアル本問題ニ對シ政府ヨリ簡單ナル抽象的答辯ヲ以テ酬ヰラレタルコトヲ深ク遺憾トシ重ネテ政府ノ所見ヲ質スコトトセリ片岡商相カ豫算分科會ニ於テ約セラレタル如ク質問者カ充分滿足シ且一般ニモ了

解出來得ル樣誠意アル具體的明答ヲ望ム

右及再質問候也

大正十五年三月十六日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員中山貞雄君提出株式取引所取締ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員中山貞雄君提出株式取引所取締ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

第一　取引所株ハ廣ク所有、取引セラレ其ノ上場ハ永年行ハレ來レル所ニシテ之カ上場ヲ禁止スルハ財界ニ及ホス影響甚大ナルヘキヲ以テ政府ニ於テ目下禁止ノ意思ナキハ曩ニ答辯セル所ナリ

第二　有價證券ノ短期清算取引ハ相當ノ受渡アリ之ヲ他ノ清算取引ニ比スルモ之ヲ禁止スヘキ必要ヲ認メス尤モ本制度ハ實施以來日尚淺キヲ以テ之カ健全ナル發達ヲ圖ル爲必要ナル監督ヲ爲スヘキハ勿論ナリ

第三　有價證券ノ二重上場ハ取引員カ短期清算取引ニ慣熟シ證券取引ノ運用ニ支障ナキトキ之ヲ廢止セントスルモノニシテ豫メ其ノ時期ヲ確定スルコト困難ナリ

第四　先日附手形ノ發行ニ付テハ前答辯書ノ通リ政府ハ常ニ監督ヲ怠ラサル所ナリ而シテ東京株式取引所ニ於テハ最近其ノ發行總額ニ制限ヲ設ケタル次第ニシテ現狀ニ於テハ取引上危險ナキモノト認ム

右及答辯候也

大正十五年三月十六日

商工大臣　片岡　直溫

森林政策ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月五日

提出者　佐藤富十郎

森林政策ニ關スル再質問主意書

一　政府ハ本員ノ曩ニ提出シタル趣意ニ依リ答辯書トシテ與ヘラレタル其ノ第一項ニ於テ官行研伐ハ更新ノ意味ニ於ケル官行研伐ト稱スル施業案ナルモノハ全國百三十九箇所ニ於テ之カ續行セサルヘカラストノ答辯ナルカ政府ハ現下ノ狀態ニ於テ全國河川ノ水源ハ枯渴シ而シテ灌漑用水水力電氣飲料水ニ不足ヲ來シ惹テ水害ハ年年歲歲著シク增加シ來リ之カ爲ニ國費地方費ヲ要スルコト年ヲ追フテ甚シク之レ森林濫伐ノ結果ナリト認ムルカ政府ハ果シテ他ニ原因アリテ斯ル大害ヲ釀スモノト思フヤ否ヤ此點明瞭ナル御答辯ヲ乞ハムトス

二　官行研伐ハ政府ハ施業案ト稱スル名目ノ下ニ實行シツツアレトモ官行研伐ナルモノハ施業案トハ別問題ニシテ必シモ官自ラ事業ヲ爲ササルヘカラスト謂フ理由ハ一モ存セサルニ非スヤ官行研伐ノ如キハ所謂普通ノ木材業者ノ事業ニシテ官業トスル必要ナキノミナラス却テ冗員冗費ヲ要シ國家ニ多大ナル損害ヲ與ヘ居ル事實明白ニシテ之カ整然タル損益計算書明白ナラス從テ事業ノ黑白ヲ明瞭ニスルノ方法ナク其ノ證據ニハ大正十三年度官行研伐ノ調書ヲ要求シタルニ其ノ與ヘラレタル調書ニ依レハ甚タ不完全ニシテ何等認ムルモノナキヲ見テモ明瞭ニ官行研伐ノ事業ノ官業ニ適セサルヲ證明スルニ餘リアリ又吾カ帝國ノ森林カ今日ノ儘ニ續行スルニ於テハ水源涵養ヲ失ヒ灌漑用水ハ勿論水力電氣ノ減退或ハ廢竈ノ已ムナキニ至ルヘシ今ヤ水力電氣ノ減退ハ甚シキモノニシテ其ノ一例ヲ擧クレハ信越ハ五萬七千キロヲ出ツヘキモノカ三萬九千キロニ減シ東信ハ五萬四千キロヲ出ツヘキモノカ二萬六千キロニ減シ京濱ハ二萬二千キロヲ出ツヘキモノカ九千八百キロニ減シタル事實アリ斯ノ如ク年ヲ追フテ減退セムトスル傾向ニアルハ歷然タル事實ノ證明ヲ如何ニセムヤ政府ハ此ノ事實ヲ知リ乍ラ强テ官行研伐ヲ續行セムトスルモノナルヤ否ヤ明瞭ナル答辯ヲ乞ハムトス

三　政府ノ答辯ニ依レハ保安林設置ニ同意セラレ成ルヘク設置スヘシトノコトナルカ元來水源涵養保安林ノ如キハ現ニ立木鬱蔥タル森林ヲ以テ其ノ保安林ト爲ササルヘカラサルハ多言ヲ要セス然ルニ政府ハ官行研伐ヲ續行シ森林ハ最早鬱蔥タルヲ見ルコト能ハサル狀態ニ垂ムトスル此ノ秋ニ於テ保安林設置ヲ直ニ實行セムトスルカ果シテ政府ノ確信如何

四　立木カ水源ヲ涵養スル狀態ハ假ニ茲ニ立木一本アリト假定シ其ノ立木ハ周圍六尺ヲ有シ長サ三十尺アリトスレハ其ノ枝葉木根ヲ含ム十五石ノ材積ヲ有シ其ノ一石ハ生木ニテ八十貫ノ貫量ヲ有シ之カ乾燥シタル場合ハ直ニ一石ノ乾燥木四十貫ノ減貫ヲ爲シ其ノ減貫シタル四十貫ハ一升ノ水ノ量目五百匁ニ換算シ一石ノ材積ニ對シ水分八斗ヲ含有シ十五石即チ立木一本ニ對シ常ニ十二石餘ノ水量ヲ涵養スルモノナリ之カ山林一町歩ニ對シ二百本ヲ樹立スルモノト見ハ其ノ水分二千四百石ヲ含有シ之カ立木ノ使命トシテ常ニ雲霧ヲ起シ新陳代謝ノ感應ヲ適度ニ吸吐出シ一旦降雨ニ際シテハ木皮枝葉根底ニ尠カラサル水量ヲ保有シ之カ適度ニ吐出シ以テ水源ヲ涵養スルモノニシテ此ノ意味ヨリ論スルトキハ更新ノ意味ニ於テ全國百三十九箇所ノ官行研伐ト外ニ立木ノ儘人民ニ拂下ケル立木ト總體的ニ論スルトキハ一箇年百萬町歩ノ森林カ伐採セラレツツアリテ其レニ植立タル苗木ハ二三十年間ハ水源涵養ノ力ナク其ノ植附年限六七年ヲ經タル急坂地盤ハ大雨ノ場合以前伐採シタル大木ノ綱目的根底カ腐朽シタル結果ハ其ノ苗木ト共ニ崩壞シ之カ河川ニ濁流シ以テ河底ヲ埋メ堤防ヲ破壞シ遂ニ堤防ノ上ニ堤防ヲ築堤スルノ現狀ニアリ斯ノ如ク森林カ如何ニ水源ノ涵養ヲ爲シツツアルカハ多言ヲ要セサル所ナリ而シテ今ヤ全國ノ渴水狀態ハ益甚シク吾カ國唯一ノ天然浴タル水力電氣ハ非常ナル發達ヲ見ツツアリ今ヤ既ニ全國二千八百二十二ノ水力發電所アリ此ノ渴水馬力六百四十一萬五千馬力ニシテ之カ水源涵養ヲ失ヒタル結果三百萬馬力ヲ減シタル事實ハ明瞭ニシテ些ノ疑問ナシ假ニ一馬力ノ價格一箇年六十圓トセハ一箇年驚ク勿レ一億八千萬圓ノ損害ヲ國民カ損害シタルト同樣ナリ政府ハ吾カ電氣事業ヲ必ス輕視スルモノトハ信セサルモ水力電氣ノ現狀ヲ前陳ノ如ク水源枯渴ノ爲水力電氣カ減退スルハ果シテ何カ原因ナルカ亦政府ハ水力電氣ノ今後ノ大方針ハ如何ニスル心算ナリヤ大ナル問題ニ付愼重ニ御答辯アラムコトヲ乞フ

五　第一乃至第四ノ條件ニ依リ吾カ森林ノ官行研伐ヲ廢シタル場合ニ於テ吾カ國木材ノ供給不足ヲ來シ益米材ノ輸入多カラムコトヲ顧慮シ之カ實行困難ナリト政府ハ痛感セラルルナラムモ之ニ對スル對策トシテハ樺太及沿海州ニ政府ハ現今官行研伐ヲ爲シツツアル全國百三十九箇所ノ事業費及役員ヲ其ノ儘派遣セシメ伐木セシムルニ於テハ吾カ內地ノ國有林ヲ伐木スルヨリハ遙ニ有利安直ニ木材ノ供給セラルルコトハ現ニ木材業者ノ現業狀態ニ於テ證明スルニ難カラス其ノ橫濱迄ノ木材一石ニ對スル總掛金四圓ヲ超エサルコトハ證明スルニ餘アリ此ノ見地ヨリ一ハ國內ノ水源涵養ヲ成シ一ハ卽チ木材ノ不足ヲ補ヒ一ハ米國ヨリノ輸入材ヲ防止シテ茲ニ全ク森林政策トシテ施スヘク確案ト信スルカ政府ハ如何ナル感ヲ有スルヤ國家ノ爲明瞭ナル御答辯ヲ乞ハムトス

右及再質問候也

大正十五年三月十六日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員佐藤富十郎君提出森林政策ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員佐藤富十郎君提出森林政策ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一　官行斫伐事業ニ就テ

森林ハ適當ナル更新ヲ計ルニアラサレハ林力ノ維持保續及治水竝水源涵養ノ萬全ヲ期スル能ハサルノミナラス徒ニ其ノ伐採ヲ見合スカ如キハ林業ノ發達ヲ阻害スルノ虞ナシトセサルニ依リ技術上最進歩シタル方法ヲ講シ保安關係及經濟關係ヲシテ最有利ナラシメムコトニ努メツヽアリ而テ國有林ニ在リテハ是等ノ諸點ニ特ニ愼重ナル考慮ヲ拂ヒ其ノ經營上ノ必要ニ應シ政府自ラ適當ナル伐採事業ヲ行フモノニシテ毫モ過伐、濫伐ノ虞ナキハ勿論之レカ爲水源ヲ枯渇シ或ハ治水ヲ破壞スルカ如キコトアルヲ認メサルヲ以テ官行斫伐ハ之ヲ廢止スルノ意ナシ尙沿海州北樺太ノ森林ニ付テハ外國ニ屬スルヲ以テ政府自ラ事業ヲ行フカ如キコトハ愼重ニ考慮ヲ要スルモノト認ム

二　水力電氣事業ニ就テ

我國水力電氣事業ハ將來益々其ノ發達ヲ計ルヘキ必要アルハ勿論ナルヲ以テ之カ水源涵養ニ就テハ政府ハ深甚ナル注意ヲ拂ヒツツアリ

右及答辯候也

大正十五年三月十六日

農林大臣　早速　整爾
逓信大臣　安達　謙藏

軍部ノ公金取扱方法ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月六日

提出者　清瀬　一郎

軍部ノ公金取扱方法ニ關スル質問主意書

甲　永年ニ亙リ我カ軍部ノ資金カ軍事當局個人ノ名義ヲ以テ民間銀行ニ預金セラレ又ハ公債證書ニ投資セラレタルハ動カスヘカラサル事實ナリ

一　該銀行預金ノ利息ハ何人カ收得シタリヤ

二　公債利札ニ因ル收入ハ如何ニ處理セラレタルヤ

三　公債價格騰落ニ因ル損益ハ何人ノ負擔ニ歸シタリヤ

乙　西伯利亞出兵以來我カ軍カ多額ノ有價物兵器ヲ押收シタルハ事實ナリ

一　右現品兵器ノ種類數量如何

二　右賣却代金ハ如何ナル科目ニ依リ整理シタリヤ

右及質問候也

大正十五年三月十六日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員清瀬一郎君提出軍部ノ公金取扱方法ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員清瀬一郎君提出軍部ノ公金取扱方法ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一　永年ニ亙リ我軍部ノ官金カ軍事當局個人ノ名義ヲ以テ民間銀行ニ預金セラレ又ハ公債證書ニ投資セラレタル事實ナシ但シ官金以外ニ於テハ共濟組合、偕行社義助會、陸海軍義濟會、海軍信義會及陸海軍倶樂部等ノ資金ヲ民間銀行ニ預金シ或ハ之ヲ以テ公債ヲ購入シタルコトアリ

二　押收物件ニ就テハ其ノ處置左ノ如シ

甲　陸軍

西伯利出兵ハ國際關係頗ル複雜ナリシヲ以テ鹵獲押收物件ノ處理ノ如キモ亦愼重審議ヲ要シタリ從テ是等諸物件ハ特ニ處理規程ヲ設ケ力メテ內地ニ還送スルヲ避ケ多クハ出動地ニ於テ適宜處理セシムルノ方針ヲ採レリ卽チ被服糧秣ノ如キハ主トシテ露國窮民ノ救恤ニ、鹵獲押收艦船兵器ノ如キハ軍事上必要已ムヲ得サルモノノ外適當ノ時機ニ於テ確實ナル露國政權ニ還附スヘキヲ聲明シテ一時之ヲ管理シタル後撤兵ニ際シ悉ク在庫ノ儘露國官憲ニ引渡シ又通貨類ニシテ流通シ得ルモノハ時價ヲ以テ歲入ニ受入ルル等常ニ公平無私ノ態度ヲ以テ適法ニ處理セシメ只全ク用途ヲ以テ治安維持若ハ危害豫防上內地ニ還送スルヲ有利ト認メタル兵器又ハ學術研究上ノ參考トナルヘキ鹵獲物件ノ一部ヲ內地ニ還送セシメタリ而シテ是等內地還送品等ハ各法規ニ基キ正當ノ手續ニ依リテ整理ヲ了セリ

乙　海軍

押收物件ニシテ賣却シタルモノナシ西伯利亞哈府ニ於テ陸軍カ押收シタル艦船ヲ海軍ノ手ニテ保管シタリシカ同所撤退ノ際之ヲ亞港ニ移シ臨時海軍防備隊ニ於テ管理シ來リタリ然ルニ大正十四年五月同隊撤退ノ際派遣軍司令官ヲ介シテ現地現狀ノマヽ露國ニ引渡スコトトナリ防備隊司令其ノ實施ノ衝ニ當リ五月五日附被我兩國全權間ニ調印セラレタル細目協定附屬調査ニ基キ同日露國側海軍委員ニ授受調印ヲ了セリ

右及答辯候也

大正十五年三月十五日

陸軍大臣　宇垣　一成
海軍大臣　財部　彪

製鐵所ノ經營ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月八日

提出者　岡田伊太郎

製鐵所ノ經營ニ關スル再質問主意書

一　曩ニ本員等ノ提出シタル製鐵所經營ニ關スル質問ニ對シ政府ノ示シタル答辯書ハ要領ヲ得ス現ニ大正十三年度末ニ於ケル同所ノ固定資本金據置運轉資金及同補足金ノ總額一億八千七百九十萬圓ニ對シ益金八十六萬圓卽チ利益率千分ノ五ニ充タス若運轉資金補足金ニ年六分ノ金利ヲ見込ムトキハ二百四十萬圓ノ損失ト爲ル大正十四年度乃至十五年度ニ於テモ此ノ關係ハ殆ト改善セラレサルモノト認ム同所ハ有ユル特典ヲ有シナカラ斯ノ如ク經營狀態不良ナルハ何故ナルヤ是ニ對シ如何ナル對策ヲ有セラルルヤ關稅ノ增率ハ是カ爲ナルカ

一　大正十三年度ノ銑鐵及各種鋼材（鋼塊鋼片重軌條棒鋼型鋼厚板線材外輪等成ルヘク詳細ニ區別シテ）ノ適當リ各平均生產原價及販賣價格ノ實績ヲ示サレタシ

右及再質問候也

追テ答辯ハ書面ヲ以テセラレタシ

大正十五年三月十六日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員岡田伊太郎君外一名提出製鐵所ノ經營ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員岡田伊太郎君外一名提出製鐵所ノ經營ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一　製鐵所ハ純然タル民間營利ノ會社ニ非サルヲ以テ其ノ益金ノ固定資本金、據置運轉資金及同補足金ノ總額ニ對スル割合ノミニ依リ同所ノ事業成績ヲ判定スルコトノ當否ニ付テハ議論アルヘキモ政府トシテハ常ニ同所ノ事業經營ノ改善進歩ヲ圖ルコトヲ怠ラス今回提案セル製鐵所特別會計法案ノ如キモ同所ノ事業經營ヲ成ル可ク民間會社ト同一基礎ニ置キ損益ノ計算ノ根據ヲ明カナラシメ同所ノ事業經營ヲ步一步改善セシメムトスルノ趣旨ニ外ナラス尙製鐵所ノ成績ト今回ノ關稅ノ改正トハ何等關係スル所ナシ

二　大正十三年度ノ銑鐵及各種鋼材ノ壓當リ平均生產原價ハ公示シ難シ其ノ平均販賣價格ハ別紙ノ通リ

右及答辯候也

大正十五年三月十六日

商工大臣　片岡　直溫

大正十三年度鋼塊鋼片等聽當リ平均販賣價格

鋼塊	六六・九四二
鋼片	七四・八七四
重軌條	一〇七・〇一〇
棒鋼	一一八・〇二四
型鋼	一二二・一四〇
鋼板	一二五・九〇四
亞鉛引鋼板	二一八・一〇七
鉄力板	二八三・〇九二
線材及製釘材	一一七・五一二
外輪	二九八・一三三

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一昨十五日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

七一	吉木　陽君
一六〇	土井　權大君

一昨十五日民事訴訟法中改正法律案外一件委員砂田重政君辭任ニ付其ノ補闕トシテ近藤達兒君ヲ、議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件委員服部英明君辭任ニ付其ノ補闕トシテ工藤鐵男君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君)　是ヨリ會議ヲ開キマス、此際新ニ議席ニ著カレタル議員ヲ御紹介致シマス、其氏名ヲ讀上ゲマシタナラバ御起立ヲ願ヒマス、第二百十九番、大分縣第三區選出議員羽田彦四郎君

〔羽田彦四郎君起立〕

〔拍手起ル〕

○議長(粕谷義三君)　御諮リヲ致スコトガアリマス、齋藤珪次君病氣ニ付、三月十五日ヨリ三月二十二日マデ、原田藤次郎君事故ニ付、三月十五日ヨリ三月二十四日マデ、右兩君ヨリ請暇ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス——諸君ニ御斷リヲ致シテ置キマスガ、本日本議場ノ空氣、其他衛生上ノ試驗ヲスル爲メ、係リノ者ヲ數名入場致サセマスカラ、左樣御承知ヲ願ヒマス、本日ノ豫定中、質問ノ第四ヲ除キマス外ハ、何レモ政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタカラ、日程ヨリ之ヲ省キマス、質問第四ニ付テ質問者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、丹下茂十郎君

四　綱紀肅正ニ關スル再質問(丹下茂十郎君提出)

綱紀肅正ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月二日

提出者　丹下茂十郎

綱紀肅正ニ關スル再質問主意書

一大正十四年九月實施セラレタル貴族院多額納稅者議員選擧ニ際シ機密ノ漏洩選擧干涉壓迫等ノ事實

一地方及中央官憲ト通謀シ學校又ハ產業施設ヲ利用シ政黨ノ黨勢擴張ニ資シタル事實

一地方交通機關ノ施設ヲ利用シ政黨ノ黨勢擴張ニ資セムトスル事實其ノ他

右及再質問候也

追テ去ル二月十二日綱紀肅正ニ關スル前記ノ事項ニ付質問主意書ヲ提出セシカ右ハ內容複雜ノ爲其ノ趣旨ヲ演說シ之ニ依リ答辯ヲ需ムルコトトセリ然ルニ政府ハ其ノ趣旨ノ奈邊ニ在ルカヲ極メスシテ唯漠然トシテ答辯書ヲ發シタルカ如キハ不親切極マレリト言フヘシ依テ政府ハ充分陳旨ノ陳述ヲ聞キタル上ニ於テ口頭ヲ以テ詳細答辯セラレムコトヲ望ム

〔丹下茂十郎君登壇〕

○丹下茂十郎君　諸君、私ハ綱紀肅正ノ問題ニ付キマシテ、二三政府當局ニ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、此問題ハ若槻首相兼內相、鐵道大臣、文部大臣ニ主ニ關係ヲ致シテ居リマスルガ、只今出席ニナッテ居リマセヌカラ、願クバ速記錄ニ依リマシテ、此趣旨ニ對シテ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、二月ノ六日ニ、私ハ綱紀肅正ノ件ニ付キマシテ質問ヲ致シテ置イタノデアリマス、然ルニ本月一日ニ至リマシテ、即チ質問日ニ當リマシテ、突如トシテ極メテ簡單ナル答辯書ヲ發セラレタノデアリマス、私ノ質問セントスル事柄ハ、內容ガ頗ル複雜致シテ居リマス爲ニ、書面ニ於テ要ヲ盡シ兼ネマスガ故ニ、當議場ニ於キマシテ十分ニ其意ノ在ル所ヲ盡シテ、之ニ依ッテ政府當局ノ責任アル御答辯ヲ煩ハサウトシタノデアリマシタ、然ルニ極メテ無責任ナル、極メテ冷淡ナル、極メテ不深切ナル所ノ通リ一遍ノ簡單ナル答辯ヲ發セラレタノデアリマス、由來政府ノ答辯ハ斯ノ如キ無責任ナルモノデアルカ、先ニ誰方カノ御質問ニ依リマシテ、政府ノ答辯ガ頗ル不深切デアル、此問ニ對シマシテ若槻總理大臣ハ、政府ノ答辯ハ懇切丁寧ヲ盡スト云フコトヲ聲明サレテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、唯、其質問ノ內容ガ那邊ニ在ルカト云フコトモ究メズシテ、唯、一片ノ形式的ノ答辯ヲ發セラレテ居ルト云フコトハ、政府當局ノ無責任、不深切ニ對シマシテ私ハ非常ニ遺憾ヲ感ズル者デアリマス、私ノ質問セントスル事柄ハ、所謂現內閣ノ政綱ト致シテ居ラレル所ノ綱紀肅正、即チ第一次加藤內閣ノ成立當時、天下ニ聲明致シマシタ四大政綱ノ隨一トシテ、所謂加藤內閣ノ旗印トシテ掲ゲラレマシタ綱紀肅正ノ問題、現內閣ハ前內閣及前々內閣ノ政策ヲ襲踏シテ居ラレル、又曩ニ若槻總理大臣ハ前內閣、前々內閣ノ政治上ノ責任マデ帶ビルト云フコトヲ聲明致シテ居ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、私ハ所謂綱紀肅正ト云フ此政策ニ對シテ、果シテ現內閣ガ此綱紀肅正ナルモノニ力ヲ入レテ居ルヤ否ヤ、此點ニ付テ私ハ御尋致シタイト思フノデアリマス、綱紀肅正ノ必要ナルコトハ、今更申スマデモナイコトデアリマス、殊ニ現時我國ノ國情ニ於キマシテ、畏多クモ國民精神作興ニ關スル詔勅ヲ戴イテ居ル我ガ國民ト致シマシテ、官紀ヲ振作シ、綱紀ヲ肅正シテ、動モスレバ頽廢セントスル所ノ道義觀念ヲ高メ、動モスレバ弛緩セントスル所ノ人心ヲ緊張セシメルト云フコトハ、所謂國民精神ヲ作興スル上ニ於キマシテ、誠ニ必要ナル事デアルノデアリマス、現內閣ハ、此綱紀肅正ヲ政綱ノ第一ニ掲ゲラレテ居リマス以上ハ、此綱紀肅正ニ向ヒマシテハ、嚴肅ニ其徹底ヲ期セネバナラヌコト、思フノデアリマス、然ルニ現內閣ノ綱紀肅正ノ跡ヲ見マスレバ、何等綱紀肅正ノ實ガ擧ラナイノミナラズ、寧ロ却テ之ヲ紊亂シテ居ルト云フ事實ヲ多々認メル者デアリマス、殊ニ綱紀肅正ニ付キマシテハ、本議會ノ當初ニ於キマシテ屢、論議セラレタ所デアリマス、强テ申シマスレバ、現內閣ノ綱紀肅正ト唱ヘテ居ラレルノハ、僅ニ與黨ノ諸君ノ言フガ儘ニナラナイ官吏ヲ黜陟シテ、之ニ代フルニ黨與紛々タル所ノ、而シテ永ク埋レテ居ッタ所ノ自黨ノ人物ヲ起用シテ之ニ當嵌メテ、以テ綱紀肅正ノ事成レリト言ッテ居ルノデアリマス、例ヘバ地方長官ノ更迭ニ付テ見テモ、又植民地ニ於キマスル總督或ハ長官ノ更迭ニ見マシテモ、若クハ特殊會社ノ總裁或ハ頭取等ノ更迭ニ見マシテモ、殆ド與黨ノ色彩ノ薄イ、與黨ニ好意ヲ持タナイ所ノ者デアレバ、其官吏ヲ誠ルコト大根ヲ切ルガ如クデアリマス、曾テ國際勞働會議ノ隨員ト致シマシテ派遣セラレマシタ或ル地方官ガアリマスガ、是等ニ對シマシテモ、其御用序デヲ以テ、歐洲各國ニ於ケル農業狀態ノ調査ヲ命ジテ置キナガラ、而モ其調査半バニシテ一面ニ於テ歸朝ヲ命ジ、然ルニ中途ニ於テ官制ノ改正ノ名ノ下ニ之ヲ誠ッテ居ル、而モ其事ハ本人モ知ラズシテ、亞米利加ニ渡ッテ初メテ之ヲ知ッタト云フヤウナ實例ガアル、地方長官ノ任免ニ於キマシテモ、マダ赴任シテ席暖マラナイ、其家族ハ移轉ノ爲ニ汽車中ニ在ル者ガ、途中ニ於テ免官ノ發令ヲ見タト云フガ如キ、其他轉任日尚ホ淺クシテ、何等仕事ノ手ニ著カナイトキニ、直ニ免官ノ處分ヲシテ居ルモノガ多々アルノデアリマス、亂暴モ此ニ至ッテ極マレリト言フベキデアリマシテ、是ガ爲ニハ人心ヲ惡化セシメ、思想ヲ險惡ニ導クモノデアッテ、斷ジテ綱紀肅正ト云フコトハ出來ナイト思フノデアリマス(拍手)而モ私ノ不可解ニ感

ジマスルコトハ、中央並ニ地方ノ官憲ヲシテ、盛ニ地方與黨ニ便宜ヲ與ヘテ、其黨勢ノ擴張ヲ圖リ、而シテ綱紀ヲ紊亂シテ居ル上ニ云フコトガ、枚擧ニ遑アラヌノデアリマス、卽チ憲政會ノ黨勢擴張ノ爲ニ、地方官憲ト通謀シ、中央官憲ト聯絡ヲ保ッテ、有ユル手段ヲ以テ黨勢ノ擴張ニ狂奔シテ居ル事實ガアルノデアリマス（「ヒヤ〜〜」「ノウ〜〜」「夢ヲ見テ居ッテハイカヌゾ」ト呼フ者アリ）ドウゾ與黨諸君、暫ク我慢ヲ願ヒマス、之ヲ我ガ愛知縣ノ實例ニ見マシテモ、其例ハ少カラヌノデアリマス、一二ノ例ヲ以テ申上ゲマスレバ、彼ノ三派協調ノ加藤內閣ガ成立致シマスルヤ、愛知縣ニ於キマスル憲政會ノ諸君ハ、尾張內閣ノ出現ト稱シ、我黨內閣ヲ謳歌セラレタノデアリマス、是ハ吾々ト致シマシテモ、縱令政黨ノ所屬ヲ異ニスルトシマシテモ、我ガ鄕土ニ於ケル先輩ガ、大宰相ノ印綬ヲ帶ンダト云フコトニ付キマシテハ、頗ル歡喜ニ堪ヘナカッタノデアリマス、而シテ名實共ニ尾張內閣タラシメンコトヲ希望致シタノデアリマス、然ルニ世間ニ於キマシテハ、之ヲ尾張內閣ト言ハナイ、之ヲ稱シテ土佐內閣ト云フ、或ハ三菱內閣ト言ヒ、若クハ金權內閣、更ニ財閥內閣ト云フコトヲ唱ヘタノデアリマス（拍手）私ハ此尾張內閣ガ財閥內閣デアルカ、三菱內閣デアルカト云フコトハ、敢テ茲ニ喋々致ス必要ハナカラウト思フノデアリマス、唯、愛知縣ニ於キマスル憲政會ノ諸君ハ、愛知縣ノ出身デアル加藤高明氏ノ其發祥ノ地ニ於キマシテ、縣政ノ上ニ黨勢甚ダ振ハズ、力、政友本黨ニ及バナイト云フコトニ付キマシテ、非常ニ御苦心ノアルコトハ御察シ申上ゲル次第デアリマス、何トカ致シテ我黨天下ノ威力ヲ示サン爲ニ、有ユル方法手段ヲ以テマシテ、黨勢ノ擴張ニ腐心セラレテ居ルノデアリマス、而シテ我黨前總理ノ發祥ノ地ニ於テ、憲政會ノ根柢ヲ養ハントセラレタ事ハ、洵ニ御察シスル次第デアリマス、而シテ政黨デアリマス以上ハ、其黨勢ノ擴張ヲ圖ルト云フコトハ、固ヨリ異論ガ無イノデアリマス、唯、其黨勢擴張ノ爲ニ官權ヲ濫用シ、地方問題ヲ利用シ、或ハ利權問題ヲ提供シ、甚シキハ黃白ノ魔力ニ依ッテ、黨勢ヲ擴張セントスルガ如キ事ハ、斷ジテ與スルコトガ出來ナイノデアリマス（拍手「ノウ〜〜」「馬鹿ナコトヲ言フナ」ト呼フ者アリ）暫ク我慢ヲ願ヒマス、斯ノ如キ陋劣ナル手段ニ於テ、黨勢擴張ノ目的ヲ達セントスルガ如キコトハ、公明正大ナル政黨ノ爲ス事デナイト思フノデアリマス（拍手）況ヤ地方官憲ヤ、或ハ中央官憲ト通謀致シマシテ、或ハ中央官憲ヲ使嗾シテ、其中央官憲ノ力ニ依ッテ地方ノ官憲ヲ壓迫シテ、サウシテ地方ノ自治體ヲ驅テ政爭ノ渦中ニ引入レントスルガ如キ事ハ、斷ジテ許スベカラザルコトデアリマス（拍手）而モ綱紀粛正ヲ高唱スル所ノ現內閣ニ於テ、斯ノ如キ紊亂ノ甚シキモノアルコトハ、吾人ノ最モ遺憾トスル所デアリマス（拍手）今更ニ一二ノ例ヲ以テ申上ゲマスレバ、昨年ノ九月ニ行ハレマシタ貴族院ノ多額納稅者議員ノ選擧ノ如キ、洵ニ綱紀紊亂ト、選擧ノ干涉壓迫甚シキモノアル事實ヲ認メテ居ルノデアリマス（拍手）我ガ愛知縣ニ於キマシテハ、二百人ノ中ヨリ二人ノ多額納稅議員ヲ選出スルコトニナッテ居ルノデアリマス、其中ニ於キマシテ、三人ノ候補者ガ現レマシテ、二人ハ憲政會デアリ、一人ハ吾々ノ支持スル所ノ候補者デアッタノデアリマス、憲政會候補者ノ一人ハ、互選人名簿ノ發表セラレル數箇月以前ヨリ、既ニ內密ニ互選人ニ對シテ戶別訪問ヲ致シテ居ッタト云フ事實ガアルノデアリマス、一體縣ニ於キマシテハ、此名簿縱覽前ニハ、絕對ニ之ヲ祕密ニシテ發表シナカタノデアリマス、納稅額ハ勿論、其互選人資格ノアル人名ヲ、嚴祕ニ付シテ之ヲ見セナカタノデアリマス、然ルニ此改正規則ノ發布當時ヨリ、所謂內務省ニ於キマシテ、互選人ノ下調ベヲ縣ヨリ微シテ居リマス時ヨリ、既ニ憲政會ノ或ル一人ノ人ハ、之ヲ明瞭ニ知ッテ居ッタノデアリマス、故ニ數箇月前ヨリ數回ニ亙ッテ、此戶別訪問、內密運動ヲ致シテ居ッタノデアリマス、卽チ選擧人、互選人名簿ガ確定致シマシテ、他ノ候補者ガ立候補致シマス以前ニ於テ、既ニ數回ノ戶別訪問ヲ致シテ居ル、是ハ何ニ由ッテ知ルコトガ出來タノデアルカ、必ズヤ地方官憲ト通謀シテ、此機密ヲ漏洩シタト云フニ外ナラヌノデアリマス（拍手）而モ選擧ニ當リマシテハ、各大臣ハ屢々シク名前ヲ列ベ、政務次官ハ盛ニ選擧運動ニ沒頭致シテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、殊ニ選擧ノ當時ニ於キマスル地方官憲ノ、所謂反對黨ノ候補者ニ對スル所ノ壓迫干涉ハ、實ニ甚シキモノガアッタノデアリマス、其事實ヲ申上ゲマス、反對黨ノ候補者ノ事務所ハ極メテ交通便利ナ所ニ在ルノ故ヲ以テマシテ、多數ノ警察官ヲ之ニ配置致シマシテ常ニ其事務所ヘ出入スル所ノ者ヲ監視シ、而モ憲政會ノ候補者ノ事務所ノ方ハ極メテ緩慢デアリマシタ、或日ノ如キハ電車ノ交叉點デアルガ故ニ、警戒ヲスル名ノ下ニ十數人ノ警察官ヲ配置シテ、其事務所附近ヲ警戒致シタコトガアルノデアリマス、斯ノ如キ事ハ一種ノ威嚇デアル、選擧干涉デアルノデアリマス（拍手）而モ選擧ノ當日ノ如キハ互ニ紳士協約ニ依リマシテ、當日ハ一切選擧運動ヲシナイト云フ約束ヲシタノデアル、卽チ當日ヲ無風狀態ニ置クコトニシタノデアリマス、然ルニ此無風狀態ニスルト云フコトヲ奇貨トシテ、此反對黨ニ厚意ヲ有シテ居ル有資格者ト認メマスト云フト、家ノ外ニハ一人ノ正服私服ノ巡査ヲ配置シ、又家ノ中ニハ二人ノ私服巡査ヲ配置シテ居リマス、サウシテ其家ニ出入スル者ヲ誰何シ、營業上非常ナ妨害損失ヲ與ヘタノデアリマス、而シテ刑事巡査ハ其主人ニ面會ヲ强要シテ、何人ニ投票スベキカヲ質シ、若クハ早ク投票ニ行カンコトヲ慫慂致シタリ、種々ナル方法手段ヲ以テ選擧ノ妨害ト干涉ヲ致シテ居ルノデアリマス（拍手）斯ル干涉壓迫ヲ爲ス傍ニ於キマシテ、鈴置君、小山君ノ如キ政務次官ガ、盛ニ選擧運動ニ沒頭シテ居ラレタト云フコトデアリマス（拍手）固ヨリ政務官デアルカラ選擧ニ關係スルコトヲ何ノ憚ルコトガナイト言ハレマスカ知リマセヌガ、職務ヲ抛擲シテ選擧運動ニ熱中スル如キコトハ、縱令政務官ト雖モ官吏トシテハ其服務規律ニ依ラナケレバナラヌ（拍手）或ハ甚シキハ或ル警察署長ノ如キハ、自カラ電話口ニ立ッテ、サウシテ有資格者ヲ尋ネ、又自カラ足ヲ運ンデ有資格者ノ宅ヘ行ッテ、他ノ候補者ノ選擧運動ノ狀況ヲ聽キ、ソレニカコツケテ何人ニ投票スルカヲ探リ、而シテ又憲政會候補者ニ對シテ有利ナル宣傳ヲ致シタト云フ事實ガアルノデアリマス、又甚シキハ或ル警察署長ノ如キハ、自ラ「オートバイ」ヲ飛シマシテ、本黨系ノ或ル有資格者ヲ訪問致シマシテ、貴下ニ對シテ忌ハシキ投書ガ參ッテ居ル、貴下ノ人格ニ對シテ左樣ナ事ハナカラウト思フケレドモ、萬一本黨ノ候補者ノ人ガ當選致スヤウナコトガアリマシタナラバ、遺憾ナガラ貴下ニ對シテ相當ノ手續ヲ執ラナケレバナラヌカラ、豫メ御注意ヲ致シマスト云フコトヲ、警察署長自ラ出テ言ッテ居ルノデアリマス（拍手）斯ノ如キハ暗ニ威嚇ヲ與ヘ、而モ其噂ニ依リマスレバ、署長ノ面前ニ於テ本黨候補者ニ對シテ投票ヲ御斷リスルト云フ文書ヲ書カセタト云フコトデアリマシテ、當時其文書ヲ私ハ認メテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ選擧干涉壓迫ノ事實ハ多々アルノデアリマス（拍手）更ニ愛知縣會ニ於キマスル所ノ政黨ノ分野ガ先キニ申上ゲマス通リ、折角我黨內閣ノ下ニ於キマシテ黨勢政友本黨ニ及バナイト云フ爲ニ、其大勢ヲ挽回スルガ爲ニハ中學校問題ヲ餌ト致シ、或ハ工業試驗場ノ問題ヲ餌ト致シ、甚シキハ暴力ヲ以テ本黨議員ヲ拉致セント致シタ事ガアルノデアリマス、開會ノ日ニ當リマシテ名古屋驛頭ニ非常ナル暴行問題ガ起ッタト云フコトハ、是ハ事實デアルノデアリマス、所謂一昨年町立女學校ヲ縣營ニ移スト云フ餌ヲ以テマシテ、旨ヒト本黨議員ヲ一名奪取致シマシタ、其味ヲ覺エマシテ昨年ノ縣會ニ於キマシテハ中學校二校增設スル、其中學校ヲ增設スルニハオ前ガ政友本黨ニ居ッテハ工合ガ惡イ、我黨ヘ入ッテ來レバオ前ノ所ニ中學校ヲ增設シテヤレルンダ、而シテ地

方民ヲ煽動致シマシテ、其地方民ヨリ縣會議員ヲ壓迫致シマシテ、而モ此二校ノ中學校ハ數郡ニ振廻サレマシテ、數名ノ縣會議員ヲ——所謂政友本黨ノ縣會議員ヲ掠奪セント致シタノデアリマス(拍手)然ルニ縣會ノ初メニ當リマシテ、知事ハ果シテ中學校ヲ增設スベキ案ヲ提出スルノデアルカ否ヤト云フ質問ニ對シマシテ、當時知事ハ明瞭ニ財政緊縮ノ折柄、當縣會中ニ於テハ提案スルコトハ致サナイコトヲ言明致シタノデアリマス、ソレガ爲ニ憲政會ノ諸君ハ色ヲ失ッタ、爲ニ憲政會ノ意ノ如ク動カザル知事ヲ難ジマシテ、內務省ニ向ッテ盛ニ排斥運動ヲ始メタト云フコトデアリマス、現ニ最近ニ於テモ此知事排斥ノ問題ガ起ッテ居ルト云フコトデアリマス、而モ其知事ノ排斥運動ト同時ニ、更ニ內務省ニ向ッテ——內務省ヨリ知事ヲ高壓ヲ致シテ、二校增設ノ案ヲ提出サセント致シタノデアリマス、聞ク所ニ依レバ川崎內務事務次官ハ、極力此二校增設案ヲ提出スルコトヲ知事ニ强要壓迫甚シキモノガアルト云フコトデアリマス(「事實デナイ」ト呼フ者アリ)事實デアリマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(柏谷義三君)　靜粛ニ願ヒマス

○丹下茂十郎君(續)　知事ハ一旦提案致サザルコトヲ言明致シマシタ關係非常ナ窮地ニ陷ッテ、進退兩難ニ陷ッタノデアリマス、內務省ニハ政務次官ト事務次官ノアルコトハ御承知ノ通リ、然ルニ只今地方ニ於キマシテハ、內務省ニハ政務次官ガ二人アル、卽チ川崎事務次官ガ非常ニ政務ニ付テ地方長官ヲ壓迫干涉スルノ煩ニ堪ヘナイト云フコトヲ言ッテ居ルサウデアリマス、恐ラク我ガ愛知縣ニ起リマシタ事實モ其一ツデアラウト思フノデアリマス、斯ル事業ニ於キマシテ、綱紀肅正ノ內務大臣ハ如何ニ之ヲ見テ居ルカ、而モ憲政會ハ此二校ノ中學校ノ增設案ヲ以テ、本黨議員ヲ一兩名旨ト釣上ゲマシタ關係上、何ト致シテモ此中學校ノ增設ヲシナケレバナラヌ、遂ニ某憲政會ノ代議士ハ若槻內務大臣ノ使者デアルト稱シテ、其知事ニ最後ノ談判ヲ致シタノデアリマス、我黨ノ內閣ノ面目ニ懸ケテドウシテモ中學校ノ二校增設案ヲ提出シナケレバナラナイ、卽チ中學校案ヲ提出スルカ、ソレガ嫌ナラ馘ラウカ、ソレトモ自分デ腹ヲ切ルカト云フ、洵ニ際ドイ事ヲ致シテ居ルノデアリマス、(拍手)所謂白木ノ三寶ニ九寸五分ト云フ、洵ニ凄イ劇的ナ場面ヲ演出致シタノデアリマス、斯ノ如ク虎ノ威ヲ假ル何ト申シマスカ、其某代議士ハ羊ノ如ク柔順ナル知事ヲ捉ヘテ、其喉首ヲ絞メタノデアリマス、故ニ已ムヲ得ズ知事ハ縣會ノ盡ル前二日ニ至リマシテ、突如トシテ此二中學校增設案ヲ提出致シタノデアリマス、斯ノ如ク政務次官ノ行動ハ綱紀肅正ノ上ニ於テ差支ナイカ、又若槻內務大臣ガ某代議士ヲ使者トシテ知事ニ最後ノ壓迫ヲ加ヘ、遂ニ悲痛ナル——知事ノ立場ヲ失ハシメテ、地方自治ヲ驅ッテ政爭ノ具ニ供シ、之ヲ攪亂スルガ如キハ內相自ラ甚シイ綱紀紊亂デアルト思フノデアリマス(拍手)而シテ只今ノ問題ハ會期ヲ終ル前日、漸ク參事會ニ付議サレマシタノデアリマスケレドモ、斯ノ如キ不純ナル動機ニ於テ提案サレタモノデアリマス故ニ、十名ノ參事會員中六名ノ反對ガアリ、四名ノ贊成デアッタノデアリマスガ、然ルニ縣ノ官吏タル參事會員ノ二名ガ加ハリマシテ、贊否同數トナリマシテ、ソレニ知事ガ採決致シマシテ茲ニ決定致シタノデアリマス、然ルニ餘リニ倉皇トシテ此問題ヲ扱ッタガ爲ニ、之ニ附帶スル所ノ經費負擔ニ關スル議案ノ付議ヲ忘レタノデアリマス、而シテ參事會ニ此問題ヲ付議セズシテ散會ヲ宣告致シタノデアリマス、後ニ至リマシテ附帶議案ガ參事會ノ決議ヲ經ナカッタト云フコトデ、洵ニ知事始メ縣當局ハ色ヲ失ッテ、翌日ノ縣會ニ本案ヲ提出サレマシタケレドモ、果シテ參事會ニ於テ決議ヲ經タモノデアルヤ否ヤト云フコトガ問題ニナリマシテ、其問題ノ調査ノ爲ニ丁度午後十二時ヲ經過致シマシテ、茲ニ會期ハ滿了致シマシテ、本案ハ遂ニ縣會ノ議案トナラズシテ終ッタノデアリマス、而モ斯ノ如キ議案ガ其後聞ク所ニ依リマスルト云フト、原案執行ヲスルト云フコトガ內務省ニ提出サレテ居ルト云フコトデアリマス、而シテ鈴置文部政務次官ハ、此問題ニ頗ル關係ヲ持ッテ居ラレルシ、又川崎事務次官ハ是非共此原案ハ執行ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ルト云フコトデアリマス、恐ラク斯ノ如キ不純ナル動機、又斯ノ如キ不備ナル、卽チ縣會ノ決議ヲ經テ居ナイ所ノ問題ヲ以テ、原案執行ヲスルト云フコトハ萬々ナカラウト信ジマスケレドモ、此場合ニ於テ切ニ內務大臣ノ反省ヲ促シテ置ク次第デアリマス(拍手)更ニ內務大臣ニ御尋ヲ致サナケレバナラヌコトハ、愛知縣ニ二木千年君ト云フ內務部長ヲ置カレタノデアリマス、固ヨリ私ハ二木君トハ何等恩怨ノナイ間柄デアリマス、同君ハ曾テ滋賀縣ノ警察部長ノ當時、恰モ寺內內閣ノ時ニ內務大臣ガ選擧干涉ヲ强フルモノナリト斷定シテ、職ヲ抛ッテ去ッタ人デアリマス、所謂俗ニ申シマス札附ノ憲政會ノ人デアルノデアリマス、斯ノ如キ政黨的色彩ノ濃厚ナル人ヲ以テ、愛知縣ノ內務部長ニ入レタト云フコトハ、彼ノ至公至平ヲ以テ自ラ任ジテ居ル——吾々カラ見マスレバ優柔不斷デアリマセウ、其優柔不斷官僚的ナル山脇知事ニ配スルニ、此極端ニ色彩ノ濃厚ナル內務部長ヲ配シタト云フコトハ、政府ノ意ノ在ル所ヲ察スルニ餘リアルノデアリマス、所謂愛知縣ヲ思フ存分ニ憲政會化セシメントスル所ノ魂膽デアルコトハ、何人ト雖モ直ニ分ルコトデアルノデアリマス、而モ同君ハ自ラ憲政會デアルコトヲ表明致シテ居ルノデアリマス、彼ノ縣會議員爭奪ノ策謀ノ如キ、學校問題ト云ヒ、或ハ工業試驗場問題ト云ヒ、是等ノ策謀ハ常ニ縣廳ノ內務部長室ニ於テ行ハレテ居ル、又內務部長ノ官舍ニ於テ行ハレテ居ル、特ニ甚シイノハ諸君御承知ノ通リ、愛知縣ニハ瀨戶ト云フ陶器ノ原產地ガアルノデアリマス、此陶器ノ原產地ノ原料タルベキ陶土、其陶土ハ瀨戶附近ノ縣有地ヨリ產スルノデアリマス、從來當業者ハ縣ヨリ拂下ヲ受ケテ、サウシテ自ラ採掘ヲ致シテ居ッタノデアリマス、而モ昨年縣會ニ無謀ニモ此仕事ヲ縣營ニ依ッテヤラウト云フコトヲ案出シタノデアリマス(「縣會ノ問題ダ」ト呼フ者アリ)縣會ノ問題デハアリマセヌ、聞ク所ニ依レバ、此問題ノ爲ニ陶土ノ採掘權ヲ或ル利權屋ガ占メテ、サウシテ巨利ヲ博セントスル所ノ計畫ガ暴露致シマシタ爲ニ、地方民ハ之ニ對シテ非常ナル反對ヲ致シタノデアリマス、是等ノ事ニ付キマシテモ、內務部長自ラ策動致シマシタ、此問題ニ付キマシテ地方ノ當業者ハ、非常ナル恐怖ノ念ヲ持チマシテ、縣ニ向ッテ反對運動——陳情ヲ致シタノデアリマス(此時發言スル者多シ)與黨諸君ハ靜ニ、暫ク耳障リデモ御辛抱ヲ願ヒマス

〔發言スル者多シ〕

○議長(柏谷義三君)　靜粛ニ

○丹下茂十郎君(續)　此陶土ノ縣營問題ニ付キマシテ、地方ノ當業者ガ縣ニ向ッテ陳情致シマシタル場合ニ、內務部長ハ曰ク、「瀨戶町ハ憲政會ノ盛大ナル所デアルト聞イテ居ル、人ハ私ヲ憲政會ト言フ、サウデアラウト思フ、其憲政會ニ好意ヲ持ッテ居ル私ガ憲政會ノ盛ナル地方ニ對シテ不利益ノ事ヲシナイカラ任シテ置ケ、卽チ我ハ憲政會ノ人間デアル」ト云フコトヲソコニ言明致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク縣ノ官吏ガ最モ公平ニ、最モ嚴正ニ政黨政派ニ超越シナケレバナラナイ地方ノ官憲ガ、自ラ政黨ニ屬スルガ如キ態度ヲ以テ、サウシテ地方ノ自治ヲ驅ッテ混亂セシムルト云フヤウナコトハ、斷ジテ許スベカラザル事デアルト思フノデアリマス(拍手)固ヨリ內務省ハ其計畫デ以テ二木千年君ヲ配シタモノトスレバ、內務大臣ハ甚ダ怪シカラヌ、綱紀紊亂ノ張本人ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、更ニ仙石鐵道大臣ニ御尋ヲ致スコトガアル、地方交通機關ノ設置ヲ利用致シマシテ、憲政會ノ黨勢擴張ニ供スルト云フコトデアリマス、是ハ名古屋ヲ中心ト致シマシテ、東濃多治見ニ通ズル爲ニ、所謂尾濃中央電氣鐵道ト云フモノ、開設ヲ目論ンデ居ルノデアリマス、此申請ニハ此地方ノ最モ有力者ヲ網羅シ、發起人トシテ居ルノデア

リマス、(「脫線スルナ」ト呼フ者アリ)マア御聽キナサイ、然ルニ聞ク所ニ依リマスレバ、古屋鐵道參與官ノ命ナリト稱シテ、此申請人タル發起人ノ中ヨリ、政友本黨系ノ人物ヲ剔除ケサセタノデアリマス、即チ政友本黨ノ人ガ發起人ニ入ッテ居ッテ呉レテハ、本問題モ許可スル上ニ於テ差支ヲ來ス、ソレ故ニ政友本黨ノ人ヲ是カラ、拔イテ御貰ヒシタイ、是ガ古屋サンヨリ命令サレタ」ト云フコトデアリマス、而モ甚ダ怪ムベキハ、其中ニ僅ニ二方ダケ特別ニ殘シテアル、苟モ勅ル交渉機關ノ如ク經濟的ノ事業ニ關シマシテモ、政黨的色彩ヲ以テ許否ヲ決スルガ如キコトハ、實ニ言語道斷デアルト思フノデアリマス、綱紀紊亂是ヨリ甚シキハナシト思フノデアリマス、而モ本件ハ既ニ技術官ノ手ノ離レマシテ事務官ノ手ニ渡ッテ居ル、サウシテ最早許可ニナラナケレバナラス場合ニナッテ居ルケレドモ、聞ク所ニ依リマスト云フト、古屋參與官ノ御手許ニ是ガ保留サレテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ甚ダ怪ムベキ事デアリマス、聞ク所ニ依リマスト云フト、此議會ノ解散ヲ氣構ヘテ、若シ解散ニデモナレバ、次ノ選擧ニハ鐵道問題デ以テ此地方ノ首根ッ子ヲ押ヘヤウト云フ計畫デアルサウデアリマス　而モ一兩名殘シタ人物ハ、從來政友本黨ノ利手デアル、其利手ヲ此問題ノ爲ニ首ヲ押ヘテ、サウシテ我黨ノ便宜ノ爲ニ働カセントスル魂膽デアルコトハ何人モ認メテ居ルノデアリマス(拍手)斯クテモ鐵道大臣ハ綱紀肅正ノ上ニ不都合ナシト言得ルカ、此點ニ付テ明確ナル答辯ヲ望ム次第デアリマス、今一ツ頗ル重要ナル問題ガアルノデアリマス、彼ノ名古屋市ニ尾三銀行ト稱シマスル所ノ、元憲政會ノ代議士內藤傳祿ナル人ガ、農工銀行ノ強取ト兼ネマシテ、其銀行ノ頭取トナッテ經營致シテ居ッタ銀行ガアルノデアリマス、然ルニ此尾三銀行ガ、去ル大正十二年、積年ノ不始末ヲ曝露致シマシテ取付ニ會ヒ、支拂ヲ停止シ、休業ニ次グニ休業ヲ以テ致シマシテ、地方ノ財界ヲ混亂セシメ、金融市場ヲ脅威致シマシタコトハ、今尙ホ吾人ノ耳ニ新ナル所デアリマシテ、同銀行ハ元貯蓄銀行デアッタモノガ、彼ノ貯蓄銀行法ノ改正ニ依リマシテ、普通銀行トナリ、更ニ他ノ銀行ヲ合併致シマシテ、內容ハ兎モ角、外形ダケハ相當規模ノ大キイ所ノ銀行トナッテ居ッタノデアリマス、而シテ此銀行ハ初メ農工銀行ノ預金吸收ノ機關トシテ設ケラレタノデアリマシテ、而モ地方ニ於ケル或ル銀行ヲ合併致シマシタ關係モアリ、何レモ地方ノ極メテ下級ノ方面ニ多數ノ預金者ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、而シテ此銀行ハ何故カ從來憲政會ノ御用銀行ト稱サレテ居ッタノデアリマス、隨テ內部ノ經營ハ兎角面白カラザル事ガアッテ、常ニ此風評ガ傳ッテ居ッタコトハ、世間周知ノ事實デアルノデアリマス、ソレカアラヌカ當時不始末ガ曝露致シマシテ、殆ド收拾スルコトガ出來ナイ混亂狀態ヲ呈シマシテ、整理不能ニ陷リマシタ時ニ、時ノ憲政會總裁デアル加藤高明氏ガ、時ノ愛知縣知事、今ノ警視總監デアリマス太田政弘氏ニ旨ヲ含メマシテ、其救濟ノ途ヲ立テシメント致シタノデアリマス、即チ銀行ノ經營者ハ、此加藤前憲政會總裁ノ御聲掛リニ依リマシテ、太田知事ニ哀訴嘆願ヲ致シテ、其整理ニ關係ヲシテ貰フコトニナッタノデアリマス、故ニソレマデ殆ド我レ關セズ爲ノ態度ヲ執ッテ居リマシタ時ノ愛知縣知事太田政弘君ハ、終ニ部下ニ命ジマシテ之ニ關與スルコトニナリ、所謂縣廳案ナル整理案ヲ提ダマシテ、預金者總代トノ間ニ協定ヲ整ヘ、五箇年間預金ノ拂戻ヲ致サナイ、サウ云フ約束ノ下ニ一時開店ヲ致シテ整理スルコトニナッタノデアリマス(「銀行ノ總會デハナイゾ」ト呼フ者アリ)是ハ大問題デアリマス、銀行ノ缺損ハ概要少ク見積ッテモ六百万圓、少シク多ク見積リマスレバ七百万圓ニ垂ントシテ居ル所ノ大穴ガ明イタノデアリマス、然ルニ一方ニ於テハ預金拂戻ノ停止、重役ノ責任負擔、株金ノ拂込、是等ニ依リマシテ相當ノ年間ニ此缺損ヲ塡補スルト云フ、誠ニ都合ノ好イ案ガ出來タノデアリマス、併ナガラ到底豫期ノ如ク行ハレナイノデアリマス、而モ預金者ノ總代トナリマシタ者ハ、多ク銀行ニ多額ノ負債ヲ持ッテ居ル者ガアリマシタカラ、其間ニ於キマシテハ種々不正ナル行爲モ行ハレタト云フコトデアリマス、前ニ申シマシタ通リ同銀行ハ元貯蓄銀行デアリマシタ爲ニ、又農村ニ於ケル某銀行ヲ合併シマシタ關係上、農村ニハ支店、代理店、出張店ト云フヤウナモノヲ澤山ニ持ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ極メテ下層階級ノ零細ナル所ノ預金、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ汗ト膏、血ト涙ノ結晶デアル所ノ預金デアルノデアリマス、此七百万圓ニ垂ントスル所ノ大金ヲ雲散霧消セシメマシタガ爲ニ、預金者ノ中ニ於キマシテハ、ソレガ爲ニ發狂致シタ者アリ、或ハ自殺ヲ致シタ者モアリ、或ハ一家離散ノ悲境ニ沈淪シタ者モアリマシテ、非常ニ社會ニ害毒ヲ流シタノデアリマス、殊ニ地方農村ニ於キマシテハ、小作階級ノ者ガ粒々辛苦ヲシテ貯ヘタ預金ガ大部分ヲ占メテ居リマス、ソレ等ノ人ニ非常ナ慘害ヲ與ヘタノデアリマス、諸君モ名古屋地方ノ新聞ヲ御覽ニナリマスレバ、每日ノ三行廣告ニ、尾三銀行預金高價賣入ト云フ廣告ガ澤山アル、又株式ノ仲買店トカ債券ノ「ブローカー」ノ店頭ノ立看板ニハ、尾三銀行ノ預金高價賣入ト云フ廣告ヲ致シテ居ル、ソレガ如何ナル狀態カト申シマスレバ、預金ノ三分乃至三分五厘ノ値打シカナクナッテ居ルノデアリマス、即チ斯ノ如キ大穴ヲ明ケルコトハ尋常一樣ノ經營ヲ誤ッタトカ、或ハ放漫ナル貸出ヲ致シタト云フコトデハナイ、此間ニハ必ズ不正不義ノ行ハレテ、ソレニ消費サレタコトハ疑フ餘地ガナイノデアリマス(拍手)即チ從來憲政會ノ御用銀行デアルトカ、或ハ憲政會ノ金穴デアルトカ云フコトヲ言ハレテ居ッタコトモ、單ニ一ツノ噂トノミ見ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、果セル哉爾來司直ノ手ガ伸ビマシテ、彼レ內藤傳祿君ガ多年ニ亙テ惡辣ナル黑手ヲ伸バシ、私慾ヲ貪ルト共ニ、一面ニ聞ク所ニ依リマスレバ多年憲政會ノ軍用金トシテ支出シタト云フコトデアリマス(拍手)豫審決定書ノ內容ニ付テ見マシテモ、概ネ此間ノ消息ヲ窺フコトガ出來ルノデアリマス(拍手)彼ガ斯ル厖大ナル金ヲドウ云フ風ニ支出致シタカト申シマスト、總テ泡沫會社ヲ造リ、幽靈會社ノ名前ダケ造ッテ、ソレニ貸付ノ形式ヲ取ッテ居ルノデアリマス、即チ銀行ノ帳簿ニ於キマシテハ、立派ナ貸出ニナッテ居リマスケレドモ、其實ハ何時ノ間ニヤラ其先ガポーット消エテ居ルノデアリマス、甚シキハ被告自身ト其弟ニ依テ設立セラレテ居リマス某幽靈會社、而モ內藤ソレ自身ノ宅ヲ事務所トシテ居ル其幽靈會社ニ對シテ、二百數十万圓ヲ貸付ケタ形ヲ取ッテ居ルノデアリマス、其他所謂憲政會ノ走狗ト謂ハレテ居ル或ル殆ド無資產ノ者ニ對シテモ、數十万圓ノ貸付ヲ致シテ居ルノデアリマス(拍手)マルデ銀行ノ金ヲ掴ミ取ッテ、サウシテ之ヲ以テ憲政會ノ軍用金ニ投ゼラレタト云フコトデアルノデアル(アウ〜〜)尊ニ依リマスレバ、某々政務次官モ相當御關係ガ淺カラヌト云フコトデアリマス(拍手)更ニ奇怪ナル事ハ、彼レ內藤ガ正ニ司直ノ手ガ伸ビントシマスルヤ、姿ヲ晦マシテ杳トシテ長ク其消息ヲ絕ッテ居ッタノデアリマス、巧ミニ逃廻リマシテ、其間ニ罪ノ彌縫ヲ爲シ、何トカシテ此罪ヲ免レル工夫ヲ致シタノデアリマシテ、聞ク所ニ依リマスレバ、當時加藤高明氏及鈴置氏等ニ縋リマシテ、時ノ司法大臣ニ泣ヲ入レテ、何トカ致シテ此罪ヲ免レント致シタノデアリマス(拍手)而モ甚シキハ此隱遁中ニ於キマシテハ、鈴置政務次官ノ家ニ隱レテ居ッタト云フコトデアリマス(拍手)鈴置政務次官ノ家ヲ隱レ家トシテ、サウシテ各方面ニ運動シテ居ッタト云フコトハ、世間周知ノ事實デアリマス、如何ニ惡辣ナル方法ヲ執リマシテモ天ハ之ヲ許サナイ、百計盡キマシテ遂ニ囹圄ノ身トナッタノデアリマス、既ニ豫審ニ於テハ決定致シテ居リマスガ、マダ豫審調書ハ發表ニハナリマセヌ、恐ラク豫審調書ハ發表ト公判ノ開廷トニ依リマシテ、其實情ガ赤裸々ニ世間ニ發表セラレルコト、考ヘマ

ス、私ノ問ハントスル所ハ、是ガ若シモ事實デアルトスルナラバ、苟モ一國文教ノ府ニ於テ最モ重要ナル職ニ在ル所ノ鈴置氏ガ――借金問題ハ是ハ別デアリマス、借金問題ハ別ト致シマシテモ、斯ル大罪人ヲ隱匿シテ居ッテ、之ヲ庇護スルト云フコトガ果シテ事實ナリトスレバ、綱紀肅正ヲ叫フ所ノ現內閣ノ高官ト致シマシテハ、許スベカラザル事ト思ヒマス（拍手）而シテ煙ノ揚ル所ニハ多少ノ火ガアルト云フコトヲ申スノデアリマス、必ヤソレ相當ノ火ガアルカト思フノデアリマス、不日豫審決定、豫審調査ノ發表、公判ノ開始ニ依ッテ是ハ世間ニ赤裸々ニ出マスカラ、恐ラク其實情ガ明瞭ニナル事ト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ文部大臣ハ此問題ヲ如何ニ見テ居ルカ、綱紀肅正內閣ノ而モ文教ノ首腦デアル所ノ文部大臣ガ、此問題ヲ如何ニ見ルカト云フコトヲ私ハ問ハントスルノデアリマス、要スルニ以上申述ベマシタ數箇ノ問題ハ、現內閣ノ標榜シテ居ラレマス所ノ、綱紀肅正ナル此旗印ノ前ニ慚ヅル所ハナイカ（拍手）此點ニ付キマシテ關係各大臣ヨリ明快ナル所ノ答辯ヲ煩ハシテ此壇ヲ降ルノデアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　仙石鐵道大臣

〔國務大臣仙石貢君登壇〕

○國務大臣（仙石貢君）　丹下君ニ御答ヲ致シマスガ、鐵道大臣ハ私設鐵道ノ重役ノ私事ニ付イテ何モ關係スル者デハアリマセヌ、隨テ又先刻御述ベノ事實ニ付テハ、何モ聞イテ居リマセヌ（拍手）

○議長（粕谷義三君）　鈴置政府委員

〔政府委員鈴置倉次郎君登壇〕

○政府委員（鈴置倉次郎君）　只今丹下君ヨリ地方及中央官憲ト（「大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）只今丹下君ヨリ文部大臣ニ御質問ニナリマシタ要點ハ（發言スル者多シ）

○議長（粕谷義三君）　靜粛ニ願ヒマス

○政府委員（鈴置倉次郎君）（續）　地方官憲ト中央官憲ト連絡ヲ致シテ、學校ヲ利用シテ黨勢擴張ヲ圖ッタト云フ御質問ノ趣意デアリマス、私ハ斯ノ如キ事ハ斷ジテ無イコトヲ拔ニ誓言致シマス、愛知縣ニ於テ御話ノ如ク、今中學二校、增設案ガ縣會ニ出タト云フ事ハ事實デアリマス、又此事ハ文部大臣トシテ豫メ知事ヨリ協議ヲ受ケテ居ルノデアリマス、サリナガラ是ガ爲ニ黨員ヲ釣ルトカ、若クハサウ云フ事實ハ毫頭無イノデアリマス、愛知縣ニ於キマシテハ御承知ノ通リ、是ハ第一流ノ縣デハアリマスガ、教育上ノ見地カラ申シマスト、第一流デハナイノデアリマス、長野縣等ニ比シマスレバ、數等下ッテ居ルノデアリマスカラ、愛知縣ニ於テハマダ中等學校ヲ數校增設スル必要ガアルノデアリマス、ソレカラシテ只今最モ必要ナル所ハ三河デアリマシテ、東三河若クハ西三河ニ增設ノ必要ガアルノデアリマス、故ニ位置ハ確定シテハ居リマセヌガ、多分知事ノ豫定トシテハ西三河若クハ東三河ニ置クコト、存ジテ居リマス、其位置ハ大口君ガ出テ居ラレマス豐橋市モ其指定地ニナッテ居リマス、憲政會ハ豐橋市ニ學校ヲ置イテ、大口君ヲ憲政會ニ引張ラウト云フ考ハ無論ナイ、又御入リニナラヌダラウト思ッテ居リマス、決シテ黨勢擴張ノ意味ニハ使ッテ居ラヌノデアリマス、又先刻丹下君ハ、私ガ貴族院議員選擧ノ際ニ於テ、干涉致シタト云フ御話ガアリマシタガ、私ハ今回ノ貴族院議員選擧ニハ、少シモ關係ハナカッタノデアリマス、其當時選擧ノ日ニ、文部大臣ガ學校視察ノ爲ニ愛知縣ニ參ラレマシタカラ、私モ參リマシタ、選擧以前ニ於テハ毛頭モ今回ノ選擧ニハ關係致シテ居リマセヌ、又關係致シテモ差支ハアリマセヌガ、事實上關係致シテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ最後ニ文部大臣トシテ答フベキ事デハアリマセヌガ、內藤傳祿トカ云フ人ヲ、鈴置ガ隱蔽シタト云フコトデアリマスガ、其事ガ當時名古屋ノ憲政會ノ新聞ニ出テ居ッタト云フコトデアリマス、私ハ事實ハ少シモ知ラナイノデアリマス、又政府ノ答辯ハ不深切ダト仰シヤリマスガ、知ラザル事ハ知ラザルト答ヘル、其以上ニ深切ナ答ハナイト思ヒマス、丹下君ガ御述ニナリマシタ如キヤウナ事實ハ毛頭ナイト云フコトヲ申上ゲレバ、此以上深切ナ答辯ハナイト思ヒマス

（發言スル者多シ）

○議長（粕谷義三君）　靜粛ニ願ヒマス

〔政府委員古屋慶隆君登壇〕

○政府委員（古屋慶隆君）　丹下君ノ只今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、丹下君ノ御演說中、古屋參與官ノ命ニ依リ云々ト云フコトデアリマシタガ、私ハサウ云フ命令ヲシタコトハナイノデアリマス、サウ言ッテ來タト云フコトハ私ノ關係シテ居ル所デハナイ、ソレハ一向知リマセヌ、ソレデアリマスカラ、從來ノ內閣ニ於テハ、ドウ云フ事ヲヤッタカ私ハ能ク存ジマセヌガ、現內閣ニ於テハ鐵道問題等ヲ黨勢擴張ノ具ニ供シタコトハ斷ジテアリマセヌ、此點ハ御安心ヲ願ヒマス

○議長（粕谷義三君）　議事ノ進行ニ關シテ御發言ヲ求メラレマシタ――武富濟君

〔武富濟君登壇〕

○武富濟君　議事ノ進行ニ關シテ一言致シマス、丹下君ノ御演述ハ、縷々數千万言ヲ費サレタノデアリマスガ、悉ク自己ノ獨斷ニ基イテ居ル論結デアリマシテ、何等具體的ノ證據ヲ示サレテ居ラヌノデアリマス、斯ル荒唐無稽ナル言辭ヲ弄スルト云フコトハ、徒ニ議場ノ紛亂ヲ生ゼシメマシテ、議事ノ圓滑ナル進行ヲ期スル譯ニ參ラヌノデアリマス、抑モ丹下君ノ議論ノ中デ、吾輩ニ關係ヲ致シテ居リマスル點ガ一二アルノデアリマス（「武富君ト云フコトハ一言モ言ッテ居ナイ」ト呼フ者アリ、其他發言スル者多シ）御聽キナサイ

○議長（粕谷義三君）　靜粛ニ願ヒマス

○武富濟君（續）　昨年町立某女學校ヲ縣立ニ移管スルト云フコトニ付テ、政友本黨ノ一人ノ縣會議員ヲ奪ヒ去ッタト云フ言ガアリマシタガ、是ハ毛ヲ吹イテ疵ヲ求ムルノ御論デアリマシテ、是ハ縣會ニ提案セラレマシタ二校ノ問題ガアリマシテ、一ハ常滑ノ學校ヲ縣ニ移管シ、一ハ刈谷町ノ女學校ヲ縣ニ移管スルト云フ案デアリマシタガ、本黨ノ縣會議員ノ人ヒトハ頗ル不公平ニモ、常滑ノ一校ハ縣移管ニ贊成致シマシテ、故ナク刈谷ノ女學校ヲ否決セシメタノデアリマス、是ヨリ先キ本黨ノ某有力者ハ、刈谷町ノ女學校ヲ縣ニ移管シテヤルカラ、政友會ヨリ縣會議員ニ打ッテ出ロト云フ甘言ヲ以テ、或ル縣會議員ノ候補者ヲ擁立致シタノデアリマス……

○議長（粕谷義三君）　武富君ニ……

（發言スル者多ク聽取スル能ハス）

○武富濟君（續）　議事ノ進行ニ關係ガアルト思ヒマス、政友本黨ノ人ヒトガ斯ル横暴ナルコトヲ取計ヒマシタノデ、之ヲ是正スル意味ニ於テ縣知事ガ正シキ途ヲ執ッタノデアリマス（「愛知縣會デハアリマセヌヨ」ト呼フ者アリ）決シテ憲政會ノ人ヒトガ、或ル縣會議員ヲ奪取センナド取計ッタモノデハアリマセヌ（發言スル者多シ）次ニ又某代議士ガ內務大臣ノ使者ナリト稱シテ、縣知事ニ對シテ中學校問題ヲ提案スルカ、辭職ヲスルカ、首ヲ馘ルカト云フ劇的場面ヲ引出シタト申サレマシタガ、ソレハ明ニ此武富ニ論及サレテ居ルノデアル、吾輩ハ微力ニシテ左樣ナル大芝居ヲ打ツノ技倆ハ持ッテ居ラヌノデアリマス

○議長（粕谷義三君）　武富君……

○武富濟君（續）　斯ノ如キ荒唐無稽ナル言ヲ濫ニ弄スルト云フコトハ、議事ノ妨害ニモナルコト、思ヒマスカラ、將來ハ本黨ノ諸君中、殊ニ丹下君ノ如キハ御發言ヲ十分ニ注意アランコトヲ希望致シマス

○議長（粕谷義三君）　是ヨリ日程ニ入リマス

○井本常作君　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ日程第四十、政府提出、農業倉庫業法中改正法律案、日程第四十一、政府提出、府縣制中改正法律案、日程第四十二、政府提出、市制中改正法律案、日程第四十三、政府提出、町村制中改正法律案、日程第四十四、政府提出、北海道會法中改正法律案、日程第四十五、政府提出、北海道地方費法中改正法律案、日程第四十六、政府提出、水利組合法中改正法律案、日程

第四十七、政府提出、徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案、日程第四十八、政府提出、日本勸業銀行法中改正法律案、日程第四十九、政府提出、農工銀行法中改正法律案、日程第五十、政府提出北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ各案ヲ、逐次繰上ゲ上程シ、委員長ノ報告ヲ求メ、一讀會ノ續ヲ開キ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　井本君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第四十、農業倉庫業法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――由谷義治君

第四十　農業倉庫業法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一農業倉庫業法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十二日

農業倉庫業法中改正法律案委員長　由谷　義治

衆議院議長粕谷義三殿

〔由谷義治君登壇〕

○由谷義治君　政府提出、農業倉庫業法中改正法律案ノ委員會ハ、先ヅ主務大臣ノ改正案ニ對スル說明ヲ求メマシテ、然ル後ニ極メテ熱心ナル、且ツ實際ニ適合セル質問ト同時ニ、熱心ニシテ且ツ要領ヲ得タル答辯トガアッタノデアリマス、此質問應答ノ御紹介ヲ申上ゲルコトハ、特ニ議事ノ進行ヲ尊重スル意味カラ省略致シマシテ、是ハ特別委員會ノ速記ニ讓ルコトヲ御許シヲ願ヒタイト思フノデアリマス、採決ノ結果ハ全會一致ヲ以テ原案、卽チ政府提出ノ通リ可決確定致シマシタ、是ガ委員會ノ經過及結果ノ報告デアリマス、滿場ノ御贊成ヲ願ヒマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　本案ニ對シテハ、討論ノ發議ノ通告ガアリマセヌカラ、直ニ採決ヲ致シマス

〔「質疑ノ通告ガアリマス」「通告シテアリマス」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　ソレデハ只今ノ宣告ハ取消シマス、質疑ヲ許シマス――高橋熊次郎君

○高橋熊次郎君　質疑ヲ始メマス前ニ、主務大臣ノ出席ヲ求メタイノデアリマス、誰モ的ノ無イ所ヘ質問ハ出來マセヌ――主務大臣ノ出席ハ暫時保留ヲシテ置キタイト思ヒマスガ……

〔「贊成」「採決々々」ト呼フ者アリ〕

〔高橋熊次郎君登壇〕

〔「後廻シニシロ」「議長、後廻シニシタラドウデス」「政府委員ノ出席ガナケレバ休憩ヲ求メマス」「休憩々々」「後廻シ」ト呼フ者アリ、議場騷然〕

○議長（粕谷義三君）　靜粛ニ願ヒマス

〔「政府委員ノ出席ガナケレバ休憩ヲ求メマス」ト呼フ者アリ議場騷然〕

○議長（粕谷義三君）　高橋君ノ（發言スル者多シ）靜粛ニ願ヒマス、高橋君ノ質疑ハドウシテモ第一讀會ニ於テ爲サナケレバナラヌ質疑ダサウデアリマス、然ルニ政府ノ都合ハ今出席ノ程ガ分リマセヌカラ暫時休憩ヲ致シマス

午後二時三十五分休憩

午後三時二十三分開議

○議長（粕谷義三君）　休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス――高橋熊次郎君

〔高橋熊次郎君登壇〕

○高橋熊次郎君　私ガ先程此壇上ニ登ッタノデアリマスガ、不幸ニシテ農林大臣ノ出席モ見ズ、又其他ノ政務官モ御顏出シガナカッタノデアリマス、已ムナク議長ニ於テハ休憩ヲ宣セラレタノデアリマス、然ルニ僅カ休憩ノ後ニ總理大臣ヲ始メ歷々ノ方々ガ御顏揃ヲ得タト云フコトハ、議會ノ大ナル收穫トシテ私ハ喜ブ者デアリマス（拍手）併ナガラ私ハ斯ノ如ク致シテ議事ノ進行ヲ妨ゲルト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス（拍手）世間ニハ野黨ガ故意ニ議事妨害ヲスルナドト宣傳スル者モアルノデアリマスケレドモ、斯ル光景ヲ目ノ當リ見マスト云フト、國民ハ必ズ是ハ野黨ノ責ニ非ズシテ、政府並ニ與黨ノ罪デハナイカト斯樣ニ考ヘルニ至ルデハナカラウカト思フノデアリマス（拍手）本日ハ重要ナル農政上ノ法案ガ議ニ上ッテ居ルノデアル、然ルニモ拘ラズ、其關係ノ農林省ノ大臣ヲ始メ、其係リノ人、政務官ト云フモノハ、悉ク議場ニ顏ヲ出シテ居ナイト云フコトハ、吾々ハ是デ圓滿ニ議事ノ進行ガ出來ルト、斯樣ニ思ハレルノデアルカヲ疑フモノデアル、（拍手）私ハ議會ノ審議ノ上ニ、主務省關係ノ人々ノ御顏出シノナイナドト云フコトハ、從來餘リ例ヲ見ザルコトダラウト思フノデアリマス（拍手）吾々ハ之ニ對シテ如何ニシテ議事ノ進行ヲ圖ルコトガ出來ルカヲ怪ムモノデアル、從來トテモ、吾々ニ愼重ニ審議ヲ爲サシムル所ノ機會ヲ與ヘナイト云フコトガ議事進行ヲ妨ゲタ眞因デアル、其動機ハ如何デアッタカト云フト、本日ノ如キ政府當局ノ罪ニ出デタルモノモアリ、或ハ與黨ガ多數ヲ擁シテ吾々ノ審議ノ機會ヲ失ハシムルガ爲ニ、憤懣トナッテ議事ノ進行ガ妨害サル、ヤウナ形式ノヤウニ見エルコトモアッタト云フコトニ過ギナイノデアル、左樣ナ事デアリマスガ故ニ、是ハ矢張議事ノ進行ヲ妨ゲタノハ、政府並ニ與黨ナルコトハ明白デアルカラ、議事妨害ノ責ハ之ヲ其人ニ返上スルノデアリマス（拍手）デ若シ今日ノ場合ヲ以テ論ズルナラバ……

○議長（粕谷義三君）　高橋君、質疑ヲ御進メヲ願ヒマス

○高橋熊次郎君（續）　質疑ヲ進メル前ニ政府ノ責任ヲ私ハ問ハナケレバナラヌ、洵ニ斯ノ如クシテ此事ヲ論ズルノハ、徒ニ政府並ニ與黨ニ對シテ惡聲ヲ放ツモノデハナイ、併ナガラ私ハ農政上ニ於テ政府並ニ與黨ハ、其誠意ガ無イデヤナイカト云フコトヲ疑フガ故ニ、此言辭ヲ費スノデアル、敢テ駄辯ヲ弄シテ居ル者デヤナイノデアリマスカラシテ、議長モ此點ヲ諒セラレンコトヲ望ム次第デアリマス、ソレデ私ハ第一ニ斯ル農政上ノ重要法案ガ議ニ上ルニモ拘ラズ、之ニ關係アル所ノ政府ノ人々ガ此處ニ出席ヲ致サナイト云フコトハ、議事ヲ進行セシムルニ付テ撮善ノ方法デアルカ否ヤト云フコトヲ、此機會ニ於テ豫メ若槻總理大臣ニ質問ヲ致ス次第デアリマス（拍手）而シテ愈、本問題ニ關スル質疑ニ移リタイト、斯樣ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、農林大臣ハ曩ニ本員ノ質問ニ對シテ、農會ナルモノハ無力デアルト云フコトヲ御認メニナッタヤウデアル、故ニ農業倉庫ノ主體トシテ之ヲ認メナイノデアル、左樣デアルカラ幾多ノ農會法上ニ於テ缺陷ガアリ、是ガ爲ニ農會ト云フモノハ微力デアッタト言ヒナガラ、農業倉庫ニ關係ヲ持タシメヌノデアルカラ、農業倉庫ニハ何等累ヲ及ボサナイト、斯ノ如クニ大膽ニ斷言ヲサレタノデアル、私共ハ斯ル言辭ガ果シテ農村振興ノ爲ニナルカ、農村ノ行詰リタル現狀ヲ之ニ依ッテ匡救シ得ルカ否カト云フコトニ付テ、多大ノ疑問ヲ挾マザルヲ得ナイノデアリマス、左樣デアリマスガ故ニ、農林大臣ハ將來農會ト云フモノヲ、ヨリ以上ニ力强クセシムルト云フコトニ付テ、御考ハナイノデアルカト云フコトヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、殊ニ郡制ガ廢止サレ、今ヤ郡役所モ廢止サレントスル運命ニ立至テ居ル、又本案ニ次イデ上程サレル所ノ府縣制ノ改正其他ニ於テ、郡ノ區域サヘモ之ヲ認メナイト云フヤウナ、政府ノ意思ノヤウニモ承ッテ居ルノデアル、我黨ハ之ニ對シテ反對ヲ致シテ居リマスルケレドモ、斯ノ如キ事ヲヤッタ其後ニ於テ、郡農會ト云フモノハドウ云フ運命ニ立至ルカ、今ヤ地方ノ產業上ニ於テハ政府ノ役人――地方官ト云フヤウナモノハドウ云フ狀態ニナッテ居ルカ、殊ニ農政上ニ關係アル所ノ地方官ト云フモ

ノハ、ドウ云フ有樣デアルカト云フコトヲ私ハ一言シテ見タイト思フ、今日地方ニ於テ是等ノ官吏ト云フモノハ、唯、地方ニ行ッテ學問ヲ致シテ居ルヤウナモノデアル、卽チ一年カ二年ノ間地方ニ居ッテ、產業課長トカ農務課長ト云フヤウナ椅子ニ坐ッテ居ッテモ、何等分リハシナイ、地方ノ事情ナドニハ通ジテ居ラナイ、農業ノ農ノ字モ知ラナイト云ッテモ差支ナイヤウナ人ミガ單ニ御稽古的事務ヲ執ルガ爲ニ唯、事務ノ澁滯ヲ來シテ地方民ヲ困ラシテ居ル、漸ク二年ナリ三年ナリノ間ニ事務ヲ妨ゲナイト云フ程度ニナッタ頃、サウスルトヤレ榮轉ダトカ何ダトカ云ッテ、他縣ニ走ッテ行クダケニアラズシテ、今迄農政上ノ事ヲヤッテ居ッタ者ガ一躍警察部長ニナッテ行クト云フコトヲヤッテ居ルノデアリマス、左樣ナ次第デアリマスカラ、地方ト云フモノハ全然官吏ノ養成所見タヤウナ有樣ニナッテ居ル、是ガ爲ニ地方ノ政務ノ澁滯ヲ來シ、地方民或ハ農民ノ迷惑スル所吾々ノ測リ知ル可ラザルモノガアルノデアリマス、元來一部ノ人ミ、殊ニ政府當局ナドハ、法律サヘ設ケレバ、法律サヘ學ベバ、是デ以テ農村ノ振興ガ出來ル、產業ノ勃發ガ出來ルト云フヤウニ思ッテ居ルノハ間違ッテ居ル、行政法ヤ民法ヤ、商法、刑法、訴訟法ナドヲ一寸繙イテ居ッテモ、是デ以テ米ガドウシテ會殖ガ出來ルカ、蠶ガドウシテ出來ルカト申シタイ、大體サウ云フヤウナ頭デ臨ムカラシテ、自然百姓ハ馬鹿ダナドト云フコトヲ言ッテモ、諸君ハ不思義トシナイト云フヤウナコトニナルノデアル、斯ウ云フヤウナ事デアリマスカラシテ、私ハ斯ル重要ナル法案ノ審議ニモ大臣ガ顏ヲ出サナイ、其他ノ政務官モ顏ヲ御出シニナラナイト云フコトニ相成ルノデハナイカト、斯樣ニ考ヘテ居ル（拍手）ソレデハ私ハセメテモ、官吏ノ中ニ於テモ農村ニ直接ノ關係ヲ致シテ居ル、而シテ農村ノ事情ヲヨリ能ク之ヲ理解シ得ルモノハ、私ハ從來ノ郡長ナリト斯樣ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、郡長益ニ郡ノ制度ニハ幾多ノ弊害ハアルダラウ、併ナガラセメテモ地方ノ其農村ニ於テハ、所謂之ヲ歡迎シタト云フノハ卽チ農村ニ親ンデ居ル、長年ノ間同ジ場所、或ハ地方ト云フモノニ固定サレテ居ルト云フコトガ、郡長ノ特徵デアッタト思フノデアル、是ガ今此特徵ハ失ハレヤウトシテ居ルノデアル、左樣ニナリマシタナラバ、其他ノ方面ハ兎モ角ト致シマシテ、私ハ此農村ノ方面ニ於テ、之ニ代ルベキモノハ郡農會ヲ措イテ他ニ無カラウト思フ、卽チ此町村ガ小サナ團體ニ於テヤリ得ナイ施設ト云フモノヲ、多數ノ力デ以テヤル、比較的大ナル區域デヤルト云フモノハ、マダ縣ノミニ於テハ到底之ヲ行ヒ得ナイノデアル、我國ハ諸外國ト異ッテ、諸君御承知ノ通リ地勢上ノ關係カラシテ、風土人情ト云フモノハ非常ニ違ッテ參ル、左樣デアリマスカラシテ、農業上ノ施設ニ於キマシテハ、殊ニ非常ナル廣汎ナル區域ニ於テ、同一ナル施政方針ヲ執ルト云フコトハムヅカシイノデアリマス、左樣ニ申シマシテモ、又町村ト云フヤウナ狹イ區域ノミデハ徹底致サナイノデアル、中間ノ區域タル郡ト云フモノガ茲ニ存シテ居ルト云フコトハ、農事ノ施設上ニ於テハ非常ニ從來ハ結構ナ事デアッタノデアル、今ヤ是ガ無クナル、隨テ郡役所ニ代ルモノハ郡農會デナケレバナラヌ、吾吾ハ斯樣ニ感ジテ居ルノデアル、左樣デアリマスカラ、郡農會ト云フモノハ力ガ强イカ弱イカト云フコトハ、將來ノ農事上ノ施設ニ於テ非常ナル關係ガアルト私ハ考ヘテ居ル、然ルニモ拘ラズ、私ハ過日ノ質問ニ對スル御答辯ノ趣旨ニ依リマスト、郡農會ト云フモノハ存スルニハ存スルガ、併ナガラ何等是ハ當テニナルモノデハナイカラ、此農業倉庫ノ經營者トシテハ新ニ之ヲ認メナイノデアルカラシテ、高橋ノ云フヤウナ心配ハ無用デアルト云フヤウナコトヲ申サレタヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデアル、併ナガラ私ガ以上申上ゲルガ如ク、殊ニ農業倉庫ヲ中心トシテ農村ノ改善ヲヤルト云フヤウナ御志望モアル、併ナガラ地方ノ農村ノ仕事ト云フモノハ、將來農會ヲ中心トシテヤラネバナラヌト云フコトニ相成ッテ居ルト云フコトハ、私ノ申上ゲタ通リデアル、此農業倉庫ヲ完全ニ發達セシメル上ニ於テモ、而シテ其機能ヲ十分徹底セシメル上ニ於テモ、農會ト相俟タナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ事デアルノデアル、然ルニ此農會ト云フモノハ、現今ニ於テハ非常ニ微力デアル、是ハ一ニ農會自體ノ――農會ノ本能ガ斯ノ如キモノデアルト云フ譯デハアリマセヌノデ、是ハ要スルニ農會法ノ缺點デアルト思フ、左樣デアリマスガ故ニ私ハ農會法ノ改正ヲ、此機會ニ於テ行フベキモノナリト私共ハ確信ヲシテ居ッタノデアリマス、然ルニ農林大臣ハ是等ニ付テ毫モ本員ノ質問等ニ付テハ御答ガナカッタノデアル、却テ私ヲシテ益、不安ノ感ニ陷ラシムルガ如キ御答辯ノアッタコトヲ憾ム次第デアリマスカラシテ、此際ニ徹底的ノ御答辯ヲ願ッタイモノデアリマスガ、一々抽象的ニ事ヲ申上ゲテモ、或ハ御判斷ニ苦シマレルト云フヤウナコトヲ虞レテ居リマスカラシテ、モウ少シ具體的ニ申上ゲテ見タイ、斯樣ニ考ヘテ居ルノデアリマス、卽チ只今ニ於テ、何レノ團體ニ於キマシテモ經費ト云フモノハ、第一ノ存立要件デアル、活動ノ原動力ト云フモノハ經費ニ在ルノダト思フ、而シテ此農會ニ於テハ、市町村農會ノ如キ下級農會ニ於キマシテハ、强制徵收ノ方法モアリマスニモ拘ラズ、上級農會ト稱ヘラレル所ノ郡農會、或ハ府縣農會ニ於テハ、毫モ此强制徵收ノ方法ト云フモノハ認メテ居ラナイノデアル、ソレデアリマスガ故ニ、茲ニ下級農會ニシテ郡農會、或ハ縣農會ノ施設ニ快クナイト云フヤウナ場合ニハ、彼等ハ是ガ經費ヲ不納ニ致スノデアリマス、之ヲ納メナイ、左樣ナ場合ニ於テハ之ヲ一々民事上ノ手續ニ依ッテ事ヲ起ストト云フヤウナ途ハアリマスケレドモ、到底斯ウ云フコトハ煩ニ堪ヘナイ、然ルニ一方ニ於テハ强制徵收ノ途ガ無イノデアル、又强制徵收ノ途ガ無イバカリデナク、是等ノ團體ハ財產ト云フモノヽ持合セハナイノデアル、郡農會ナリ、縣農會ナリニハ財產ト云フモノハナイ、將來是等ノモノヲ無財產ニシテ置クト云フノデアルカ、或ハ是等ニモ財產ヲ所有セシムル途ヲ講ゼラルヽト云フヤウナ御意見デアルカト云フコトヽ、强制徵收ヲ下級農會ト同ジク、上級ノ農會ニモ之ヲ附與スルト云フ御見込デアルヤ否ヤヲ第一ニ伺ヒタイノデアル、ソレカラ今日ノ如ク次第ニ政黨政派ノ爭ガ强クナル、是ガ矢張町村ニモ及ブノデアリマス、サウ致シマスト役員ノ選擧等ニ於キマシテ、一部ノ役員ハ甲派ニ依ッテ占領サレルト云フヤウナ場合ニ於テハ、乙ノ黨派ノ者ハ犬糞的ノ聲討ヲヤラウト云フノデ、農會ノ否認ヲヤッタリナドシテ、之ヲ解散致スト云フヤウナ場合モアルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲルト云フト、一部ノ御方ニ氣ニ入ラナイヤウデアリマスケレドモ、サウ云フコトガ實際アルノデアリマス、氣ニ入ラナイ方ナドガ矢張尻押ヲサレテヤッタノデアラウト思フガ、斯ウ云フコトガ實際アルノデアル、左樣デアリマスカラシテ、此人人、斯ウ云フヤウナ農會ガアッタ場合ニハ、三分ノ二以上ノ同意ヲ得レバ――會員三分ノ二以上ノ同意ヲ經レバ、解散ハ出來ルノデアル、解散ノ決議ヲ致スト云フコトニナル、解散ノ決議ヲ致シ上級ノ官廳ノ許可ガアレバ是ガ解散ニナルノデアリマス、然ルニ上級官廳ニ於テハ斯ノ如ク一部ニ解散ヲ認ムルト云フコトハ、農會自體ノ結束力ヲ破ル基ニナルカラ、之ヲ許可シナイ、斯ウ云フ場合ニハ、下級農會ハドウスルカト云フト、所謂「サボタージュ」ヲヤルノデアリマス、上級農會ノ役員ヲ選擧シテ、後ニ解散ヲ決議シタノデアルカラ、今度ハ會費ヲ納メナイ、又役員ノ選擧――改選ノ期日ガ來テモ役員ヲ選擧シナイト云フヤウナコトニナルノデアリマス、役員ガナク、會費ヲ納メナイト云フコトニナレバ、解散ヲ致サナクトモ、其農會ト云フモノハ解散シタト同ジ狀態ニ在ルノデアリマス、左樣デアリマスカラ、是ハ事實ニ於テ解散ト同ジヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアル、町村ニ於キシタナラバ、是ハ專務管掌ノ方法ガアリマシテ、政府ノ役人ガ參リマシテ

地方ノ吏員ガソレヘ參リマシテ、而シテ町村長ノ事務ヲ執ルト云フ途モアリマスケレドモ、農會法ニハ之ヲ認メテ居ナイノデアリマスカラ、上級農會モ監督官廳モ何等手ヲ下スコトハ出來ヌノデアリマス、左樣デアリマスカラシテ、將來斯ル不合理ヲ矯正スル爲ニ、當局ニ於テハ事務管掌ト目スベキヤウナ方法ヲ農會法ニ將來認メラレルカ否ヤト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス、ソレカラ從來農會法ニ於キマスル上級農會議員ノ制度デアリマスガ、洵ニ是ハ不徹底ナ方法デアリマシテ、農會ノ議事ヲ進メル上ニ於テ非常ニ困ッテ居タ、ソレガ農會ノ機能ヲ發揮スル上ニ於テ大ナル支障ガアッタ、農會議員ガ一區域、一町村ニ一人制度ヲ取ッテ居ルノデアル、ソレデアルカラソレガ缺席スルト議事ガ洵ニ圓滿ニ進行シナイト云フノデ、其議員ガ出席シ能ハザル場合ニ、豫備議員ト云フモノヲ設ケテ居ル、豫備議員ノ制度ト云フヤウナモノハ、斯ンナ會議ニ餘リ例ヲ見ナイ事デアル、參事會——府縣ノ參事會等ニ於テハ豫備議員等——豫備議員デハナイ、豫メ補缺ノ際ニ備ヘテ置クト云フヤウナ方法モアルヤウデアリマスガ、是ハ全然缺ケタ場合デアルガソレデナクシテ出席不能ノ場合ニ豫備トシテ出ストト云フヤウナ方法デ、斯ンナ幼稚ナ方法ヲ相變ラズ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、斯ンナ幼稚ナ方法ヲ止メテ一區域カラ二人ヲ出スト云フヤウナ事ニシテ、一人制度ヲ止メテ二人制度ニスルト云フヤウニシテ、會議ノ圓滿ナル進行ヲ圖ルト云フヤウナ方法ハ、政府ハ考ヘテ居ラレナイカ、ドウカト云フコトヲ御伺シタイ、ソレカラ郡長ガ廢止ニナルト云フヤウナ事ニナルト、農會議員ノ構成ノ中ニハ、特別議員ト云フモノガアッタノデアリマス、是ハ郡農會ニ於テハ郡長、府縣農會ニ於テハ府縣知事ガ之ヲ推薦スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、郡長ガ將來無クナッタ曉ニ於テハ、是等ノ特別議員ト云フモノヲ存置スレバ、誰ガ之ヲ指名ヲスルト云フコトニナルカ、又特別議員ノ推薦ノ仕方ニモ、是ハ色ト弊害ガアル、將來之ヲ矯正致スト云フヤウナ御考ハナイカ、ドウカト云フヤウナ事ヲ伺ヒタイノデアリマス（「ソンナコトハ關係ガナイ」ト呼フ者アリ）私ハ是ハ餘リ抽象的ニ申上ゲルト云フト、誤解ヲ招クカラ之ヲ徹底的ニ具體的ニ申上ゲルト云フコトヲ申シタノデアリマス、左樣デアリマスカラ、是ハ農會ニハ大ナル關係ガアル、隨テ此倉庫ヲ——農業倉庫ヲ圓滿ニ發達セシメ、圓滿ニ其機能ヲ運行セシムル上ニ於テ、重大ナル關係ガアルノデアリマス、之ヲ關係ナシナドト云フコトハ、農村ノ人ト云ハレマスカラ、諸君ガ御注意ニナッテ然ルベシト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ第二ニ御問シタイノハ、斯ノ如キ農業倉庫ガ若シ完備シタト致シテモ、之ニ對スル金融機關ト云フモノガモウ少シ整備ヲシテ行カナケレバ駄目ダト云フコトハ此前モ論ジタ、併ナガラ政府ニハ之ニ對シ徹底シタル御考ハナイノデアル、デ私ハ此前ニ大藏大臣、或ハ大藏關係ノ方ト云フ之ヲ質問致シタノニ、御答辯モナカッタノデアリマス、御答辯ノナカッタト云フコトハ、確タル方案ガ無イカラデアル（「關係ハ無イカラダ」ト呼フ者アリ）大ニアル、例ヘバ今日養蠶家ヲ保護スル爲ニ、農業倉庫ヲ、繭ヲ取扱ハシメルト云フコトガ出來ル、ソレデアルカラ養蠶家ハ之ニ依テ救濟サレルト言ハレタ、併ナガラ倉庫ニ繭ヲ預ッテ呉レテモ唯、繭ヲ作ッテ喜ンデ居ルノデハナイ、繭ヲ作ッテソレヲ賣ッテ金ニシナケレバ農家ハ潤ハヌ、倉庫ニ入レテ證書ヲ貰タカラト云ウテ、農民ハ生キラレナイ、農民ハ暮セナイ、ソレデアルカラ繭ニ對シテ金融ノ途ヲ講ジテ貰ハナケレバナラヌ、是ガ即チ農民ノ要求デアル、只今マデハ殊ニ此繭ト云フヤウナモノハ、一時ニ出テ參ルノデアル、左樣デアルカラ製絲家ガ十分ニ之ヲ買取ラナイコトニ於テハ、吾々ハ繭ノ處置ニ困ル、又質ノ惡イ製絲家ナドハ此狀況ヲ見テ、忽チ數名ガ合同致シテ買止メト云フ方法ヲヤルノデアル、買止メノ方法ヲヤルト云フト、繭一粒モ買ハヌカラシテ、是ニ於テ私ハ農村ノ事情ヲ申上ゲルガ、農民ハ困ッテ拾貳ヲスルカラ、其時期ヲ待ッテ居ルソコデ此繭ヲ如何ニ處置スルカト云フコトニナルト、農業倉庫ヲ造ッテモ、金ヲ貸シテ呉レヌト云フコトニナレバ、舊ノ李阿彌デ農業倉庫ハ蜘蛛ノ巣ダラケニナッテシマフ、空寺ノヤウナモノデアルト云フコトデアル、左樣デアルカラ佛造ッテ魂ヲ入レヌト云フコトニ相成ルダラウト、私共ハ思ッテ居ル、ソレデアルカラ農林大臣ニ於テハ、將來農村ノ金融ヲドウスルカト云フヤウナコトニ對シテ、十分ナル御考ノアルベキ筈ダラウト思フ、御考ガ無カッタラ、總理大臣ニ補足シテ戴キタイト斯樣ニ考ヘテ居ル、總理大臣ハ財政ニ精通シテ居ラルヽガ、農村ノ經濟、農村ノ金融問題ハ天下ノ大問題デアル、ソンナ事ガ分ラズニ此政府ガ持テルカト云フコトヲ私申上ゲタイノデアル、（「熊」ト呼フ者アリ）熊ダノ虎ダノト毎度言ハレマスケレドモ、政府ハ斯ウ云フ問題ガ少シモ眼中ニ無イヤウデアル、畜産ト云フヤウナモノガ——序ニ申上ゲルノデアリマスケレドモ、此前ニモ申上ゲル通リ、畜産ト云フモノハ農業ノ根本デナケレバナラヌト申上ゲタ、然ルニ此畜産物ヲ取引スルニ非常ナル缺點ガ我國ニアルノデアル、ソレデ此儘ニ之ヲ放置シテ居ッタラ、畜産ハ全滅スル時期ニ達シハセヌカト云フコトヲ憂ヘテ居リマス、而シテ關稅ニ依ッテ產業ヲ保護シヤウト云フ時ニ、此畜產ヲ消費者ノ利害關係ト云フヤウナ意味ヲ以テ之ヲ棚ニ上ゲテシマッテ顧ミナイ、而シテ一方ニ於テ飼料問題モ顧ミナイ、又此農業倉庫ニ關聯シテ、取引ノ問題モ徹底的ニ解決ヲシナケレバナラヌ、然ルニ一向之ヲ解決サレルト云フヤウナ御意思デアルヤウニ吾々ハ認メルコトハ出來ナイノデアリマス、將來此畜產、殊ニ馬ノヤウナモノデモサウデアル、牛モサウデアル、豚モサウデアル、鷄モサウデアル、是等ノモノニ付テ何等徹底的ノ方策ハ政府ニ無イ、何等是等ニ對スル政策ガ確立シナイト云フコトハ、吾々農村ノ住民トシテ、農民トシテ看過スベカラザル事デアル（拍手）私ハ斯ノ如ク農業倉庫ニ依ッテ、是等ノ農村ニ於ケル取引關係ヲ圓滑ニスルト云フコトヲ謠ハレル今日ニ於テ、何故從來ノ問題ヲ此際ニ愼重ニ扱ハレナカッタカドウカト云フコトヲ此場合ニ伺ッテ見タイノデアリマス、諸君ハ畜產ナドト云フコトハ何ノ事カト云ッタヤウナ顏ヲナサルケレドモ、我國ニ於ケル畜產ノ狀態ナドハ、洵ニ吾々ハ悲ムベキ狀態ニナッテ居ルト思フノデアリマス、馬ニ致シマシテモ、或ハ牛ニ致シマシテモ其通リデアル

〔此時發言スル者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○高橋熊次郎君（續）　馬ナドト云フモノハ色ヽナ計畫ヲサレタト云フケレドモ、何等徹底シテ居ナイ、一定ノ方針ガ立ッテ居ナイデヤナイカ、或ハ乘馬ヲ勸メル、挽馬ヲ勸メル、重イ馬ヲ勸メタリ輕イ馬ヲ勸メタリ何カシテ譯ガ分ラヌ、日露戰爭ニ行ッテ露西亞ノ馬ガ洵ニ力强イ、二三頭デモ重砲ヲ引上ゲルト云フ事實ヲ見テ驚イテ、直ニ「クライデスデール」トカ「ペルシロン」ト云フ大キナ、高橋熊次郎ノ體格ヲ引延バシタヤウナ馬ナドヲ奬勵シタ、然ルニモ拘ラズ飼料ト云フモノガ充實シナイ、今日秋田縣ノ重挽馬ハドウナッテ居ルカ、是ハ要スルニ飼料問題ヲ解決シナイガ爲ニ、又斯ク奬勵シタル大キナ馬モ何等役ヲ爲サナイデハナイカ、サウ云フヤウナ事モアルノデアル、而シテ中間種ヲ奬勵スルト云ウテ、一方ニ「ハクニー」ノ奬勵ヲヤル、又一方ニ「アングロ、ノルマン」ノ奬勵ヲヤル、一向何等分ラナイデハナイカ、ソレデアルカラ斯ウ云フ畜產上ノ施設ト云フモノハ不完全デアルカラセメテ其取引關係ニ於テ圓滑ニスルト云フコトハ、是ハ重大ナル問題デアルト思フノデアリマス、一方ニ於テ數年前ニ於テ既ニ議會ヲ通過シタ中央市場ヲ設ケテ、セメテ農產物ノ卸賣市場ヲ完備シヤウトシタガ、マダ完備シタモノハナイ、サウ云フコトモ地方ニ農業倉庫ヲ完備スルト同時ニ、中央ニ於ケル卸賣市場ト云フモノハ速ニ之ヲ開設シナケレバナラヌト思フノデアリマ

ス、是等ニ對シテハ農林大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ此場合承リタイノデアリマス、色ミ承リタイ事ハ多々アルノデアリマスケレドモ、私ハ先ヅ此數項ニ止メテ置イテ、而シテ總理大臣並ニ農林大臣ノ十分ナル答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス、マダ場合ニ依ッテハ再ビ此壇上ヲ汚スト云フコトノ虞ガアリマスガ、ソレハ時間ノ節約上、議事ノ進行上私ハ悲ムベキコトナリトシテ、而シテ其議事ノ進行ヲ促進セシメル上ニ本員ノ滿足シ得ル、御懇切ナル、徹底シタル御答辯ヲ煩スコトヲ切望シテ此壇ヲ降ル者デアリマス

〔國務大臣早速整爾君登壇〕

○國務大臣（早速整爾君）　私丁度貴族院ノ會議ニ列シテ居リマシテ、私ノ方カラ提出シタ議案ノ說明等ニ對スル質問應答ニ當ッテ居リマシタガ爲ニ、此方ニ罷リ出ル暇ガナカッタノハ洵ニ遺憾デアリマス、故意ニ私ガ議事ノ進行ヲ避ケタノデハナイト云フコトダケハ御諒承ヲ願ッテ置キタイ、高橋君ノ御尋ニ對シテ御答致シマスガ、第一ノ御尋ハ、此農會ト農業倉庫トノ關係ニ付テデゴザイマス、先日此事ハ高橋君カラ御尋ニナッテ、私ハ御答ヲ致シタノデアリマスガ、私ノ言方ガ惡カッタ爲カ、或ハ誤解ヲ招イタカモ知レヌノデアリマス、高橋君ノ御尋ハ主トシテ農會ト農業倉庫トノ關係ガドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付テノ御尋デアッタカト思フ、私ハ御答ヲシテ從來ノ關係ハアル、農會、其他ノ公法人ヲシテ此農業倉庫ヲ經營セシメタト云フコトニハナッテ居リマスケレドモ、今回新ニ設ケルモノハ農會ヲシテハ新ニハ經營セシメナイ、從來ノモノハ其儘デアルケレドモ新規ニハ農會ニ之ヲ經營セシムルコトハ致サヌコトニシテアル、ソレデアルカラ農會ト農業倉庫トノ關係ヲ御心配ニナルケレドモ、將來ニ於テハ其御心配ハアリマセヌト云フコトヲ御答致シタノデアッタ、其理由ヲソレデハ申シマスケレドモ、元來農會ノ如キモノハ、此農業倉庫ノ經營主體トシテ適當デナイ農業倉庫ヲ經營セシムル其主體トシテハ、先ヅ產業組合ノ如キモノヲシテ之ヲ經營セシムルト云フノガ適當デアッテ、農會ノ性質上是ハ適當デナイ、事業ヲ經營セシムルト云フコトハ農會ノ性質ニ反スルト云フノガ第一ノ理由デアルノデアリマス、事業上或ハ損失ヲ招クト云フヤウナコトガアルカモ知レナイ、左樣ナ場合ニ於テハ、事業上損失ヲ招クト云フ場合ニ、其損失ニ對スル責任ハ農會ノ如キモノガ之ヲ負フ譯ニ行カナイ、サウ云フ性質ノモノデハナイノデアリマスカラ、從來ハ唯ミ例外的ニ、一時ノ經過的ニ之ヲ經營セシメタト云フコトニ止マッテ居ッテ、新規ニハ之ヲ經營主體タラシムルト云フコトハ、成ベク之ヲ避ケナケレバナラヌト云フ精神ノ下ニ、農會ヲシテ農業倉庫ヲ經營セシムルト云フコトハ、將來ニ於テハ之ヲ止メル積リデアル、斯樣ニ御答シタノデアッテ、理由ハ只今申スヤウナ點カラ參ッテ居ルノデアリマス、農會ノ無力デアルトカ無力デナイト云フコトハ、全ク別ノ問題デアルカラ、是ハ只今御尋デアリマシタガ、私ハ別ノ問題トシテ御答スルコトガ出來ルノデアリマス、如何ニモ此間中カラ御述ニナリマシタ如ク、農會ニハ無力ナモノガ多イ、之ヲ其儘ニスルト私ハ申シタノデハナイ、農業倉庫トノ關係ハ只今申シタ通リデアルケレドモ、農會ハ別ノモノトシテ考ヘタナラ、無力ノ農會ガ多ケレバ之ヲ有力ノモノニセシムルト云フコトハ、無論今日ノ急務デアル、農林當局ト致シマシテモ無力ナ農會ガ多イノヲ其儘放任シヤウト云フ風ノ考ハ無論持ッテ居ラヌノデアリマスカラ、成ベク之ヲ奬勵シテ、成ベク、之ヲ助長シテ、此農會ヲシテ有力ナルモノニシテ働カスヤウニシナケレバナラヌト云フコトハ、當局本來ノ素志デアル、ソレデアリマスカラ現ニ豫算ニ要求ヲシテアリマス此下級農會ノ補助、下級農會ノ技術員ノ施設ニ對スル補助ト云フモノハ、實ハ此農會ヲ力强クスル爲ニ政府ハ左樣ナル補助金マデ支出シテ、色ミナル奬勵ヲ加ヘテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、之ニ就テハ政府ハ相當ニ考ヘテ居ル、ソレデ郡農會ハ今度郡役所ガ廢止ニナルト云フコトニナレバ、餘程郡農會ノ立場ハ困ルデアラウト云フヤウナ御說デアルノデアリマスケレドモ、ソレハ郡長ガ居ナクナル、ソレガ爲ニ郡農會ハ是迄シ來タ仕事ヲ郡長ニ依賴シテ居タ部分ト云フモノハ、何處カヘ矢張依賴ヲシナケレバナラヌト云フコトニハナル、併ナガラ郡農會ガ郡農會トシテ矢張働キヲスル、農會ノ爲ニ力强キモノニナッテ働キヲスルト云フ點ニ於テ、少シモ變リナク之ヲ指導シテ行クコトハ出來ルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、唯ミ色ミ御述ニナリマシタ是マデノ法律上ニ缺點ガアル、斯ウ云フ風ニ改メナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ改正ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ風ニ御述ニナッタ點ニ付テ、當局者モ今日矢張考慮ヲ致シテ居ル、農會法ハ是ハ改正ヲ加ヘナケレバナラヌ、改正ヲ加フベキ點ガ澤山アルト云フコトハ認メテ居ルノデアリマスカラ、將來ニ於テ相當調査ノ上デ、此農會ニ對シテ相當ノ改正ヲ加ヘルト云フコトダケハ、私ハ此席ニ於テ申上ゲ得ルノデアリマス、ソレカラ次ニハ金融ニ付テ御尋デアッタノデアリマス、農業倉庫ノ金融ニ付キマシテハ、之ヲ產業組合ニ經營セシムルト云フコトガ、卽チ矢張金融ノ便ヲ圖ルト云フ所以ニナルノデアル、前日モ私申シマシタ如ク、農業倉庫ニハ今日マデニ內容ノ充實シナイモノガアッタ、是カラ大ニ內容ノ充實セシメナケレバナラヌ、內容ノ充實ト云フコトハ、卽チ農業倉庫ノ信用ヲ高メル所以デアリマスカラシテ、自ラ此間ニ金融ノ途ヲ開クコトガ出來ルト云フコトハ、私ハ當然デアラウト考ヘルノデアリマス、一般農村ノ金融ニ付テハ、屢ミ申述ベマシタ如ク、矢張此產業組合中央金庫ノ如キモノヲ利用シテ、金融ノ疏通ヲ圖ラナケレバナラヌ、一方ニ於テ勸業銀行モアレバ農工銀行モアルガ、相俟ッテ互ニ此金融疏通ノ途ヲ開カナケレバナラヌ、ソレト同時ニ、低利資金ノ供給ト云フコトニ付テ、政府ハ將來ニ向ッテハ、益ミ其供給ガ裕カニナルヤウニ努メタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラシテ、農村ノ金融ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、ソレ以上ノコトハ只今具體的ニ申上ゲルコトハ出來ナイケレドモ、私ガ只今申上ゲタヤウナ方法ニ依ッテ、相當ニ金融ノ途ヲ開クコトガ出來ルデアラウト信ジテ居ルノデアリマス、尙ホ續イテ畜產ノ事ニ付テ御述ニナッタノデアリマスガ、是ハ矢張私ガ申述ベマシタ如ク、政府モ相當ニ此畜產ノ事業ニ付テハ力ヲ致シテ居ルノデアリマス、一向畜產ノ事ハ顧ミナイト云フ風ニ御述ニナリマシタガ、左樣デハナイ、畜產事業ノ大切デアルト云フコトハ、當局ハ固ヨリ認メテ居ル、十分ニ畜產ノ事業ニハ力ヲ盡シタイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、此點ハ能ク御諒解願ヒタイノデアリマス、飼料ノ事ニ付テ御尋デアッタノデアリマスガ、此畜產ニ關スル飼料ノ如キモ、附隨ノ事業トシテ矢張是ハ農業倉庫ニ於テ之ヲ受託スルコトニナッテ居ル、附隨ノ事業トシテ受託スルト云フコトニ相成リマスレバ、畜產ノ飼料ノ如キモ、亦茲ニ非常ナル便宜ヲ得ルト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、追ミ此農業倉庫ノ改正ニ依ッテ、聯合農業倉庫ガ發達ヲスルト云フコトニ相成ッテ參リマスガ、此聯合農業倉庫ハ、御說ノ如ク中央市場ノ働キヲ爲シ、其モノト必ズ進步シテ行カナケレバナラヌ性質ノモノデアリマスカラ、是ガ中央市場的ノモノトナッテ、大ニ一般ニ對シテ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、此法律改正ノ結果、必ズ見ルベキ效果ガアルデアラウト信ジテ居ルノデアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、討論ノ通告モアリマセヌカラ、直ニ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○作間耕逸君　直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　仲間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

農業倉庫業法中改正法律案

第二讀會（確定議）

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決確定セラレマシタ――日程第四十一乃至第四十七ハ、同一委員ニ付託シタ議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四十一、府縣制中改正法律案、外六件ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス――委員長荒川五郎君

第四十一　府縣制中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一府縣制中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十二日

府縣制中改正法律案委員長　荒川　五郎

衆議院議長柏谷義三殿

〔別紙〕

（小字及――ハ委員會修正）

府縣制中改正法律案中左ノ通修正ス

第六條　府縣内ノ市町村公民ハ府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有ス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者（未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒（勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク）及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

市町村公民權停止中ノ者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選擧權ヲ有セス

選擧事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選擧權ヲ有セス

府縣ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ府縣ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府縣知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準ズヘキ者、清算人及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選擧權ヲ有セス

府縣ノ官吏及有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ府縣ヘ府縣會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

衆議院議員ハ府縣會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

當選者定マリタルトキハ選擧長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選擧錄及投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選擧錄及投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

同條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第五項中「第六條第九項」ヲ「前項」ニ改ム

第六條第七項ニ掲クル在職ノ官吏以外ノ官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

同條ニ左ノ二項ヲ加フ

府縣ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ府縣ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府縣知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者竝清算人ヲ謂フ

第三十二條　當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三箇月以内ニ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　當選ヲ辭シタルトキ

二　數選擧區ニ於テ選擧ニ當リタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選擧區ノ選擧ニ應シタル爲他ノ選擧區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ

三　第二十九條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四　死亡者ナルトキ

五　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ當選無效ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選擧又ハ補闕選擧ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

六　第三十四條ノ二ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無效ト無リタルトキ

前項ノ事由第三十一條第二項、第三項若ハ第六項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ於テ第二十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選擧會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者選擧ノ期日後ニ於テ被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ第三十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ期間ハ第三十四條第七項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選擧ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六箇月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選擧ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定員ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條第一項○中左ノ如ク改メ第二項中「被選擧權ヲ有セサル者」ノ下ニ「又ハ第三十一條第七項ニ掲クル者」ヲ、同條第三項中「通知ヲ受ケタルトキハ」ノ下ニ「七日以内ニ」ヲ、「被選擧權ヲ有セサル者」ノ下ニ「又ハ第三十一條第七項ニ掲クル者」ヲ加フ

○ヲ左ノ如ク改メ第二項

二　破産者ト爲リタルトキ

府縣會議員被選擧權ヲ有セサル者ナルトキ

同條同項ノ次ニ左ノ一項ヲ、第三項中又ハ第三十一條第七項ニ掲クル者ナルトキ「通知ヲ受ケタルトキハ」ノ下ニ「七日以内ニ」ヲ加フ

一　禁治産者又ハ準禁治産者ト爲リタルトキ

三　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲被選擧權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同府縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ但シ同府縣内ニ於テ住所ヲ移シタル後被選擧權ヲ失フヘキ其ノ他ノ事由ニ該當スルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條　府縣ニ府縣參事會ヲ置キ議長及名譽職參事會員十人ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十七條中「高等官參事會員」ヲ「其ノ代理者」ニ改ム

第二項ヲ削リ第三項中「過半數」

第七十三條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

ヲ名譽職參事會員ノ過半數」ニ改ム
議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲參事會員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス
第七十四條第一項中「府縣參事會員」ヲ「議長、其ノ代理者及名譽職參事會員」ニ改ム
希望
三部制府縣ノ參事會員ハ其ノ數ヲ十二名トスルコトニ勅令ニ於テ規定セラレムコトヲ望ム

第四十二　市制中改正法律案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書
一市制中改正法律案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月十二日
市制中改正法律案委員長　荒川　五郎
衆議院議長柏谷義三殿

（別紙）
（小字及――ハ委員會修正）
市制中改正法律案中左ノ通修正ス
第十八條　選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有ス
在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス
選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選舉權ヲ有セス
市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ハ其ノ市ノ市會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス
第三十二條第一項ヲ左ノ如ク改メ第三項中「數級又ハ」ヲ削リ同條第四項中「第十八條第二項ニ掲ケサル官吏」ヲ「官吏」ニ改ム
當選者定マリタルトキハ市長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ（第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告知セシメ）同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫（投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫）ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫（投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫）ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ
同條ニ左ノ二項ヲ加フ
市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス第二項又ハ第三項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ市長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス
前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ
第三十八條第一項中左ノ如ク改メ第二項中「被選舉權ヲ有セサル者」ノ下ニ「又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者」ヲ加フ
一　破產者ト爲リタルトキ
市會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者ニ該當スルヤ否ハ市會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外市會之ヲ決定ス
一　禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ
二　破產者ト爲リタルトキ
三　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
四　選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ
第七十三條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム
市長ハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス
市長ハ其ノ退職セムトスル日前三十日目迄ニ申立ツルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス但シ市會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス
第七十五條第二項中「選舉シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ」ヲ「選舉ス」ニ改メ同條第三項ヲ削リ第四項ヲ左ノ如ク改ム
第七十三條第三項ノ規定ハ助役ニ之ヲ準用ス但シ市會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス
第七十七條　市長市參與及助役ハ第十八條第二項又ハ第五項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ス又其ノ市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ其ノ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ス

希望
一　市長ニ對スル現行優遇ノ方法ハ自治行政ヲ重ムスル上ニ於テ未タ十分ナラスト認ムルヲ以テ政府ハ一層適切ナル優遇方法ヲ設ケラレムコトヲ望ム
二　市制第三十九條ノ二ノ勅令ヲ以テ指定スル市ハ人口凡五萬以上トセラレムコトヲ望ム

第四十三　町村制中改正法律案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書
一町村制中改正法律案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月十二日
町村制中改正法律案委員長　荒川　五郎
衆議院議長柏谷義三殿

（別紙）
（小字及――ハ委員會修正）
町村制中改正法律案中左ノ通修正ス
第十一條第二項中左ノ如ク改ム
第四項中「內務大臣」ヲ「府縣知事」ニ改ム
一　削除
二　人口五千未滿ノ町村　十二人
同條第四項中「內務大臣」ヲ「府縣知事」ニ改ム
第十五條　選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス
在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス
選舉事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選舉權ヲ有セス
町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人ハ其ノ町村ニ於テ被選舉權ヲ有セス
町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス
第二十九條第一項ヲ左ノ如ク、第三項中「第十五條第二項ニ掲ケサル官吏」ヲ「官吏」ニ改ム
當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫（投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫）ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫（投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫）ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ
同條ニ左ノ二項ヲ加フ
町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支

配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第三十五條第一項○中左ノ如ク改メ第二項中「被選舉權ヲ有セサル者」ノ下ニ「又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者」ヲ加フ

○ヲ左ノ如ク改メ

町村會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ

二　破産者ト爲リタルトキ

三　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四　選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

第四十五條中「年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム」ヲ「臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ」ニ改メ同條ニ左ノ二項ヲ加フ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

特別ノ事情アル町村ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラス町村條例ヲ以テ町村會ノ選舉ニ依ル議長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市制第四十八條及第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

第四十五條第三項ノ町村ニ於ケル町村會ノ會議ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラス市制第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

第四十五條第三項ノ町村ニ於ケル町村會ノ會議ニ付テハ市制第六十二條第三項ノ規定ヲ準用ス

第六十四條第一項中「又ハ助役ヲ定メ若ハ選舉シ」ヲ、同條第二項中「町村長又ハ」ヲ削リ同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

○有給町村長及有給助役ハ其ノ退職セムトスル日前三十日目迄ニ申立ツルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス但シ町村會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條　町村長及助役ハ第十五條第四項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ス又其ノ町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ其ノ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ス

希望

町村長ニ對スル現行優遇ノ方法ハ自治行政ヲ重ムスル上ニ於テ未タ十分ナラスト認ムルヲ以テ政府ハ一層適切ナル優遇方法ヲ設ケラレムコトヲ望ム

第四十四　北海道會法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一北海道會法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十二日

北海道會法中改正法律案委員長　荒川　五郎

衆議院議長柏谷義三殿

（小字及――ハ委員會修正）

北海道會法中改正法律案中左ノ通修正ス

第五條　在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

北海道廳長官若ハ北海道地方費ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ北海道地方費ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付北海道廳長官若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人ハ被選舉權ヲ有セス

北海道廳ノ官吏及北海道地方費ノ有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ北海道會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

衆議院議員ハ北海道會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第九條　北海道參事會ハ議長及名譽職參事會員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス

第十四條　府縣制第五條、第八條、第十三條乃至第二十二條、第二十三條ノ二乃至第四十條、第四十二條乃至第六十四條、第六十六條、第六十七條、第六十九條乃至第七十四條、第八十二條乃至第八十七條、第百二十七條乃至第百二十九條、第百三十一條、第百三十五條、第百三十六條、第百四十二條及第百四十四條ノ規定ハ之ヲ準用ス但シ其ノ三十一ノ第七條第七項中府縣ニ對シ請負ヲ爲シトアルハ十三條中第六十八條第二ト下アルハ本法北海道廳長官若ハ北海道地方費ニ對シ請負第十條第二號トス

ヲ爲シトス

第四十五　北海道地方費法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一北海道地方費法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十二日

北海道地方費法中改正法律案委員長　荒川　五郎

衆議院議長柏谷義三殿

第四十六　水利組合法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一水利組合法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十二日

水利組合法中改正法律案委員長　荒川　五郎

衆議院議長柏谷義三殿

第四十七　徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十二日

徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案委員長　荒川　五郎

衆議院議長柏谷義三殿

（荒川五郎君登壇）

○荒川五郎君　凡ソ自治體ハ國家ノ細胞デアリマシテ、細胞ノ一ツ〳〵ガ健全ニ發達シナケレバ國家ノ健全ナル進歩ハ望マレマセヌ、故ニ自治ノ改善、自治制度ノ改正ハ極メテ必要ノコトデ、殊ニ此度ノ改正案ハ郡役所廢止ノ斷行ニ關聯スル改正ノ外、重要ナル普通選舉法ノ實施ニ伴ヒマシテ、選舉權被選舉權ノ擴張、選舉運動方法ノ改善及地方自治權ノ擴張、自治機關ノ整備等、府縣制、市制、町村制及北海道會法ヲ通ジテ、全般ニ亙ツテ多クノ重要ナル改正ノ條項ヲ包含致シマシテ、實ニ自治制施行以來ノ大改正デアリマシテ、本議會ニ現レタ重要法案ノ一デアリマス、隨テ委員ノ數モ二

十七名ノ多キソレガ皆地方自治ニ種々ノ抱負ヤ、多クノ經驗ヲ有セラル、諸君デ、何レモ眞摯ニ熱心ニ審議攻究サレマシタ、政府ヨリハ若槻内閣總理大臣兼内務大臣ハ、特ニ屢〻出席シテ、自治ノ大綱、改正案ノ骨子等ニ付テ說明ガアリマシタ、又小橋一太君、大口喜六君、其他諸君ノ大體質問ニ對シテモ答辯ガアリマシタ、又多クノ質問ニ對シテハ俵次官、潮地方局長、田中書記官等專ラ應酬ニ努メラレ、回ヲ重ヌルコト八回、ソレ〳〵多數ノ修正意見ガ提出セラレ、討議ノ結果、報告書ノ通リニ決定致シマシタ、其種々質問應答セラレタ實際的又ハ理想的ノ所論ニハ、大ニ傾聽スベキモノガ少クアリマセヌガ、本日本議場ニ於テ、第二讀會討論ノ際ニ、各派答〻其主張論議ヲ交換セラル、筈デアリマスカラ、私ハ力メテ重複ヲ避ケ、簡約ニ唯、質疑討論ノ大體ニ關シテ、其經過ト且ツ御參考ニ供スルヲ必要ト認メマス點ノミヲ、成ベク簡單ニ報告致シテ、其詳細ハ委員會速記錄ニ付テ、地方自治ニ熱心ナル諸君ノ御一讀ヲ切望致シマス、先ヅ質問中ニ現レマシタ主要ナル其項目ヲ擧ゲマセバ、自治權ノ擴張、府縣ノ分合、府縣知事ノ公選論、府縣會ノ權限擴張、條例設定權、發案權、府縣參事會ノ組織變更、府縣ノ財政、均一賦課ニ關スル件、黨爭ノ弊ヲ避クル方案、選擧運動ノ取締、議員定數ノ增加、請負者ノ缺格問題、不在投票ノ事、原案執行存廢ノ件、參事會審議權ノ事等、是等ガ主トシテ府縣制ニ關スルモノデアリマス、ソレカラ市制町村制ニ關シテハ、町村ノ分合問題、市長町村長ノ公民直接選擧論、市町村長ノ裁可認可制存廢ノ事、郡ノ名存置ノ事、公民ノ年齡ヲ二十歲ニ低下スベシトノ意見、公民住所制限二箇年ヲ一箇年ニスベシトノ議、名簿一冊主義、名簿申告主義ノ事、財政監督ノ件、制限外賦課及起債ニ關スル事、交付金補助金ノ件、稅外收入ノ方針、市町村起業法制定ノ意見、市町村長優遇ノ問題、市長名譽職制ノ事等デアリマシタ、又北海道ニ關シテハ府縣制ト同樣ニ、北海道制ト云フヤウナモノヲ制定スベシトノ意見、町村ニ付テ勅令ニ依ル制度ヲ改メテ、法律ニ依ッテ自治制ヲ定ムベシト云フ意見等デアリマシタ、其他各法案、各條項ノ多クニ就テ種々質問應答ガアリマシタ、斯クシテ討論ニ入リ憲政會ヨリハ由谷義治君ガ代表シテ、市長ノ裁可並ニ町村長ノ認可制ヲ廢スル事、町村會議員ノ定數ヲ最少十二名ニ增加スル事、町村條例ヲ以テ町村會議長專任ヲ許スト云フ事、請負者被選擧權ヲ認メマシテ、但シ相兼ヌルコトヲ得セシメザル事、府縣制第三十二條中ノ前條ヲ第三十一條ト改ムル事、以上五箇ノ修正意見、並ニ議員候補者制度ヲ認ムル市ハ人口五万以上ノ市ヲ指定セラレタシト云フ希望ガ提出サレマシタ、政友會ヨリハ赤間嘉之吉君カラ府縣制ニ郡ノ名ヲ存スルコト、請負者被選擧權ヲ認メ相兼ヌルコトヲ得サル事、選擧長ハ府縣知事ノ指定スル官吏トアルヲ、町村長又ハ官吏ト改ムル事、府縣制ノ第三十二條中ノ前條ヲ第三十一條ト改ムルコト、意見書提出ヲ内務大臣ニ限ラズ主務大臣トスル事、北海道及府縣參事會員中カラ總テ官吏ヲ除キ、議員數ニ應ジテ參事會員ノ定數ヲ增ス事、市長町村長ヲ公民直接選擧トシテ裁可認可ノ制ヲ廢スル事、議員定數ヲ增加スル事、町村會議長副議長ヲ議員中ヨリ選擧スル事、卽チ總テ町村長ヲ議長トセズ、議長專任トスル事市參事會ノ定員ヲ增加スル事、議員候補者制度ノ法ヲ例外ナク各市ニ準用スル事、卽チ指定ノ市ト云フ制度ヲ改ムル事、出席停止ノ日數ノ事等ガ修正案トシテ出サレマシタ、次ニ政友本黨ヨリハ小橋一太君ガ代表シテ、北海道及府縣參事會ノ組織ヲ改メテ高等官ヲ削リ、長官ハ議長トシテ採決權ヲ有スル事、縣參事會員ノ定員七名ヲ十名トスル事、並ニ三部制府縣ハ十二名トスル事ニ勅令ヲ改メラレタシトノ希望案ヲ付シ、又請負者ノコトハ政友會憲政會ト同一ナル事、市長ノ裁可町村長ノ認可ノ手續ヲ削ル事、併セテ市町村長優遇ノ途ヲ講ゼラレタシトノ希望ヲ附シテ提出ニナリマシタ、最後ニ新正倶樂部ノ土屋清三郎君ハ憲政會、政友本黨ノ修正案ニ贊成スルノ外、婦人參政權ヲ認メテ、二十五歲以上ノ世帶主タル女子ニ公民權ヲ與フベシトノ意見ノ提出ガアリマシタ、尙ホ此外ニ憲政會ノ工藤鐵男君ヨリ、議員候補者制度指定ノ市ニ關スル希望再說ガアリマシタ、ソレヨリ各提出者ニ對シ種々ノ質問ガアリマシテ、愈〻採決ニ入リ、先ヅ四派共通ノモノ、卽チ請負者ノ被選權ノ事、並ニ府縣制第三十二條中ノ前條ヲ第三十一條ニ改ムルト云フ、此二案ハ滿場一致デ可決致シマシタ、次ニ市長ノ裁可町村長ノ認可制ヲ削ルノ件ハ憲政會、政友本黨共通ノ主張デアリマシテ、之ニ新正倶樂部ノ贊成ガアリマシテ、多數デ可決致シ、又町村會議員ノ數ヲ最少ヲ十二名トスル事、並ニ町村條例ニテ町村會議長ヲ選擧專任スルコトヲ許スベシトノ憲政會ノ主張ニハ、政友本黨並ニ新正倶樂部ノ贊成ガアリマシタ、又北海道及府縣參事會ノ組織變更、定員增加ニ關スル政友本黨ノ熱心ナル御主張ニハ憲政會、新正倶樂部之ニ贊成致シマシテ、以上三案ハ何レモ多數ニテ可決致シマシタ、是ニテ政友本黨並ニ憲政會提出ノ修正案ハ全部可決トナリマシタ、政友會提出ノ修正案中ニ於テ、以上採決ニ關セザル他ノ條項ハ、遺憾ナガラ少數ニテ否決トナリ、又婦人參政權ヲ認ムル修正案ハ、主張者タル土屋君一名ノ外他ニ一名ノ贊成者モナクシテ、動議トシテ成立スルニ至ラズ自然消滅致シマシタ、斯樣ニシテ各派提出ノ修正案ヲ決定致シマシタ後ニ、爾餘ノ政府原案ヲ各法案トモ一括シテ採決ニ付シマシテ、滿場一致之ヲ可決致シマシタ、仍テ府縣制、市制、町村制、北海道會法ノ四箇ノ改正法律案ハ修正可決トナリ、北海道地方費法、水利組合法ノ二改正法律案、並ニ徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案、此三案ハ全部原案ノ通リ可決トナリマシタ、而シテ條文ノ整理ハ總テ之ヲ委員長ニ一任スルト云フコトニ決シマシタ、是ニテ七法案全部ノ採決ヲ終リ、ソレヨリ政友本黨小橋君提出ノ市町村長ノ待遇ハ未ダ十分ナラザルヲ以テ、政府ハ是ガ優遇ノ方法ヲ講ゼラレタシト云フ熱心ナル御希望案ハ、滿場一致可決致シ、又同ジク政友本黨提出ノ三部制府縣參事會員ヲ十二名トスル事、並ニ憲政會提出ノ議員候補者制度準用ノ指定市ヲ、人口五万以上ノ市トスルト云フ希望案、此二ツハ何レモ多數ニテ可決致シマシタ、終リニ赤間嘉之吉君ヨリ政友會提出修正案中否決トナッタモノハ、少數意見ヲ本議場ニ報告スルノ申出ガアリマシテ之ヲ認メマシタ、以上ノ經過ヲ以テ委員會ハ無事ニ終了致シマシタ、茲ニ之ヲ御報告申スノ光榮ヲ有シマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　日程第四十一、府縣制中改正法律案外四案ニ對シマシテハ、ソレソレ修正意見ガアリマス、何レモ修正デアリマスカラ、第二讀會ニ於キマシテ其報告ヲ許スコトニ致シマス、此際質疑ヲ許シマス――板野友造君

〔板野友造君登壇〕

○板野友造君　本案ノ提出ノ御趣旨ニハ異存ハアリマセヌ、唯〻私此機會ニ於テ、政府ニ向ッテ地方自治體ノ監督、此事ニ付テドウ云フ見解ヲ懷カル、カヲ明ニ致シテ置キタイ、地方自治ノ刷新發達ヲ圖ル、是ニハ勿論異存ハアリマセヌガ、之ヲ圖ル爲ニハ公明嚴正ナル監督官其人ヲ得ルニアラズンバ、其所期ノ目的ハ達セラレナイ、如何ニ此府縣制、市町村制、其他ノ地方自治ニ關スル制度、法規、是等ヲ改正致シマシテモ其監督官廳、監督權ヲ行使スル者ニ人宜シキヲ得ルニアラズンバ、是等ノ制度法規ト云フモノハ、結局法律トシテ形骸ハ殘シマスケレドモ、所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ（拍手）是ガ度々本院ニ於テ地方自治刷新ニ關スルコトガ提唱サレタ所以デアリ、四十六議會ニ於テモ吾々ハ憲政會ノ諸君ト共ニ此地方自治ノ刷新、殊ニ其監督ヲ嚴正公明ニスル必要ノアルコトヲ絕叫シタ所以ハ此ニ基クノデアル（拍手）唯近時甚ダ此地方自治官憲、及ビ之ニ對スル監督官廳、此行動ニ付テ疑ヲ深カラシムルモノガ頻々トシテ起ルコトハ、洵ニ痛歎ノ至リニ

堪ヘマセヌ（拍手）私此際過日來ノ問題ニ相成ッテ居リマスル松島遊廓移轉問題、之ニ關シテ監督官廳タル内務官憲ガ其監督ノ下ニ在ル者、若クハ此松島遊廓移轉ニ關係ヲ持ツ利害ノ關係者、是等ノ者ト議會ニ於テ問題ト相成ッテ居リマスル此事實、之ヲ惹起シタコトニ付テ監督權ニ付テノ所見ヲ伺ヒタイ（拍手）此松島遊廓移轉ノ問題ハ、洵ニ此醜穢極マレルモノデ、之ヲ政界革新ノ上カラ申シマシテモ、又綱紀或ハ官紀肅正ノ上カラ申シマシテモ、洵ニ由々敷問題デアルコトハ申スマデモアリマセス（拍手）私ハ茲ニ松島問題ノ醜穢ナル事實ヲ說ク者デハアリマセヌ、又之ニ關係ヲ致シテ居ル政黨員、或ハ大小ノ官吏、是等ノ人ノ氏名ヲ讀上ゲ、若クハ關係ノ程度ヲ說ク者デハアリマセヌ、唯、此松島遊廓事件ニ件テノ監督官廳、内務官憲ノ行動ニ付キ私所見ヲ伺ヒタイ、是ダケノ事デアリマス（拍手）事實ハ極メテ簡單デアル、本月ノ二日ニ吾々ノ同志濱田國松君ガ此松島遊廓移轉問題ニ付テ、政務官及議員ノ行動ヲ調査スベシト云フ緊急動議ヲ提出致シタ、其際ニ内務政務次官俵孫一君ハ、此松島遊廓ノ移轉問題ト云フモノハ内務省トシテハ――現内務大臣トシテハ初メヨリ之ニハ手ヲ觸レナイ、非移轉ノ方針ヲ以テ進ミ來ッタモノデアル、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアル、早クカラ非移轉論ノ方針ヲ確定シテ進ミ來ッタモノデアル、斯樣ナ意味ノ答辯ヲサレテ居ルノデアリマス、ソコデ私共ハ甚ダ怪訝ニ堪ヘナイ事實ガアル、川崎警保局長、今ノ内務次官川崎卓吉君ハ警保局長タリシ時代ニ於テ、屢〻此問題ニ付テ――私今日ハ此問題ノ具體的事實ヲ說クノガ目的デハナイカラ名前ハ言ヒマセヌガ、某政黨ノ某幹部、或ハ某政黨員、其他此移轉ニ猛烈ナル運動ヲ致シテ居ル土地會社ノ重キ地位ヲ占メテ居ル者ト、相當會見ヲサレテ居ルノデアリマス、警保局長ガ遊廓移轉ニ極メテ深キ關係ノアルコトハ、只今繰說スルノ必要ハアリマセヌ、如何ナル所ノ遊廓移轉問題ニモ、最モ問題ノ中心トナルノハ警保局長ト其知事デアル、最モ深イ關係ノアルコトハ申ズ迄モナイ、此川崎君ガ――今日ノ内務次官川崎君ガ警保局長時代ニ於テ、相當此事ニ付テ會見ヲ致シテ居ルノガ、是ハ果シテ監督權ノ行使トシテ斯ノ如キ行動ヲ執ッタノデアルカ否ヤ、此點ガ承リタイ、ソレカラ昨年ハ片岡サンガ丁度内務政務次官デシタ片岡君ガ、内務政務次官トシテ此遊廓問題ノ矢張立役者タルベキ地位ニアラレタ時、相當片岡君モ是等ノ連中ト會見ヲナサッタデハナイカ、名前ハ是モ祕シマセウ、貴方ハ貴方ノ桃山ノ有名ナル御屋敷ニ於テ某黨ノ幹部――某黨ノ幹部、ソレカラ此問題ノ中心トナルベキ役人、其他ノ人ト會見ヲナサレ、此會見ニ於テ某黨ノ黨員等ヲシテ、是ハ此月ノ末ニハ此事ガ確定發表スルノ運ビニ至ルモノデアルトノ確信ヲ有セシメタデハアリマセヌカ、此會見ハ何ノ爲メノ會見デアルカ、内務政務次官トシテノ會見デアルカ、監督權行使ノ上ニ於テ必要デアッタカ否ヤ、之ヲ承リタイト存ジマス、若シ御記憶ヲ喚起ナサル上ニ於テ必要デアルナラバ――御便利トアラバ何時デモ名前ト日時ヲ申上ゲマス、ソレカラ川崎卓吉、片岡直溫此兩君ガ内務省ニ於テ大枚ナル金ヲ此關係者ニ吳レテ居ルガ、此事實ハ如何、是ハ監督權ノ行使カドウカ、大正十三年ノ八月末、此時分ニ一切遊廓移轉ノ方針ガ確定シテ居ッタ、大正十三年ノ八月ノ末ニ、是モ名前ハ隱シテ置キマス、或ル青年ガ現内閣――現内閣ト云フヨリハ其時ハ鼎立内閣、此内閣ノ内務ノ諸公ノ遣方ハ極メテ醜穢ナリトシテ大正十三年ノ八月、其時ニ先ヅ此青年ハ警保局長ノ川崎卓吉君ヲ訪問致シマシタ、サウシテ川崎君ニ對シテ、内務ノ官憲ガ屢〻關係者ト會見スルノハ何故デアルト、ソレカラ内務官憲ハ十四年ノ四月ニ移轉ヲ發表スルト云フコトヲ關係者ニ言明シタデハナイカ、此事實アリヤ否ヤ、ソレカラモウ一ツ此問題ニ付テハ官憲ガ不正ナル金ヲ收受シタト云フ噂ガアルガ、此疑ヲ解クダケノ說明ヲ願ヒタイ、此三點、之ヲ持テ此純眞ナル青年ガ内務省ニ迫ッタ、屢〻是等ノ關係者ト會合シ、移轉ノ日ヲ先ヅ豫メ發表シタカ、ソレカラ不正ナル金ヲ收受セルコト、之ヲ持ッテ迫ッタ、此時ニ川崎君ハ相當ノ苦勞人デセウガ、ドウモ此青年ニ對スル方法ガ少シ宜シキヲ得ナカッタラシイ、怒ラシテ〻マッタ、青年ハ其時ニ此事實ヲ聞イタ、其人間ノ名前ヲ言ッタ、其時ニ川崎君ハ、アレハ能ク知ッテ居ル、兄弟分ノヤウナ者デアルト云フコトヲ言ッタガ、此青年ヲ怒ラシテシマッタ、怒ラシテシマッカラ、此青年ハ直ニ踵ヲ返シテ片岡君ノ所ニ行ッタ（此時發言スル者アリ）何ヲ言フ（「何ダ、其態度ハ」ト呼フ者アリ）

○議長（粕谷義三君）　靜粛ニ願ヒマス

○板野友造君（續）　極メテ此川崎君ノ答辯ガ曖昧デアリ且ツ不深切デアル、不誠切デアッタガ、川崎君ハ其者ニ對シテ金一封ヲ差出シタ、青年ニ一封ヲ差出シタ、所ガ青年ハ其態度ニ不滿ヲ抱イテ居ルカラ、直ニ之ヲ突返シテ片岡政務次官ヲ訪問シタ、片岡政務次官ハ此青年カラ遂一ノコトヲ聽イテ、サウシテ色ヲ變ヘテ卓上ノ「ベル」ヲ押シテ川崎君ヲ呼ンダ、川崎君ヲ呼ンデ暫ク別室ニ密談ノ上、片岡政務次官ハ此青年ニ對シ、モウ一遍川崎ノ所ニ行ケ、川崎ノ所ニ能ク話ヲシテアルカラト言フノデ、此青年ガ再ビ川崎氏ト會ッタ際ニ、内務次官カラ詳細ノ話ヲ聽イテ居ルトト云フコトデ、川崎君ガ之ニ對シテ多額ノ金ヲ渡シテ居リマス、是ハ何ノ爲デアルカ、私ハ此點ニ付テハ詳細ナル告白書ヲ持ッテ居リマス、モウ少シ詳細ニ書イテアリマスガ、此必要ハアリマセヌ、内務官憲ハ何故ニ斯ノ如キ事ヲスルカ（拍手）斯ノ如キ事ヲスル原因ハ如何、綱紀肅正デアルトカ、官紀ノ肅正デアルトカ言ッテ置キナガラ、此不態ハ何デアルカ、此態度ハ何デアルカ（拍手）是ト此監督權ノ關係ヲ聞イテ見ルト、何ノ爲ニ拂ッタノデアルカ、此際私共ハ川崎次官ハ此處ニ御出デナイヤウデアリマスカラ、私ガ只今マデニ申シタ川崎次官當時ノ局長、此人ノ行動ニ付テハ内務大臣カラ事實ノ有無、此事實ガアリトスルハ何故ニ左樣ナ行動ガアッタト云フコトノ御答辯ヲ願ヒタイ、サウシテ片岡商工大臣ニハ、私ガ名前ヲ擧ゲテ御尋シタ點ニ付テ、御答ヲ願ヒマス、吾々ハ内務省以外ノ官廳ノ人ト、ソレカラ政黨員ノ方方、是等ノ人ガ此問題ニ付テ相當醜關係ノアル事實モ、多少ハ私ハ調査ヲ致シテ結果ヲ得テ居リマス（「發表セヨ」ト呼フ者アリ）此處デ發表スルハ其機會デアリマセヌカラ、私ハ適當ナル機會ニ於テ必ズ發表スルト云フコトヲ茲ニ申シテ置キマス（拍手）併ナガラ今日ハ地方制度ノ改廢問題ニ付テ論ズベキデ、此問題ヲ解クベキ場合デナイカラ、吾々ハ之ヲ省略スルダケデアル、アナタガイヤト仰シャッテモ、吾々ハ之ヲ表明スル機會ハ必ズアルト思フ、唯、私共ハ川崎前局長、片岡前次官、ソレカラ只今デハ丁度此處ニ御出席ノ内務大臣、是等ノ人トガ此問題ハ自治ノ監督ト云フコト、離ルベカラザル關係ガアリマスカラ、私ハ今疑ヲ懷ク點ニ付テ御說明ヲ願ヒタイト考ヘマス、私共ハ地方自治ニ對スル監督權ヲ持ツ監督者、其監督ヲ受クル者、自治ノ作用トシテ色〻ノ仕事ヲスル者、此等ノ者ガ一緒ニ成ッテヤルコトニナレバ監督モ被監督モナイ、最早團子ニ成ッテヤッテ居ルカラ上下交〻利ヲ征ル、斯ウナッテハ監督モ地方自治モナイ、斯ノ如キハ根本カラ自治ヲ破壞スルモノデアルト斯樣ニ考ヘルノデアリマス、答辯如何ハ本案ノ審議ノ上ニ於テ重大ノ關係ヲ持ツモノデ、渉クトモ監督ノ點ニ付テ吾々ハ愼重ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト信ジマスカラ、以上ノ點ニ付テ政府ノ極メテ明瞭ナル御答辯ヲ煩ジタイト存ジマス（拍手）

（國務大臣片岡直溫君登壇）

○國務大臣（片岡直溫君）　只今板野君ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、私ハ内務政務次官トシテ在職中ニ、松島遊廓問題ノ移轉ヲ取極メタト云フガ如キ御言葉ガアッタノデアリマスガ、私ガ内務省ニ入リマシテ在職中ニ、松島問題ナドト云フコトヲ承ッタコトハナイノデアリマス（拍手）私ヨリ話シタコトモナケレバ、警保局長カラ承ッタコトモナシ、又内務大臣カラ承ッタコトモナイノ

デアリマス、果シテ其前ヨリ極ッテ居ッタカ否ヤハ私ハ今申上ゲタ通リ、聞イタコトモアリマセヌカラ分リマセヌガ、私ハ在職中ニ會テ其話ヲ聞イタコトガナイト云フコトハ明カデアリマス、ソレカラ或ル青年ガ警保局長ニ面會ヲ致シテ金ヲ包ンデ貰タガ、其態度ガ氣ニ入ラナカッタ、而シテ引返シテ政務次官ノ室ニ來テ、卽チ政務次官タル私ガソレヲ詳シク聽イテ、直ニ「ベル」ヲ押シテ警保局長ヲ呼ンデ別室デ何カ話ヲシテ、更ニ本人ニ向ッテ今話ヲシテ置イタカラ今一應行ッテ會ヘト、斯ウ云フコトヲ言ッタト云フ御話デアル、事ノ御話ノ順序ト淘ニ眞シヤカニ聞エマスガ、私ハ一向左樣ナコトハ覺エモ何ニモナイ、私ハ實ハ內務省ニ入リマシテ以來、面會ヲ求メラレル場合ニ於テハ、大概ノ人ニハ會ウタノデアリマス、先ヅ以テ人ガ入ッテ來レバ、要點ダケヲ聽イテ、其事柄ハ某ニ言ヘ、其事柄ハ某ニ言ヘ、或ハ文書課長ヲ呼ンデ、此人ノ要旨ハ斯ウ云フ譯デアルカラ紹介ヲシロト云フガ如キ指圖ヲ致シテ、大概少イ時ハ十四五人、多イ時ハ四十人モ面會シテ其用ヲ辯ジタ事ハアリマスガ、今御話ノ如キ事ハ一向存ジマセヌ、餘リニ眞シヤカニ仰セラレマスカラ、少シハ覺エガアリサウナモノデアルガ、元來ガ遊廓問題ガ私ノ頭ニ無イノデス、斯樣ナ事實ハ私ノ在職中ニ——

（此時發言スル者アリ）

○議長（柏谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（片岡直溫君）（續）　私ノ在職中ニ斯樣ナ事實ハ決シテゴザイマセヌ、（拍手）若シアリトスレバ、其人間ト相對決シタラ分タラ、卽チ板野君ト共ニ相對決シタラ分ルデアラウト思ヒマス、ソレカラ私ノ桃山ノ邸宅ニ於テ十三年ノ八月ニ某ニ面會ヲシテ、松島遊廓ノ問題ハ程ナク發表スルコトニナッテ居ル、斯ウ云フ御話ガアッタノデアリマスガ、私ハ桃山ニ於テ斯樣ナ人ニ會ッタ覺ハナイ、是モ名前ハ言ウテモ宜イガト云フ御話デアリマシタカラ、是ハ必ズ板野君ハ其名前ハ御承知ノ筈デアリマス、然ラバソレモ其人ト多勢ノ人ヲ置イテ、其前デ話ヲシテ見タラハ分ルデアラウト思フ（拍手）私ハ本來左樣ナ隱然タル問ニ惡事ヲ企ラムト云フガ如キコトヲヤッタ覺エハナイノデアリマス、左樣ナ事ハ致サナクテモ、一身ノ獨立ニ付テハ他人ノ御世話ヲ蒙ラヌノデアル、又金ヲ內務省中ニ於テ呉レタト云フ御言葉モアリマシタガ、私ハ內務省ノ金ヲ取扱フ權能ガナイノデアリマス、未ダ曾テ內務省內ノ金ヲ取扱ッタ事モナケレバ、聞イタ事モゴザイマセヌ、何ノ金ヲ渡スコトガ出來ルカ、若シ自分ノ「ポッケット」カラ出シテ渡スナラバ格別デアリマスガ、是モ役所ニ於テ左樣ナ事ヲ致シタ覺エハナイ、人ヲ誣ユルモ亦甚シキ御質問デアリマス、根本カラ無イコトデアリマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）　若槻內閣總理大臣

（國務大臣若槻禮次郎君登壇）

○國務大臣（若槻禮次郎君）　板野君ノ御質問ガアリマシタ故ニ、所謂松島遊廓問題ト云フモノニ付テ私ノ承知シテ居ル所ヲ申上ゲマス、所謂松島遊廓問題ト云フモノニ付テ私ノ聞キマシタノハ、中川大阪府知事カラ松島遊廓ヲ何處カヘ移サウト云フ運動ガアル、激シイ運動ガアッテ甚ダ困ッテ居ルト云ウテ參リマシタ、ソレニ對シテ私ハ、大阪市ニ於テ遊廓ヲ移轉スル必要ガアルナラバ、大阪市長ナリ、大阪ノ市會議員ナリ、都市計畫委員ナリ、凡ソ大阪ノ事ヲ考ヘテ居ル者ガ、遊廓ハ斯ウセナケレバナラヌト言ッタナラバ、ソレニハ耳ヲ傾ケテ聽イテ宜シイノデアル、併シ其方面カラ何モ言ハヌノニ、運動者ガアルカラト云ッテ遊廓ノ移轉ナドハ斷ジテ許シテハナラヌゾト斯ウ申シマシタ（拍手）此私ノ訓示ニ付テ大阪府知事ハ堅ク守ッテ、彼ハ何人ノ運動ガアリマシテモ決シテ許可ハ致サナカッタノデアリマス、又許可ヲスルヤウナ豫約モ決シテ致サヌノデアリマス、同時ニ私ハ只今丁度御指摘ニナリマシタ內務省ノ警保局長、內務省ノ政務次官、是等ヲ集メテ、大阪府知事カラ斯樣ナ事ヲ聞イタ、是ハ何人ガ內務省ヘ言ウテ來テモ決シテ取合ッテハナラヌゾト申付ケタノデアリマス、是ガ行ハレテ、內務省ニ於テハ此事件ニ付テハ決シテ耳ヲ傾ケテ居ラナイノデアリマス（拍手）板野君ハ何時カ何カ青年ガ內務省ヘ來タト云フ御話デアリマス、ソレハ私ハ會テ聞及ンデ居リマセズ、全然知リマセヌ、併シ只今片岡商工大臣ガ內務政務次官デアリシ時ノ事デアルト仰シャッタ爲ニ、自ラ此處ニ出テ事實ノ全然無根ナルコトヲ言ハレタノデアリマス、然ル以上ハ私モ亦曾テ聞及バヌ事デアッテ、板野君ガ關係者デアルト言ハレタ片岡商工大臣ガ、明ニ無根デアルト言ハルル以上ハ、其事ガ無根デアルコトハ私モ確信シテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ御答ト致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）　板野友造君

○板野友造君　簡單デアリマスカラ此席カラ申シマス（發言スル者多シ）

○議長（柏谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○板野友造君（續）　詳細ノ事ハ——唯、只今總理大臣ガ當時ノ政務次官片岡君、ソレカラ警保局長川崎君、是等ニ向ッテ遊廓問題ニマデ手ヲ觸ルヽナト云フ意味ノ卽チ非移轉ノ旨ヲ言明サレタ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、ソレハ何時デアッタカト云フコトダケヲ承ッテ置キマス

○議長（柏谷義三君）　若槻內閣總理大臣

（國務大臣若槻禮次郎君登壇）

○國務大臣（若槻禮次郎君）　私ノ申シタ政務次官ト云フノハ現任政務次官デアリマス、而シテ其時日ガ何時デアリマシタカ、私共ハサウ一々仕事ヲ致シマシタ日時マデハ覺エテ居ラヌノデアリマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）　是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、別ニ討論ノ通告ガアリマセヌカラ直ニ採決致シマス、府縣制中改正法律案外六件ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（柏谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○作間耕逸君　七案ヲ一括シテ直ニ其二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（柏谷義三君）　作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ七案ノ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ致シマス

府縣制中改正法律案　第二讀會

市制中改正法律案　第二讀會

町村制中改正法律案　第二讀會

北海道會法中改正法律案　第二讀會

北海道地方費法中改正法律案　第二讀會

水利組合法中改正法律案　第二讀會

徵發令中郡及郡長ニ關スル規程ノ適用ニ關スル法律案　第二讀會

○議長（柏谷義三君）　此際府縣制中改正法律案外四件ニ對スル少數意見ノ報告ヲ求メマス、植原悅二郎君

少數者意見書

一府縣制中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト認ムルニ依リ少數者意見書及提出候也

大正十五年三月十二日

府縣制中改正法律案委員少數意見者

赤間嘉之吉　外九名

（別紙）

（小字及——ハ少數意見）

府縣制中改正法律案中左ノ通修正ス

第一條中「郡市」ヲ「市町村」ニ改ム

第三條第二項中「郡」ヲ削リ同條第三項中「府縣郡市參事會及町村會」ヲ「府縣參事會及市町村會」ニ改ム

第四條第二項中「郡市ノ區域」ヲ「市ノ區域又ハ從前郡長若ハ島司ノ管轄シタル區域」ニ改メ同條第三項及第四項ヲ削ル

第六條　府縣內ノ市町村公民ハ府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有ス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者（未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒（勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク）及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

市町村公民權停止中ノ者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選舉權ヲ有セス

○府縣會議員ハ其ノ○府縣ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ○府縣ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府縣知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選舉權ヲ有セス

府縣ノ官吏及有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ府縣ノ府縣會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

衆議院議員ハ府縣議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第二十三條　選舉長ハ市長又ハ府縣知事○町村長若ハ○官吏ヲ以テ之ニ充ツ

選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

選舉會ハ市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第三十二條　當選者左ニ揭クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三箇月以內ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　當選ヲ辭シタルトキ

二　數選舉區ニ於テ選舉ニ當リタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選舉區ノ選舉ニ應シタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ

三　第二十九條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四　死亡者ナルトキ

五　選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ當選無效ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選舉又ハ補闕選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

六　第三十四條ノ二ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無效ト爲リタルトキ

前項ノ事由第三十一條第二項、第三項若ハ第六項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ於テ第二十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ第三十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ期間ハ第三十四條第七項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六箇月以內ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定員ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條中「內務大臣」ヲ「主務大臣」ニ改ム

第六十五條　府縣參事會ハ府縣參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

府縣參事會員ノ定數ハ府縣會議員ノ定數ノ四分ノ一トス但シ一人未滿ノ端數ハ之ヲ算入セス

第六十六條○中「名譽職」ヲ「府縣」ニ改メ○第五項中「毎年」ヲ「隔年」ニ、同條第六項中「後任者就任ノ前日マテ」ヲ「後任者ノ就任スルニ至ルマテ」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣名譽職參事會員ハ其ノ選舉ニ關スル第八十二條第一項ノ處分確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第六十七條　府縣參事會ハ府縣參事會員中ヨリ議長一人ヲ選舉スヘシ

議長ノ任期ハ府縣參事會員ノ任期ニ依ル

第六十九條中「名譽職」ヲ「府縣」ニ改ム

第七十條中「第四十五條」ノ下ニ「第四十八條」ヲ、「第五十一條第三項」ノ下ニ「第五十二條第五十三條」ヲ加ヘ「及第六十二條」ヲ「第六十二條及第六十三條」ニ改ム

第七十一條中「名譽職」ヲ「府縣」ニ改ム

第七十三條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲參事會員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス

第九十四條中「名譽職」ヲ「府縣」ニ改ム

少數者意見書

一市制中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト認ムルニ依リ少數者意見書及提出候也

大正十五年三月十二日

市制中改正法律案

委員少數意見者

赤間嘉之吉　外九名

〔別紙〕

(小字及――ハ少數意見)

市制中改正法律案中左ノ通修正ス

第十三條第二項中「三十人」ヲ「三十九人」ニ、「三十六人」ヲ「四十三人」ニ、「四十人」ヲ「四十八人」ニ、「四十四人」ヲ「五十三人」ニ、「四十八人」ヲ「五十七人」ニ改メ第三項中「四人」ヲ「五人」ニ改ム

第十八條　選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選舉權ヲ有セス

○市會議員ハ其ノ○市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ○市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ス

ハ其ノ市ニ於テ被選舉權ヲ有セス

市ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ市ノ市會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十九條第二項中「總選舉ノ第一日」ヲ「總選舉ノ日」ニ、同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム但シ闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ闕員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付市長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ闕員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ闕員ハ最モ先ニ闕員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ闕員ト爲リタル時同シキトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アル場合ニ於テ選舉區アルトキハ第十六條ノ市條例中ニ其ノ解任ヲ要スル者ノ選舉區ヲ規定シ市長抽籤シテ之ヲ定ム但シ解任ヲ要スル者ノ選舉區ニ闕員アリタルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第三十三條　當選者左ニ揭クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三月以內ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　當選ヲ辭シタルトキ

二　數選擧區ニ於テ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選擧區ノ當選ニ應シ又ハ抽籤ニ依リ一ノ選擧區ノ當選者ト定マリタル爲他ノ選擧區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ

三　第三十條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四　死亡者ナルトキ

五　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選擧又ハ補闕選擧ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ事由前條第二項、第三項若ハ第五項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ於テ第三十條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選擧會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者選擧ノ期日後ニ於テ被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

第二項ノ場合ニ於テハ市長ハ豫メ選擧會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第一項ノ期間ハ第三十六條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選擧ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以內ニ生シタルトキハ第一項ノ選擧ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條ノ二　市會議員ハ勅令ヲ以テ指定スル市會議員（第六條ノ市ノ區ニ○ヲ含ム）ノ市會議員（又ハ區會議員）ノ選擧ニ付テハ府縣制第十三條ノ二、第十三條ノ三、第二十九條ノ三及第三十四條ノ二ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ第二十三條第三項及第五項、第二十五條第五項及第七項、第二十五條ノ三、第二十八條、第二十九條、第三十三條第一項並第三十六條第一項ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三十九條ノ三　市會議員（第六條ノ市ノ區前條ノ規定ニ依ル選擧會議員ヲ含ム）ノ選擧ニ付テハ衆議院議員選擧法第十章及第十一章並第百四十條第二項及第百四十二條ノ規定ヲ準用ス但シ議員候補者一人ニ付定ムヘキ選擧事務所ノ數、選擧委員及選擧事務員ノ數並選擧運動ノ費用ノ額ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル前條ノ規定ニ依ル選擧ヲ除クノ外市會議員（又ハ第六條ノ市ノ區ノ區會議員）ノ選擧ニ付テハ衆議院議員選擧法第九十一條、第九十二條、第九十八條、第九十九條第二項、第百條及第百四十二條ノ規定ヲ準用ス

第六十三條第二項中「三日以內出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得」ヲ「○開會五日以內出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得」ニ改ム

第六十五條第四項ヲ左ノ如ク改ム

第一項中「六人」ヲ「八人」ニ、「十二人」ヲ「十五人」ニ改メ第四項ヲ左ノ如ク改ム

名譽職參事會員ハ隔年之ヲ選擧スヘシ

名譽職參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス市會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

名譽職參事會員ハ其ノ選擧ニ關シ第九十條ノ處分確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第七十三條　市長ハ有給トス

市ハ市條例ヲ以テ市長ヲ名譽職ト爲スコトヲ得

市長ノ任期ハ四年トス

市長ハ選擧權ヲ有スル市公民之ヲ選擧ス

名譽職市長ハ其ノ市公民中選擧權ヲ有スル者ニ限ル

市長ノ選擧ニ付テハ市會議員ノ選擧ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十六條中「市長」ヲ「有給市長」ニ改ム

第七十八條第一項中「○有給市參與及助役」ヲ「○市長有給市長」ニ、第二項中「市長」ヲ「有給市長」ニ改ム

第百四條中「名譽職市參與」ヲ「名譽職市長、名譽職市參與」ニ改ム

第百五條中「市長」ヲ「有給市長」ニ改ム

少數者意見書

一町村制中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト認ムルニ依リ少數者意見書及提出候也

大正十五年三月十二日

町村制中改正法律案委員少數意見者

赤間嘉之吉　外九名

（別紙）

（小字及――ハ少數意見）

町村制中改正法律案中左ノ通修正ス

第十一條○第二項中「八人」ヲ「十二人」ニ、「十二人」ヲ「十八人」ニ、「十八人」ヲ「二十三人」ニ、「二十四人」ヲ「三十一人」ニ「三十人」ヲ「三十九人」ニ、

第十五條　選擧權ヲ有スル町村公民ハ被選擧權ヲ有ス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選擧權ヲ有セス

選擧事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選擧權ヲ有セス

○町村會議員ハ其ノ○町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ○其ノ○町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準ス（ヘキ者、清算人及支配人ハ其ノ町村ニ於テ被選擧權ヲ有セス）

町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十六條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項但書ノ場合ニ於テ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付町村長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ關員ハ最モ先ニ關員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ關員ト爲リタル時同シキトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

第三十條　當選者左ニ揭クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三月以內ニ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　當選ヲ辭シタルトキ

二　第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

三　死亡者ナルトキ

四　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選擧又ハ補闕選擧ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ事由前條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第二十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選擧會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第二十七條第一項但

書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者選擧ノ期日後ニ於テ被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

第二項ノ場合ニ於テハ町村長ハ豫メ選擧會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第一項ノ期間ハ第三十三條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選擧ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選擧ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條　町村會ハ議員中ヨリ議長、副議長各一人ヲ選擧スヘシ

議長、副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長及副議長共ニ故障アルトキハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ町村長ニ報告スヘシ

第五十九條第二項中「三日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得」ヲ「○開會五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得」ニ改ム

第六十三條第一項ヲ左ノ如ク、第二項中「前項ノ例ニ依ル」ヲ「町村會ニ於テ之ヲ選擧ス」ニ改ム

町村長ハ選擧權ヲ有スル町村公民之ヲ選擧ス

町村長ノ選擧ニ付テハ町村會議員選擧ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十四條第一項中「又ハ助役ヲ定メ若ハ選擧シ」ヲ、同條第二項中「町村長又ハ」ヲ削リ同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

有給町村長及有給助役ハ其ノ退職セムトスル日前三十日目迄ニ申立ツルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス但シ町村會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

町村組合内ノ町村カ市ト爲リタル場合ニ於テハ其ノ市ハ從前ノ町村ノ權利義務ヲ繼承ス

少數者意見書

一北海道會法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト認ムルニ依リ少數者意見書及提出候也

大正十五年三月十二日

北海道會法中改正法律案委員少數意見者

赤間嘉之吉　外九名

（別紙）

北海道會法中改正法律案中左ノ通修正ス

（小字及――ハ少數意見）

第五條　在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選擧權ヲ有セス

選擧事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選擧權ヲ有セス

○北海道會議員ハ

○北海道廳長官若ハ北海道地方費ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ北海道地方費ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付北海道廳長官若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人ハ被選擧權ヲ有セス

北海道廳ノ官吏及北海道地方費ノ有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ北海道會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

衆議院議員ハ北海道會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第九條　削除

第十四條　府縣制第五條、第八條、第十三條乃至第二十二條、第二十三條ノ二乃至第四十條、第四十二條乃至第六十四條、第六十六條、第六十七條、第六十九條乃至第七十四條、第八十二條乃至第八十七條、第百二十七條乃至第百二十九條、第百三十一條、第百三十五條、第百三十六條、第百四十二條及第百四十四條ノ規定ハ之ヲ準用ス但シ其ノ第七十三條中第六十八條第二トアルハ本法第十條第二號トス

（植原悅二郎君登壇）

○植原悅二郎君　茲ニ私ハ委員長ノ報告ニ對シ、私共ノ異ナル所見ヲ述ベ、修正意見ヲ陳述致シテ諸君ノ御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス（拍手）政府提出ニ係ル所ノ只今問題トナッテ居リマスル府縣制、市制、町村制、北海道會法ニ付キマシテハ、衆議院議員ノ選擧法ニ於キマシテ、所謂普通選擧ヲ採用致シタ以上ハ、當然起ルベキ歸結トシテ現レテ參ッタモノデアリマス、併ナガラ斯ル地方自治機關ニ對シマシテ選擧權ノ大擴張ヲ行ヒ、根本的ノ整理ヲ致スニ付キマシテハ此時代ニ適應スル所ノ極メテ徹底的ノ改正ヲ試ミナケレバナラナイト、私共ハ確信致シテ居ルノデアリマス（拍手）然ルニ茲ニ提案サレタモノハ、衆議院議員ノ選擧法ニ於ケル所ノ選擧權、被選擧權ノ擴張、ソレニ伴フ所ノ選擧方法ノ改正ヲ致シタト云フノミニ止マリマシテ、殆ド私共ノ期待スル所ノ自治權ノ擴張、自治機關ノ整理ト云フコトニ付テハ、殆ド手ヲ染メテ居ラナイト斷言致スモ誤ッテ居ラナイト私ハ確信致シテ居ル者デアリマス（拍手）私共ハ如何ナル政策ヲ立テマスルニモ、又如何ナル法律ヲ取扱フニ付キマシテモ、一定ノ主義主張ヲ有シ、確乎タル信念ニ依ッテ之ヲ決行スル者デアリマス（拍手）而シテ私共ガ豫算ノ問題、或ハ稅制ノ問題、關稅ノ問題ニ付キマシテモ、政府及與黨諸君ト見解ヲ異ニシ、行政財政ノ整理ヲ致スニ對シテハ、地方並ニ中央ヲ並行セシメナケレバナラナイ、殊ニ立憲政治ノ根幹ハ地方自治團體デアルガ故ニ、財政ニ於テモ、權能ニ於テモ、其機關ノ運用ニ於テモ、此ノ徹底的國民ノ要求ニ適應スル所ノ整理ヲ致スコトハ目下ノ急務ナリト確信シテ居ルノデアリマス（拍手）私共ノ總テノ修正ハ此主張ニ依ッテ現レテ居ルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、併ナガラ此場合ニ諸君ノ御諒解ヲ願ッテ置カナケレバナラナイコトハ、只今問題トナッテ居リマスル所ノ諸法案ハ、極メテ廣汎多岐ニ亙ルモノデアリマス、ソレ故ニ私共ノ修正ヲ以テ致シテモ、私共ノ主義主張ヲ徹底的ニ實現セシムルダケノ此場合ニ時日ヲ得ナイガ爲ニ、現在ノ狀態ニ於キマシテ選擧權、被選擧權ノ擴張ヲスルニ付キ、出來得ル限リ私共ノ主義主張ニ適スルヤウニ致シタダケノ改正デアルト云フコトノ御承知ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス（拍手）而シテ第一ニ私ガ申上ゲマスルコトハ、府縣制、次ニ市制、町村制、最後ニ北海道會法等ニ關シテ修正ノ意見ヲ申上ゲルコトヲ御諒承ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、府縣制ニ付キマシテハ、私共現在ノ府縣知事ヲ公選ニ致サナケレバナラナイト云フ主張ヲ有シテ居ル者デアリマス（拍手）現在ノ府縣制ハ地方自治團體デアルト申シテ居リマスケレドモ、御承知ノ如ク府縣知事ハ純然タル所ノ官吏デアリマス、而シテ府縣會ハ御承知ノ如ク府縣民ノ意思ヲ代表シ、其意思ノ在ル所ヲ縣治ニ運用スル爲ニ處スル所ノ議決機關ト申スヨリハ、寧ロ府縣知事ノ諮問機關デアルガ如キ形式ヲ有シテ居ルノデアリマス（拍手）故ニ私共ハ是等ニ對シテモ府縣制ナルモノガ眞ニ府縣民ノ自治機關デアルベキ修正マデニ至ラナケレバ、滿足致ス者デハアリマセヌ（拍手）ケレドモ先刻申上ゲタ通リ、眼ノ前ニ受ケテ居リマスル所ノ法案ヲ以テ、此程度ニ修正ヲ試ミルコトハ不可能デアリマス、故ニ現在ノ事情ニ於テ許ス限リノ、私共ノ主張ヲ徹底セシムル修正ヲ爲シタト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ（拍手）第一ノ私共ノ府縣制ニ對スル修正ニ付キマシテハ、郡ニ關スル問題デアリマス、此度政府ガ郡役所ヲ廢止スルニ付キマシテ、郡ト云フ行政區劃ハ、無クナリマス、ソレ故ニ府縣制ニ於ケル所ノ郡市町村トアリマス文字ヲ除リマシテ、市町村ト改メルト云フ趣意デ現行法ヲ修正ナサレタ箇條デアリマス、郡役所ノ廢止ハ私共之ヲ認メテ居ル、併ナガラ郡役所ヲ廢

止致シマシテモ、地理的郡ハ私共永久ニ存スルモノト確信致シテ居リマス（拍手）ノミナラズ一府縣ニ於キマシテ、若シ郡ト云フ字ヲ、郡役所ヲ廢止シタガ爲ニ全部取除イテシマウト致シマシタナラバ、一縣下内ニ於テ隨分同ジ名ノ町村ガ存在致シテ居リマス、是等ヲ如何ニスルカ、又戸籍ノ上ニ此郡ト云フ字ヲ取除イタナラバ之ヲ如何ニスルカ、郡農會ハ如何ニ取扱フ積リデアルカト政府當局ニ質問致シテ見マスト、政府當局ハ郡役所ヲ廢シテモ郡農會ハ認メテ置ク、而シテ戸籍ノ上デハ郡ト云フ字ヲ用キナケレバナルマイ、而シテ一縣下ニ同名ナ町村ノアルコトヲ認メテ居ル、故ニ郡ト云フ字ヲ全部削ッテシマッタナラバ不便モアラウケレドモ、其不便ガアッタ後ニ、政府ハ然ルベキ所ノ處置ヲ執ルト、斯樣ナ無實任ナ答辯デアリマス（拍手）私共ハ多數ノ國民ノ利害ヲ考ヘル場合ニ、厄介ナ事ガ起ッテ來タナラバ其時ニ處置ヲスルト云フヤウナコトヲ、責任アル政治家トシテ申サレルコトデナイト確信致シテ居リマス（拍手）私共同志ガ之ヲ質問シタ時ニハ、政府當局ハ定メテ此郡ノ問題ハ行政區劃ハ無クスケレドモ、勅令カ何カニ依ッテ相當ノ途ヲ講ズルデアラウト云フ答辯ヲ期待致シテ居リマシタノデアルニ拘ラズ、政府當局ハ差支ノ生ジタ時ニ何等カノ處置ヲ取ルト云フヤウナ、甚ダ無責任ナル御答辯ヲ爲サッタノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ此事實ニ鑑ミマシテ、府縣制ノ上ニ現在存在シテ居ル所ノ地理的郡ト云フ字ヲ殘シテ置キマシテモ、更ニ法律上ニ差支ナイ、更ニ取扱上ニ差支ナイ、更ニ行政ノ行使ニ於テ支障ヲ招クモノデナイト確信致シテ居リマスガ故ニ、是ハ現行法通リニ維持シヤウト云フ第一ノ修正デアリマス、（拍手）次ニ私共ガ修正致ス箇條ハ洵ニ微々タル點デアリマス、斯樣ナコトヲ皆樣方ニ申上ゲルコトモ如何カト思ヒマスケレドモ、此法律ガ如何ニ官僚式ニ、如何ニ御役人ガ小細工ヲ致シテ提出シタモノデアルカト云フコトヲ諸君ニ立證スル上ニ於テ、極メテ便宜ナル修正デアリマスルガ故ニ、些々タル事デアリマスガ、御清聽ヲ煩シタイ思ヒマス、ソレハ此法案ニ於キマシテ、從來總テノ法文ノ上ニ「滿タサル」ト云フ文字ヲ使ッテ居ルノデアリマス、是ガ多年我國ノ法文ノ上ニ用キ來ラレタル所ノ慣例的ノ用語デアリマス、然ルニ此際政府ハ此諸法案ヲ改正爲サルニ付キマシテ、此「滿タサル」ト云フ用語ヲ「滿チサル」ト云フ用語ニ御改メニナッタノデアリマス、此政府當局ノ説明ハ「滿タサル」ト云フヨリハ「滿チサル」ト云フ方ガ言語上正確デアルカラト云フ御答辯ノヤウニ承リマシタ、私共何レノ言葉ガ日本ノ國語上正確デアルカト云フコトヲ、此場合ニ論議スル者デハアリマセヌ、ノミナラズ、政府當局ガ「滿チサル」ト云フ言葉ガ正シイト云フナラバ、ソレヲ御使用爲サルニ對シテ私共ハ異議ハナイ、サラバ現在ノ府縣制ヲ改正スル條項モ、現行法ニ存在致シテ居ル所モ、總テノ法文ニ對シテ用語ヲ一ニシナケレバ差支ノ出來ルト云フコトハ、諸君御異存ナカラウト思ヒマス（拍手）從來官僚政治家ハ、何カノ願書ヲ出スニ付キマシテモ、「其」ト云フ下ニ「ノ」ヲ付ケロ、「是」ト云フ下ニ「レ」ヲ付ケテハイケナイト云フヤウナ、用語ニ付テ隨分人民ニ對シテ迷惑千萬ノ事ヲ掛ケテ居ルコトハ諸君御承知デアリマセウ（拍手）而シテ政府當局ハ現在ノ法律ヲ改正スルニ付キマシテ、改正スル項ノミニ對シテ「滿チサル」ト云フ字ヲ用キ、存在シテ居ル所ノ現行法、其他ノ部分ニ於テハ相變ラズ「滿タサル」ト云フ文字ヲ使ッテ居ル、如何ニ政府ノ法案ガ其調査ニ於テ不徹底デアリ、其取扱ニ於テ粗漏杜撰デアルカト云フコトハ、此一事ヲ見テモ明瞭デアラウト私共ハ確信致シテ居リマス、併ナガラ左樣ナコトヲ非難攻擊スル爲ニ之ヲ申スノデハアリマセヌ、私共ハ一ツノ法律ニ對シテハ總テノ用語ヲ統一シ、整理シ正シク致サナケレバナラナイト云フ意味ニ於テ、政府ノ改正ノ箇條ニ限ッテ「滿チサル」ト云フ文字ヲ使ッテ居ルノヲ、現行法通リニ「滿タサル」ト云フヤウニ修正致スノデアリマス、次ニ私共ノ修正ヲ企テマシタコトハ、府縣制ニ對シテ極メテ根本的ノ一ツノ事項デアリマス、御承知ノ如ク政府提出、卽チ委員長報告ノ府縣制ニ依リマスト、選擧長ハ市長又ハ府縣知事ノ指定シタル所ノ官吏ヲ以テ之ニ充ツルト云フコトデアリマス、我ガ國ハ普通選擧ヲ實行シヤウト致シテ居リマス、既ニ其緒ニ就テ居リマス、今ヤ府縣制、市制、町村制ニ於テ普通選擧ヲ實行スル場合ニ於テ、出來得ルダケ總テノ事ハ人民デ致サナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ選擧長ヲ市長又ハ府縣知事ノ指定シタル官吏ニ致スト云フガ如キニ付テハ、依然トシテ官僚政治ノ維持ニ關スル規定デアルト私共ハ信ジマスガ故ニ、選擧長ハ市長又ハ府縣知事ノ指定シタル所ノ町村長ト致スコトニ原則ヲ定メ、萬一僻陬ナ、極メテ特殊ナ町村ニ限ッテ、町村長ヲ以テ充テ、不便ナリトスル場合ニハ、官吏ヲ以テ之ニ充ツルモ差支ナイト云フヤウニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、（拍手）次ニ私共ノ修正ヲ致ス箇條ハ、從來ノ法律ニ依リマスト、府縣會ガ公益ノ事ニ關シテ其意見書ヲ中央政府ニ提出スル場合ニ於キマシテハ、内務大臣並ニ之ヲ主務大臣ニ提出シナケレバナラナイヤウナ規定ニナッテ居ルノデアリマス、故ニ私共ハ之ヲ主務大臣ニ限ルコトニ致シタノデアリマス、ト云フノハ努メテ事務ヲ簡捷ニシ、人民ノ便利ヲ圖リ、地方ノ自治權ノ運用ヲ圓滿ナラシムルノ趣意ニ出デタルモノデアリマス、其次ノ私共ノ修正ハ極メテ重要ナル事デアリマス、私共既ニ申述ベタ通リ、現在ノ府縣會ノ權能並ニ府縣參事會ノ權能ヲ以テ、地方自治機關ノ運用ヲ全カラシメ得ルモノトハ確信致シテ居リマセヌ、併ナガラ現在ノ此問題ヲ取扱フニ致シテハ、私共ノ希望スルガ如クニ修正ヲ試ムルコトハ出來ナイ、故ニ出來得ルダケ私共ハ府縣會ノ權能ヲ擴張スル意味ニ於キマシテ、從來ノ參事會員ニ於キマシテハ純官吏タル知事ト、高等官二名ガ參事會員ニ加ハルコトノ規定ヲ有シテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク知事ヤ高等官ハ行政官、執行官デアリマス、參事會並ニ縣會ナルモノハ人民ヲ代表スル決議機關デアルト云フコトニ付テハ、御異存ナイモノト思ヒマス、此決議機關デアル所ノモノヽ中ニ、府縣知事並ニ高等官ガ列席致シ、其採決ニ加ハルト云フガ如キコトハ、極メテ官僚式ノ事ニナルノミナラズ、地方自治團體ノ發達ヲ阻止スル所以ナリト確信致シマスガ故ニ、私共ハ府縣參事會員ノ中カラ此知事並ニ高等官二名ヲ削除シ、參事會員ハ全部縣會議員ヲ以テ之ニ充テルコトニ定メタノデゴザイマス、而シテ此規定ヲ改メマシタ其附帶トシテ起リマス所ノ事ハ、當然府縣參事會員ノ數デアリマス、御承知ノ如ク今回ノ政府提出ノ案ニ依リマスルト云フト、府縣參事會ノ任期ハ從來一年デアリマシタノヲ、二年ニ伸長スルコトニ規定サレテ居リマス、ソレニ對シテハ私共異存ゴザイマセヌ、ソレ故ニ府縣參事會員ヲ府縣會議員ノ數ノ四分ノ一ニ定メマシタナラバ、洵ニ二年交代ニシテ其運用ヲ圓滑ナラシムルノミナラズ、府縣會ニ於テ參事會員ヲ定ムルニ於テモ頗ル便宜ナリト信ジマシテ、參事會員ノ數ヲ府縣會議員ノ定數ノ四分ノ一ト定ムルコトニ致シタノデアリマス（拍手）知事並ニ二名ノ高等官ガ府縣參事會員カラ除カレルコトニナッタノデアリマスカラ、參事會員ニ「名譽職參事會員」ト云フ特殊ノ名ヲ用キル必要ガアリマセヌカラ、「名譽職」ト云フ字ヲ總テノ關係項目ニ付テ削除スルコトニ致シタコトモ御承知ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、次ニ府縣參事會ニ於キマシテハ、是迄知事ガ其議長ダッタノデアリマスケレドモ、私共提案ニ依リマスルト云フト、府縣參事會員ハ全部府縣會議員ノ中ヨリ選出スノデアリマスルガ故ニ、參事會ニ於ケル議長モ參事會ニ於テ互選ト致シ、其任期ハ參事會員ノ任期ト同一ナルコトニ致スコトニ定メタコトモ御承知ヲ願ッテ置キタイノデアリマス（拍手）尚ホ之ニ關聯致シマシテ、從來參事會ノ議長ハ知事デアリマシタガ故ニ、參事會ノ議事ヤ經過ヲ知事ニ報告スル必要ハアリマセヌデシタケレドモ、今度私共ノ提案ニ依リマスル參事

會ノ組織ニナリマスルト云フト、定吏ガ之ニ加ハルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、其議事ノ經過ヲ知事ニ報告スベキ必要ガアルト思ヒマシテ、府縣參事會ノ組織變更ニ伴フ此必要ナル條項モ加ヘタコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、以上ハ私共ノ府縣制度ニ對スル改正ノ骨子デアリマス、總テ是等ハ私共ノ主張メル所ノ、將來出來得ベクンバ知事ノ公選ヲモ致スト云フ趣意ヲ以チマシテ、努メテ府縣會ノ權限ヲ擴張シ、官僚式ノ府縣會ヲ一掃シテ、人民本位ノ府縣會ニスル趣意ニ出デタルモノデアルコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス（拍手「人民々々ト言フナ」ト呼フ者アリ）次ニ市制ニ對スル所ノ改正ヲ申上ゲマス、私共市制ニ於キマシテ、所謂衆議院ノ普通選擧ト略、同一ニ、一切ノ納稅資格ヲ撤廢致シ、滿二十五歳以上ノ男子デ二箇年以上同一地ニ居住スル者ニ選擧權、被選擧權ヲ與ヘルコトニナリマシテ、非常ニ選擧民ノ數ガ增シマスルガ故ニ、其選擧民ニ依ッテ選出サレル所ノ代表者モ、總テノ階級ヲ網羅スル者ヲ選出出來ルヤウニ整ヘナケレバナラナイト思ヒマシテ、市會議員ノ定數ヲ或ル程度ニ增員スルコトニ致シタノデアリマス、大體ニ於テ極メテ小サナ都市ニ於テハ、市會議員ノ數ヲ現在ノ數ニ對シテ三割ノ增加、大都市ニ於テハ大體ニ於テ二割、詳細ノ事ハ諸君ノ御手許ニ回付致シタル所ノ私共ノ修正案ニ依ッテ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ私共市制ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ所ノ箇條ハ、議員候補者制度ヲ認ムル所ノ都市ニ於テ、勅令ヲ以テ或ル特殊ノ市ニ於テ差別的待遇ヲスルコトハ、現在ノ日本ノ都市ノ狀態ニ應ジテ極メテ不適當ナルモノト確信致シマスルガ故ニ、是ハ總テノ都市ニ對シテ平等ナル取扱ヲ爲スコトニ定メタノデゴザイマス、次ニ私共府縣參事會ニ於テ相當ノ變革ヲ加ヘマシタ如ク、市ノ參事會員ニ於キマシテモ其數ヲ改メマシテ、普通ノ都市ニ於テハ現在名譽職參事會員ガ六人デアリマスルノヲ、之ヲ八人ト致シ、勅令デ定メタル所ノ都市ニ付キマシテハ十二人ノ定員ヲ十五人ニ增加スルコトニ規定致シタノデアリマス、其次ニ修正ヲ試ミマシタコトハ、市制若クハ會議規則ニ違反シタル議員ニ對シマシテ、市會ニ於テ議決ニ依ッテ其出席ヲ停止スル所ノ規定ガアリマス、從來ニ於テハ之ヲ三日ト定メテアリマス、政府提出委員長報告ノ案ニ依リマシテハ、之ヲ五日ト規定シテ居リマスルケレドモ、是ハ諸君御承知ノ如ク、市會ガ五日繼續シテ開カレルト云フコトハ、日本全國ノ都市ニ於テ殆ド見ルコトノ出來ナイ所ノ事實デアリマス、此五日ノ停止ノ規定ハ名アッテ實ナキモノデアル、故ニ之ヲ意義アラシムルモノトスルガ爲ニ、曆日五日デアリマスモノヲ、開會五日ニ致シマシタ、是ハ市制ニ付テモ、町村制ニ付テモ同一デアルコトヲ此場合御諒承ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、最後ニ私共市制ニ對シマシテ根本的ニ改正ヲ試ミタ一項ノアルコトハ、諸君並ニ國民カラ十分ニ御了解ヲ得タイト思フノデアリマス（拍手）ソレハ市長ヲ選擧權ヲ有スル所ノ公民ニ依ッテ選擧スル規定ヲ定メタコトデアリマス（拍手）御承知ノ如ク我國ニ於テ比較的府縣制、市制、町村制ノ中デ自治ノ發達致シテ居ルノハ、何ト申シテモ都市デアリマス、而シテ都市ハ郡部ト餘程違ヒマシテ、總テノ文明ニ於テ一歩先キニ進ムモノデアルガ故ニ、之ニ對シテ時代ニ伴フ所ノ相當ノ施設ヲナスト云フコトハ、當然ノコトデアリマス、然ルニ現在ノ都市ニ於テハ、總テノ市長ハ全部間接選擧デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申セバ、市會議員ノ選擧デアル故ニ市長ニナリマスル者ハ多クノ場合ニ官吏ノ古手カ、或ハ市會ニ於テ多數ヲ制スル所ノ議員ノ情實因緣ニ依ッテ推薦サレタモノガ、市長ノ椅子ヲ占ムルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス（拍手）恐ラク東京市程全體ノ市ノ總テニ於テ腐敗致シテ居ル所ハ世界稀ナルモノデアリマセウガ、其根本ヲ質セバ何處ニアルカト云ヘバ、市長ノ間接選擧ニ因由スルノデアリマス、市會議員ガ多數デ運動シ、情實因緣ヲ以テ擔ギ上ゲタモノデアリマスルガ故ニ、如何ニ是ガ手腕ヲ有スルモノデモ、思フ通リニ其總テノ施設ヲ實行スルコトガ出來ナイ、又市會議員ト市長トノ間ニ色ト情實因緣ガアリマシテ、總テノ都市ノ腐敗ヲ誘致シテ居ルコトハ、諸君御承知ノ如クデアリマス（拍手）現在ノ改正ヲ試ムルニ付キマシテ、政府當局ガ之ニ一指ヲ染メザルト云フヤウナコトハ、實ニ時代ヲ知ラザルモ甚シキモノト申サナケレバナラナイ（拍手）私共ハ茲ニ市長ハ常ニ選擧權ヲ有スル公民ノ公選タラシムルコトニ規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレト同時ニモウ一ツ私共市長ニ關シ、現在ノ都市ノ自治機關ノ革正ノ爲ニ必要ナル條項トシテ定メマシタコトハ、現在ノ市長ハ總テ有給デアリマス名譽職ニ之ヲ致セバ隨分地方ノ名望家ナドニ於テ立派ナ市長ヲ得ルコトモ出來ルノデアリマスケレドモ、有給ト云フ規定ガアルガ爲ニ、多クハ軍人ヤ官吏ノ古手ヲ市長ニ推薦シナケレバナラナイヤウナ狀態ニ陷ッテ居ルノデアリマス、故ニ此弊害ヲ改メル爲ニ、私共ハ市長ハ有給ヲ原則トスルケレドモ、其市ノ條例ニ依テ名譽職市長モ設クコトノ出來ル規定ヲ定メタノデアリマス（拍手）次ニ申述ベタイコトハ、町村制ノ改正デアリマス、御承知ノ如ク町村制ニ於テモ此度ハ非常ニ選擧權ガ擴張サレタノデアリマス、而シテ從來ノ選擧人ハ多少ナリトモ納稅資格ト云フ制限ヲ有シテ居リマシタガ、今度ノ選擧法ハ人間本位ノ選擧法デ、從來ノ選與民ト今回夥シク增加致シマシタル所ノ選擧民トハ、根本ニ於テ多少其素質ヲ異ニシテ居ルモノガアルノデアリマス、故ニ此場合ニ町村ナゾニ於テ非常ナル急激ナル變化ヲ試ルコトハ、動モスレバ町村自治ヲ危殆ナラシムル虞ガアルト信ジマスルガ故ニ、選擧權ヲ一方デ擴張スルト共ニ、一方ニ於テ町村會議ノ數ヲ增シマシテ、此間ニ總テノ階級ノ人ガ町村會ニ町村ヲ代表セシムベキ機會ノ得ラレル規定ヲ設ケタノデアリマス、此町村會議員ノ數ノ增加ハ極メテ小サナ町村ハ五割、中程ノ町村ハ現在ノ議員ニ對シテ三割、大キナ所ハ市ト同一三割ト定メタコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、次ニ私共町村制ニ於テ改正ヲ試ミタコトハ、一ツノ町村制ニ於ケル所ノ根本的改革デアリマス、御承知ノ如ク從來ノ町村會ハ決議機關デアリマス、此町村長タル所ノ執行機關ニ職ヲ置ク者ガ、決議機關ナル所ノ町村會ノ議長ヲ兼ルコトハ村治ノ圓滿ナラシメ、且ツ町村長ヲシテ十分ナル所ノ村治ノ爲ニ手腕ヲ振ハセルニ支障アルモノト認メマシテ、私共町村會ノ議長、副議長ハ町村會議員中ヨリ選擧ヲ致シ、其任期ハ町村會ノ議員ト同一任期ニ依ルコトノ規定ニ致シタノデアリマス、而シテ市制ト同一ニ私共町村制ニ對シテモ根本的ノ重要ナル改正ヲ試ミマシタコトハ、町村長ヲ選擧權ヲ有スル所ノ公民ノ公選トスルコトニ規定シタノデアリマス（拍手）御承知ノ如ク現行法ニ於キマシテハ、町村長ハ町村會議員ノ間接選擧デアリマス、今日普通選擧ヲ實行シナケレバナラヌ、民意ヲ暢達致サナケレバナラヌ、地方自治機關ノ權限擴張ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ場合ニ於キマシテ、町村長ヲ公選ニ致スコトハ當然ナリト確信致シテ居ルノデアリマス（拍手）最後ニ私共町村制ニ對シテ修正ヲ加ヘマシタコトハ、主トシテ町村組合ニ關スルコトデアリマス、御承知ノ如ク或町村ガ市ニ編入サレタ場合ニ於キマシテ、從前ノ町村デ組合ヲ組織シテ居リマシタ場合ニ、之ヲ市ニ引繼グ所ノ方法ガナイノデアリマス、是ガ爲ニ現在沼津ナゾニ於キマシテハ、非常ナ困難ヲ來シテ居ルト云フコトハ諸君御承知ノ通リデアリマス、政府當局ニ對シマシテ此事ニ付キマシテ質問致シマシタ所ガ、政府當局デモ誠ニサウ云フ場合ニハ困ッタモノデアル、併ナガラ其取扱ニ對シテ適當ナル法規ヲ定ムルコトガ困難ナルガ故ニ、事實非常ニ困難ナ事情ガアルト承知致シテ居ッテモ、此點ニ付テ手ヲ觸レナカッタト云フコトデアリマシタカラ、私共ハ是ニ適當ニ應用出來ル所ノ一項ヲ定メマシテ、第百三十六條ノ規

定ニ斯樣ナ項目ヲ加ヘタノデアリマス「町村組合内ノ町村ガ市トナリタル場合ニ於テハ其市ハ從前ノ町村ノ權利義務ヲ繼承ス」此條項ガ加ハリマスレバ、將來町村ガ市ニ併合サレタル場合ニ、從前ノ諸町村ガ有シテ居リマシタ所ノ町村組合ノ權利義務ニ付キマシテモ、總テノ遺漏ナク市ニ引繼グコトガ出來ルヤウニナッテ、總テノ點ニ於テ人民ノ有利ニナルモノト信ジマシテ、此項ヲ加ヘタノデアリマス(拍手)次ニ北海道會法中改正案ニ對シテ、私共修正ヲ加ヘタ所ノ一項ガアルノデアリマス、此問題ハ北海道ノ町村ニ關スル問題デアリマスルケレドモ、諸君御承知ノ如ク、北海道ノ町村制ナルモノハ勅令デ定メラレテアリマスルガ故ニ、議會トシテハ此修正ヲ希望致シテモ、ソレニ手ヲ觸ルヽ所ノ權能ヲ持タナイノデアリマス、而シテ北海道ニ於キマシテモ、總テノ文化ガ發達致シ、今日ノ政府ノ提案ニ依リマシテモ、戶長役場等ノ費用ニ對シテ廢止スルノ規定ガ設ケラレテ居リマス、私共ハ此以外ニ現在ノ二級町村ノ村長、書記ノ給料、旅費ト云フ項目ヲ、北海道ノ地方費法中改正法律案カラ取除カウト、斯樣ニ修正案ヲ提出スルノデアリマス、此結果ハドウナルカト言ヘバ、此法律ガ成立シマスレバ、政府ハ自ラ勅令ニ對シテ改正ヲ試ミナケレバナリマセヌ、北海道ノ人民モ非常ニ進歩致シ、北海道ノ自治モ相當ニ發達致シテ居リマス其場合ニ於キマシテ、北海道ノ二級町村長ヲ、北海道廳デ定メル所ノ官吏ニ致シテ置クト云フヤウナコトハ、時代ニ適セザルモノデアリマスルガ故ニ、此改正ヲ試ミ、二級町村長ト雖モ、選擧ニ依ッテ人民ノ間カラ之ヲ定メルコトニ致シマシテ、若シ費用ヲ補助シナケレバナラナイ必要ノアルヤウナ町村ニ付キマシテハ、現行ノ北海道地方費法ニ依リマシテ、地方費トシテ之ヲ援助スレバ支障ハナイ、北海道ニ於キマシテモ、內地ト同樣ニ出來ルダケ自治權ノ擴張ヲ圖リ、自治機關ノ整正ヲ俟タナケレバナラナイ、其一歩ト致シテ此改正ヲ試ミタノデアリマス(拍手)私共ハ北海道會法全體ヲ改正致サナケレバナラナイト云フ、强キ信念ヲ有シテ居ルモノデアリマス、現行ノ北海道會法ハ、是ハ普通ノ人ガ見マシテモ了解ハ出來マセヌ、或場合ニ於テハ府縣制ヲ準用シ、或場合ニ於テハ市制ヲ準用シ、或場合ニ於テハ町村制ヲ準用スルト云フヤウナコトデ、尋常一樣ナコトデハ北海道ノ會法ハ了解出來ナイヤウニ組立ラレテ居ルノデアリマス、私共ハ何ト致シテモ此根本的改正ヲ致サナケレバナラナイト確信ヲ致シテ居リマスルケレドモ、此場合之ヲ實現スルコトガ不可能デアリマスルガ故ニ、私共ノ主張ノ一端ヲ實現セシムル爲ニ、只今ノ修正ヲ試ミタコトヲ御承知願ヒタイノデアリマス(拍手)以上ハ私共ノ修正ノ大體ノ項目デアリマス、其他ノ事ニ付キマシテハ、何レ又同僚ヨリ詳シク申上ゲルコトガアラウト思ヒマス、何卒私共ノ主義主張ノアル所、私共ノ修正ノ意思ノアル所ヲ御諒承下サッテ、深甚ナル御考慮ヲ煩シタイト思フモノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　只今植原君ニ依ッテ說明セラレマシタ赤間嘉之吉君外九名御提出ノ少數意見、之ニ對シテ御贊成ガアリマスカ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　成規ノ贊成アリト認メマス、仍テ此少數意見ハ、何レモ修正案トシテ成立致シマシタ、次ニ土屋清三郎君ヨリ成規ノ贊成ヲ得テ修正案ヲ提出サレマシタ、卽チ市制中改正法律案、町村制中改正法律案、北海道會法中改正法律案、此三案ニ對シテ修正案ガ提出セラレマシタ、其趣旨辯明ヲ許シマス――土屋清三郎君

〔土屋清三郎君登壇〕

○土屋清三郎君　私ハ只今議題トナッテ居ル各案ニ對シマシテ、大體ニ於テ委員會修正可決ノ案ニ同意ヲ表スル者デアリマスルガ、其中特ニ市制、町村制及北海道會法中改正法律案ニ對シテ、各〻一ノ修正意見ヲ提出致シタイノデアリマス、卽チ市制第九條、町村制第七條及北海道會法第三條、是等各條ノ「帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子」云々ノ次ニ「及世帶主タル女子」ノ八字ヲ挿入致シタイノデアリマス、卽チ二十五年以上ノ男子ノ外、世帶主タル女子ニ對シテモ公民權ヲ與ヘントスルノデアリマシテ、其目的トスル所ハ、將來女子ニ對シテ、男子ト同ジ條件ノ下ニ參政權ヲ與フル其道程トシテ、先ヅ自治制ニ參與スル端ヲ開キ、漸ヲ逐ウテ男子專制ノ不條理ナル政治組織ヲ改メ、男女ノ別ナク國民均シク政治ニ參與スルノ狀態ニ到達セシメントスルモノデアリマス、政治上啞ノ如ク沈默ヲ餘儀ナクセラレテ居ル所ノ可憐ナル女子ノ爲ニ、私如キ微力ナル者ノ口ヲ藉ッテ、諸君ニ愬ヘナケレバナラヌ、弱キ者ノ爲ニ暫ク御淸聽ヲ願ヒタイノデアリマス、元來婦人參政權問題ハ、普通選擧ト共ニ當然解決セラルベキ問題デアリマシテ、普通選擧ガ實施セラルヽ今日、婦人ニ尙ホ參政權ヲ與ヘナイト云フ主張ハ、如何ニシテモ立タナイノデアリマス、苟モ政治ガ自由、公平及正義ノ基礎觀念ニ立脚致シマスル以上、唯、性ヲ異ニスルノ故ヲ以テ、國民トシテ同等ナル權利ヲ附與スルニ反對スルガ如キハ、啻ニ政治正義ニ反スルノミナラズ、人トシテノ生物學的本質ヲ無視シタルモノト云ハナケレバナラヌノデアリマス、婦人ニ參政權ヲ與フルノ緊切ナル理由ハ幾多アリマスル、併ナガラ今一々之ヲ羅列スルコトハ致シマセヌ、特ニ考慮ヲ要シマスルノハ、婦人問題ノ解決デアリマス、御承知ノ通リ婦人問題ハ、是又二大社會問題トセラレテ居ル所ノ勞働問題ニ比ベマシテ、思想問題トシテモ一層深刻デアリ、社會問題ト致シマシテモ一層切實デアルノデアリマス、是ガ正當ナル解決ハ洵ニ急務中ノ急務ト申サナケレバナリマセヌ、蓋シ婦人ハ生理的ニ姙娠、育兒、ソレ等種族保存ノ大任ヲ負ッテ居ルノデアリマシテ、隨テ國家ハ次代國民ノ繁榮ヲ圖ルガ爲ニ、何ヲ差措イテモ母性ノ保護ニ努メナケレバナラナイノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、文明ノ餘弊ハ男女ヲ驅ッテ均シク結婚難、生活難ニ陷ラシメ、爲ニ女子ハ家ヲ外ニ、其屠弱ナル體軀ヲ提ゲテ劣等ナル待遇ノ下ニ男子ト其生存ヲ爭ハナケレバナラヌト云フ狀態ニ陷ッテ居ルノデアリマス、一家貧困ノ犧牲トナッテ、賣ラレ行ク憐レナル者モ、亦實ニ女デアリマス、若シ之ヲ此儘ニ致シテ置キマスルナラバ、婦人ハ生理的ニモ精神的ニモ、漸ク母性トシテノ健全ナル特質ヲ失ヒマシテ、延イテ後繼國民ニ不良ノ影響ヲ及ボスベキコトハ、燎トシテ火ヲ睹ルヨリモ明カデアリマス、而シテ之ヲ解決スル所ノ最善ノ手段ハ、先以テ婦人ニ參政權ヲ與ヘ、其深刻ニシテ切實ナル主張ヲ、政治ノ核心ニ向ッテ注入セシムルコトニ在ルト信ズルノデアリマス、併ナガラ私ハ此場合婦人ニ對シテ、卽時ニ男子ト全然同一條件ノ下ニ、參政權ヲ附與スベシト主張スルモノデハアリマセヌ、其道程ニ達スル順序トシテ、前申述ベマシタ如ク、市町村住民ノ中、先ヅ世帶主タル女子ニ對シテ公民權ヲ與ヘ、漸ヲ逐フテ其終極ニ到達セントスルモノデアリマヌ、蓋シ今回ノ改正案ハ原則トシテ、二十五歲以上ノ男子ハ總テ公民權ヲ獲得スルコトガ出來マスケレドモ、女子ハ如何ナル條件ノ下ニ於テモ、絕對ニ之ヲ拒絕セラレテ居ルノデアリマス、其結果ト致シマシテ假ニ甲ノ家ハ五人ノ家族デアリマシテ、何レモ二十五歲以上ノ男子デアリマスレバ、總テ公民權ヲ獲得致シマスルニ拘ラズ、乙ノ隣家ハ十人ノ家族ガアルニ拘ラズ、二十五歲以上ノ男子ヲ有シナイガ爲ニ、一人モ公民權ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、而モ是等ノ世帶主ノ中ニハ戰爭其他ノ公ノ事ノ爲ニ、最愛ノ夫ヲ失ヒマシテ、困苦缺乏ト鬪ヒツヽ、遺子ヲ育テ、國家ニ御奉公ヲスルコトガ、セメテ亡キ人ノ志ヲ繼ク所以デアルトシテ働イテ居ル所ノ、尊敬スベキ女性ガ少クナイノデアリマス、而モ是等ノ人ニ對シテスラモ、女性ナルノ故ヲ以テ、男子ニ比シテ劣等ナル差別待遇ヲ致シ、公民權スラ與ヘナイト云フコトハ、何タル不公平、無情ナル所ノ政治組織デアリマセウ、是レ私ガ委員會ニ於テ少數意見スラ成立シナカッタニ拘ラズ、敢テ茲ニ修正意見ヲ提

出致シタ所以デアリマス、要スルニ政治ノ目的ハ國民各個ノ總テノ力ヲ漏レナク結束シテ、之ヲ國家ノ大目的ニ向ッテ集中セシムルニ在ルト思フノデアリマス、此見地カラ致シマシテ國民ノ中其一半タル、女子ヲ度外セル男子專制ノ政治組織ハ、全ク自由、公平正義ノ觀念ニ背反シ、萬機公論ニ決スル五箇條ノ大精神ニ反スルコトハ勿論デアリマス、而シテ私ノ修正案ハ將來ニ亙ッテ、此政治上ノ缺陷ヲ矯正スル爲ニ、纔ニ其第一歩ニ過ギナイノデアリマス、只今婦人參政權運動ニ熱心セラレテ居ル一部ノ人々、坂本眞琴女史ヨリ受取ッタ所ノ文書ニ依リマスレバ（笑聲、拍手起ル）此議場ニ於テ此婦人公民權ニ熱心ニ贊成セラレテ居ル所ノ諸君ガ、非常ニ多數アルノデアリマス、又最近市内ノ演說會ニ於テ熱心ニ此事ヲ主張セラレ、本日ハ是非共此修正案ヲ提出スルト、公約セラレタ方モ少クナイト承ッテ居ルノデアリマス、是等ノ諸君ヨリハ私ノ案ハ如何ニモ手緩シトシテ、御叱リヲ蒙ルカモ知レマセヌケレドモ、案ノ通過ヲ圖ランガ爲ニ、已ムヲ得ザルモノト御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、萬一ニモ今回ノ案ガ此儘通過致サナイト云フコトニナリマスレバ、同ジク市町村ノ住民デアリナガラ全國ニ於テ九十七万二千ノ婦人世帶主、及其家族タル五百餘万ノモノハ、己ノ住ム所ノ町村ノ自治政ヨリ取殘サレマシテ、何等發言權ヲ有シナイ氣ノ毒ナル立場ニ至ルノデアリマス（拍手）セメテ弱キ婦人――國民中取殘サレタル半分ノ婦人ノ爲ニ、何卒廣大海ノ如キ度量ヲ以テ、本修正案ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○議長（粕谷義三君）　是ヨリ討論ニ入リマス、通告順ニ依ッテ其發言ヲ許シマス、由谷義治君

〔由谷義治君登壇〕

〔粕谷議長、議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席〕

○由谷義治君　政府提出案ニ係リマス所謂地方制度ノ改正案ニ對シマシテ、私ハ委員長報告ノ總テニ贊成ヲ致シ、政友會ニ依ッテ御提出ニナリマシタ修正意見ニ對シ、反對ノ意ヲ表スルモノデアリマス、成ベク簡單ニ出來ルダケ簡潔ニ、私ノ反對意見ヲ述ベタイト思フノデアリマスルガ、事重大デアリマスルカラ多少ノ時間ヲ御割キ下サルコトハ豫メ御考慮ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、私ハ委員長報告ノ條項ニ對シマシテハ、成ベク多ク言及セズシテ、主トシテ討論デアリマスルガ故ニ、政友會御提出ノ箇條ニ對シテ反對ノ理由ヲ此所ニ續ケテ行キタイト思フノデアリマス、政友會ノ御修正ノ御意見ハ府縣制、市町村制、北海道地方費負擔法等ニ關シマシテ約十五、六箇條ニナッテ居ルヤウデアリマス、府縣制ニ於テ第一ノ問題ハ、郡ニ關スル御意見デアリマス、植原君ノ御說明ヲ承リマスルト、郡ト云フモノハ、依然トシテ府縣制ノ上ニ於キマシテ認ムル必要ガアルト云フ御議論デアリマス、併ナガラ今日郡其モノ、內容、組織ヲ考フル時ニ、第一府縣制ノ第一條ニ於テハ、是ハ府縣ノ區域ヲ認メテ居ル規定デアリマス、郡ガ既ニ郡制廢止ノ結果自治團體タル性質ヲ失ヒ、更ニ郡役所ノ廢止ニ伴ヒマシテ、行政區域タル性質ヲ失ッテ居ル以上ハ、單ニ地理的名稱トシテ殘ルノミデアリマスカラ、特ニ此府縣制第一條ニ於テ郡ヲ以テ表示スルハ適當デナイト考ヘルノデアリマス、是ハ府縣ノ區劃ハ、其府縣內ノ市町村ニ依ッテ明ニシテ十分デアルノデアリマス、殊ニ政友會ノ御意見中、府縣制ノ第三條中ノ郡ニ關スル規定デアリマス、是ハ郡ノ境界變更ノ場合デアリマス、前段ニ申シマシタ通リ、郡ガ其廢止ニ依ッテ其自治權ヲ失ヒ、更ニ郡役所廢止ニ依ッテ行政區畫タル郡ハ消滅スルノデアリマスカラ、今後郡其モノヽ境界變更ノ如キハ、是ハ郡其モノニ依ッテ何等決定シ得ナイノデアリマス、隨テ此點カラ見テモ、御修正ノ意見ニ對シテハ斷ジテ贊成出來ナイノデアリマス、更ニ府縣制ノ第四條、卽チ府縣會議員ノ選擧ノ區劃ヲ定メル規定ニ對シマシテモ、私共ハ既ニ郡制廢止サレ、郡役所ガ廢止サレタ今日ニ於テハ、今回ノ改正案ノ通リ「從前郡長若ハ島司ノ管轄シタル區域」ト云フ明確ナル言葉ニ依ッテ之ヲ規定スルハ、最モ時宜ニ適シタル方法ナリトシテ、結局政友會ノ御意見ニ對シテ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ私ガ政友會ノ御修正ノ意見ヲ具サニ拜見シテ、衷心カラ遺憾ニ堪ヘナイ點ハ、政友會ノ諸君ハ此郡ノ存續問題ヲ熱心ニ主張サレテ居ル、然ルニ唯、單ニ修正ノ箇所ハ、府縣制ヲ通ジテ第一條、第三條、第四條ニ止マッテ居ル、今回ノ改正案ニ現レテ居ル第百四十五條ノ矢張、郡ニ對スル規定ニ對シマシテハ政府案ヲ御認メニナッテ居ルト云フ其矛盾ノ點デアリマス、是ハ政友會ノ諸君ノ御手落デアルカモ知レマセヌケレドモ、提案者ノ說明ノ熱心ナルニ比較致シマシテ、私ハ政友會諸君ノ修正意見ガ最後マデ徹底シ得ナカッタ憾ミニ對シテ、遺憾ヲ懷ク者デアリマス、政府ハ將來或ハ戶籍關係、或ハ地籍ノ關係、或ハ郵便關係、若クハ兵事ノ關係ニ依ッテ、現在ノ郡其モノヲ殘ス必要ガアルナラバ、其必要ニ遭遇シタ場合ニ於テ適當ニ之ヲヤルト聲明シテ居リマスルカラ、私共ハ之ニ對シテ絕對安心ヲ表シテ宜イト思フノデアリマス、第二ノ點ハ府縣會議員ノ選擧ニ於ケル選擧區ノ問題デアリマス修正意見ハ政府ノ原案ニ對シマシテ、町村長ヲ原則トシテ選擧區ニスルト云フ御主張デアリマス、私ハ此御主張ニ對シマシテモ遺憾ナガラ反對ノ意ヲ表セザルヲ得ナイ、選擧區ハ御承知ノ通リ從來ノ郡ノ區域デアリマスガ故ニ、其間ニハ數箇町村乃至數十箇町村ガアルノデアリマス、此數箇乃至數十箇ノ町村、某町村中カラ選擧區ヲ物色スルト云フコトハ、是ハ或ハ黨派ノ關係アリ、隨テ府縣知事ガ之ヲ指定スルニ當リマシテ、困難ナ結果ヲ招來致シマスシ、又不公平ナル結果モ生ズルコトナキニ非ズト思フノデアリマス、且ツ選擧區ハ其職權ニ於テハ投票ノ效力ヲ決定シ、當選者ヲ定メル等、極メテ重要ナル職務權限ヲ有スル者デアリマスカラ、之ヲ多數ノ町村長ノ中ヨリ指定シタル一町村長ニ全權ヲ委ネルト云フコトハ、決シテ圓滿ニ事務ヲ運行スルモノニ非ズト思フノデアリマス、特ニ將來ノ選擧ニ於テ私ハ一層此憂ヲ深クスル者デアリマス、寧ロ官吏ヲ指定シテ、サウシテ各町村ニ對シテ何等ノ利害關係ノナイ、極メテ公平ナル見地ニ於テ選擧事務ヲ鞅掌セシムルト云フコトガ、實際上適當デアリマシテ、唯、此選擧區ノ規定ニ於テ町村長ヲ任命シナイカラ、ソレニ依ッテ自治權ノ侵犯デアルト云フ如キ議論ハ、是ハ決シテ實際ニ應ジナイコトデアルト思フノデアリマス、第三ハ改正案中ノ「滿チサル」ト云フ字ヲ「滿タサル」ト修正スル御意見デアリマス、植原君モ此問題ハ些々タル問題デアルケレドモ、官僚精神ノ發露デアルガ故ニ反對スルト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、吾々ハ日本人デアリマス、日本人ガ日本ノ法律ヲ作ルノニ、日本文典ノ正確ナル字句ニ依ルコトハ是ハ當然デアリマス、滿ト云フ字ハ「滿ツル」ト云フ自動詞デアッテ、サウシテ上二段活用デアリマスカラ、斷ジテ「滿タサル」ト云フ字句ハ出ナイノデアリマス、今迄之ヲ政府ガ慣用シテ來テ居タノハ是ハ誤リデアリマス、誤リニ氣ガ付イタ以上ハ今後之ヲ訂正スルト云フ意味ニ於テ、吾吾ハ之ヲ熱心ニ支持シタイノデアリマス、私ハ甚タ老婆心デアリマスガ、政友會ノ諸君ハセメテ中學校ノ生徒ノ使フ位ナ日本文典ノ教科書ノ御精讀アランコトヲ希望スルノデアリマス、次ニ意見書ノ問題デアリマス御修正ノ意見ハ、現在ノ法律ニ於テ府縣會ガ其府縣ノ公益ニ關スルノ事件ニ付、內務大臣ニ意見書ヲ出ストアリマスノヲ、主務大臣ニ出スト致シタイト云フ御意見デアリマス、併ナガラ實際ニ於テ吾々ガ考フベキコトハ、府縣行政ニ關シテハ全般的ニ內務大臣ガ其監督者デアリマス、而シテ府縣會ニ於テ提案スル所ノ公益ニ關スル意見書ハ、卽チ府縣ノ公益ニ關スル問題ニ關聯スルコトデアリマスガ故ニ、之ヲ總テ內務大臣ニ提出スルコトヲ以テ最モ適當ナリト認ムルノデアリマス、且ツ今日政府ニ於テハ、實際ノ運行ニ於テモ此內務大臣ハ府縣ノ意見

書ニ現レタル所ノ關係事務ニ付テハ、各主務省ニ之ヲ回覽シテ、サウシテ府縣會ノ意見ハ十分ニ主務大臣ニ傳達シテ居ルノデアリマス、强テ此際之ヲ主務大臣全體ニ對シテ直接意見書ヲ送ルヤウニ修正スルコトノ實益ヲ認メナイノデアリマス、又若シ此御主張ガ正確デアルナラバ、私ハ政友會ノ諸君ガ何ガ故ニ府縣會ノ意見書ノ範圍ノミノ修正ヲ御考ニナッテ、之ヲ市制、町村制全體ニ御用キニナラナカッタカ、先刻承ッテ居リマスルト、、植原君ノ御意見ニ依ルト、所謂町村長公選論ノ如キ、確ニ時代ノ魁ヲ爲スモノデアルト云フ非常ナ御勇氣デアリマス、左樣ナ御勇氣ヲ今日市制ナリ、町村ナリニ御用キニナルナラバ、此意見書提出ノ範圍モ、獨リ府縣會ノ範圍ニ之ヲ限ラズシテ、廣イ市會、町村會ニ御主張ニナッテコソ、初メテ意見ノ徹底ガ期セラレルト思フノデアリマス、私ハ此點ニ對シマシテモ、政友會ノ提出ノ理由ガ、修正ノ箇所ガ所謂府縣ニ重クシテ、市町村ニ輕ク、其間一貫セル統一ナキコトヲ衷心カラ遺憾トスル者デアリマス(拍手)第五ハ府縣參事會ノ組織及定員ノ變更デアリマス、之ニ對シマシテモ、非常ニ力强キ贊成ノ御意見ガアッタヤウデアリマスガ、私共ハ現在ノ府縣參事會ノ組織ニ關シマシテハ、遺憾ナガラ御修正ノ意見トハ反對ノ意思ヲ持ツ者デアリマス、蓋シ只今ノ法律、卽チ此議會ニ於テ未ダ改正セラレザル所ノ現行ノ府縣制ニ於キマシテ、吾々ノ不都合ヲ感ズル點ハ官吏ノ參事會員ガ二名參加シ、且ツ府縣知事ガ府縣參事會ノ議長トシテ、採決權ト投票權ト二ツヲ持ッテ居ル點デアリマス、隨テ官吏參事會員ヲ此際除クト云フコトハ、自治權擴張ノ趣旨ニ於テ適當デアリマスルシ、且ツ府縣知事ガ府縣參事會ノ議長トシテ投票採決ノ二ツノ權限ヲ有スルコトハ、不適當デアリマスカラ、特別委員會ハ、多數ノ意見ヲ以テ官吏參事會員二名ヲ廢シ、而シテ府縣知事ハ議長トシテ參事會ノ構成ニ加ハルノミデアッテ、サウシテ採決權バカリヲ與フルコトニ決定シタノデアリマス、元來府縣知事ヲ參事會ノ議長トスルコトハ、第一ハ府縣參事會其モノガ懇談的性質ヲ有スル、參事會ノ議事ヲシテ圓滑ニ進行セシメ得ル便宜カラ申シマシテモ、且又一面府縣參事會ノ權限中ニ、或ハ訴願ノ採決デアルトカ、或ハ異議ノ決定デアルトカ、多數ノ國政事務アルガ故ニ、府縣知事ガ之ニ議長トシテ參加スルトハ、相當ノ理由ガアルノデアリマス、今直ニ政友會ノ御主張ノ通リ、全然名譽職主義ニ改ムルコトハ、却テ實際上ノ庶務ノ實行運用ニ於テ、不便不利ヲ感ズルコト少カラザルコト、思フノデアリマス、例ヘバ今ノ府縣參事會ニ於テハ、府縣ノ知事ガ議長デアリマスガ故ニ、國政ニ關スル色ヒノ庶務事項ヲ或ハ縣屬ヲ以テ、或ハ屬官ヲ以テ處理スルコトガ出來マスケレドモ、若シ全然名譽職主義ニ依ル時ハ、是等ノモノヲ全部府縣參事會ノミニ於テ、處理スル必要ガアル、斯樣ニ考ヘマシテモ、吾々ハ今日府縣知事ヲ議長ニスルコトヲ以テ最モ時宜ニ適シタル改正方法ト考ヘルノデアリマス、之ヲ府縣知事ヲ全部除外シテ、全部縣會議員ノミニ依リ參事會ノ構成ヲセントスルコトハ、是ハ實情ヲ顧ミザル空論デアリマスシ、且又理論上ニ於テモ斷ジテ認容出來ナイノデアリマス、更ニ參事會員ノ定員ノ問題デアリマス、參事會員ノ定員ノ原則ヲ變更致シマシテ、サウシテ府縣會議員ノ四分ノ一ノ數ニ、所謂「スライディング、スケール」ヲヤルト云フ御話ハ參事會ノ本質ニ適合シナイト思フノデアリマス、蓋シ府縣參事會ハ府縣ノ代理議決機關デハアリマスケレドモ、其他ニ其議事ハ國政ニ參與シテ居ルノデアリマス、或ハ裁定デアルトカ、採決デアルトカ、決定デアルトカ、色ヒ國政事務ニ關與シテ居リマスカラ、代決機關トシテ、其府縣會ノ縮圖トスルナラバ、或ハ四分ノ一ノ定員增減主義ハ、結構デアルカモ知レマセヌケレドモ、參事會ノ性質其モノカラ考ヘマシテ、私共斷ジテ承認ガ出來ナイノデアリマス、植原君モ先刻參事會ハ府縣會ノ代表機關デアルカラ、其故ニ四分ノ一ニ改メタイト云フ御意見デアリマシタケレドモ、實際ニ於テ府縣參事會ノ職務權限ハ、國政ニ關スルモノガ澤山アルノデアリマス、隨テ嚴密ナ理論カラ申シマスト、此參事會——府縣參事會ノ職務權限ニ對シテ決定的ノ改良ヲ施シテ、其上デ純粹ナル代決機關ニシタ上デ、政友會御主張ノ「スライヂング、スケール」ヲ御使ヒニナルナラバ、吾々ハ理論トシテ承認スルノデアリマスケレドモ、遺憾ナガラソレニ觸レテ居リマセヌ、隨テ吾々ハ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、更ニ市制ノ問題デアリマスガ、市會議員ノ定數ヲ一般的ニ增加シタイ、同時ニ町村會議員ノ定數モ一般的ニ增加シタイ、而シテ市會ニ於テ增加スル所以ハ、是ハ各階級ヲ網羅スル爲ノ增加デアルシ、又町村會ニ於テハ變ナ者ガ出テハナラヌカラ、町村自治ヲ危殆ニ瀕スルコトヲ防グ爲ノ修正デアルト云フ御意見デアリマス、元來市町村會議員ノ定數ハ公民權ノ權限ニ伴ヒマシテ、常然之ヲ增加スルト云フモノデハアリマセヌ、議員ノ定數ハ多クノ選擧法制ヲ通ジマシテ、人口ヲ標準トシテ選擧有權者ノ數ノ增減トハ必然的ノ關係ハ無イノデアリマス、最近ニ於ケル普通選擧ノ改正案ニ於キマシテモ、有權者ノ數ハ四倍ニ增加致シマシタケレドモ、而モ議員ノ定數ハ僅ニ二名ノ增加ニ終ッタコトニ鑑ミマシテ、吾々ハ今公民數ノ增加ヲ見ルト同時ニ、之ニ伴ヒマシテ市町村會議員ノ數ヲ全體的ニ增加スベシト云フ理由ヲ發見スルコトハ出來ナイノデアリマス、而モ一面現在市町村會ノ實際ヲ見マスルニ、一般的ニ市町村會議員ノ數ガ少イカラ、ソレデ團體意思ノ決定ニ不都合デアルト云フ意味ノ非難ヤ不平ハ無イヤウデアリマス、吾々ハ此意味カラ市町村會議員ノ定員增加ニ對シマシテ、遺憾ナガラ反對スルト共ニ、茲ニ私ハ反問シテ見タイコトハ、此政友會ノ御修正意見ニ依テ、市町村會ノ增員ハ御計畫ニナッタケレドモ、府縣會ノ增員ハ決シテ御計畫ニナッテ居ナイノデアリマス、政友會ノ御意見ヲ其儘借用致シマスト、市ノ最少定員ハ三十六名デアリマス、之ニ對シテ府縣ノ最少定員ハ現行法通リ三十名デアリマス、市ヨリモ數十倍ノ廣サト、十數倍ノ人口ヲ持ツ所ノ決議機關ノ府縣會ガ三十名デアッテ、サウシテ市ガ三十六名デアルト云フコトハ、別ニ絮說ヲ用ヰズトモ吾々ハ常識的ニ判斷シ、直覺的ニ判斷シテ、政友會ノ御意見ガ遺憾ナガラ紙背ニ徹シナイコトヲ憾ミトスル者デアリマス、議員候補者ノ制度ヲ之ヲ都市全體ニ用ヰタイ、是ハ委員長ガ報告シマシタ通リ、吾々ノ希望條件トシテ人口五万以上ノ都市ニ使用スルト云フノデアリマス、之ニ對スル政友會ノ御修正ハ、都市全體ニ使用シタイ、併ナガラ今日ノ都市ハ東京大阪ノ如キ大都市モアリマスルシ、同時ニ九州、都城ノ如キ、殆ド人口三万ヲ往來シテ居ル都市モアリマス、隨テ之ニ對シテ全體的、劃一的ノ法ヲ施行スルト云フコトハ、是ハ決シテ巧妙ナル方法デナイト思フノデアリマス、隨テ吾々ハ全部都市ニ對シテ均一的ニ、之ヲ實行スル必要ヲ認メザルノミナラズ、又良好ナル結果ヲ得ルコトモ保シ難イト思フノデアリマス、殊ニ私共ガ立法技術ノ上カラ最モ遺憾ニ考ヘマスコトハ、此都市ニ普通選擧ノ精神ヲ行フト云フ規定ニ對シマシテ、第三十九條中ノ第二項ニ對シテ御修正ニナッテ居リマスケレドモ、斯樣ナ修正ヲスルコトハ、卽チ現行法ノ市制ノ選擧ニ關スル規定全部ヲ修正スル意味ニナルノデアリマス、吾々ハ立法技術ノ點カラ考ヘテモ、此第三十九條第二項ノ御修正ハ甚シキ困難ト、サウシテ甚シキ不都合ヲ伴ッテ居ルト云フコトヲ敢テ提案者ニ告ゲタイノデアリマス、更ニ町村會議長及副議長ヲ町村會ニ於テ常ニ選擧スルト云フ御意見デアリマス、先刻植原君ノ御演說ヲ拜聽致シマシタガ、今日日本ニ於テハ此市ト町村ト云フモノハ、總テノ點ニ於テ事情ヲ異ニ致シマスルガ故ニ、其制度ニ於テモ、兩者相異ナル方法ヲ認メテ居ルノデアリマス、町村會ノ議事モ亦市會ノ議事トハ之ヲ原則的ニモ、總括的ニモ觀察スル時ハ、大ニ差異ガアルノデアリマス、現行制度ハ卽チ町村會ニ於テ、町村

長ノ議長ヲ認メ、而シテ市會ニ於テハ專任議長ヲ認メテ居ルノハ、此差異ガ最モ大ナルモノト思フノデアリマス、然ルニ今日都市地方ヲ通ジテ均一的ニ、專任議長ヲ置カントスル議論ハ、是ハ或ル意味ニ於テハ、我ガ日本ノ地方ノ發達、從來カラ我ガ村落自治ノ發達ノ歷史根柢ヲ成シテ居ル所ノ、所謂圓滿ナル會議、或ハ村相談、或ハ名主寄合ト云フヤウナ、我ガ日本ノ基礎ヲ成シテ居ル所ノ圓滿會議ソレ自體ヲ脅威スル虞ナキニ非ズヤト云フコトヲ私ハ恐ルヽノデアリマス、併ナガラ今日ノ町村ノ中ニ於テ、其實情ヲ全ク市ニ等シク、或ハ市ニ近寄ッテ居ル、若クハ種々ノ理由カラ町村長ト町村會議長トヲ別ニスルヲ以テ、適當ト認ムベキ町村、又ハ之ヲ希望スル町村モ澤山アリマスルカラ、吾々ハ此特別ノ町村ニ對シマシテハ、町村條例ヲ設ケテ、之ニ依テ町村長ノ選任ヲスルコトヲ得ル規定ヲ設ケタノデアリマス、何卒其規定ニ對シマシテ、格別ノ贊成アランコトヲ希望スルノデアリマス、而シテ市參事會ニ於キマシテモ、府縣制同樣ニ增員ノ御意見ガ出テ居リマス、私共ハ府縣會ノ組織ト、市參事會ノ組織ニ對シテハ、必シモ是ハ同一ナリトハ考ヘマセヌケレドモ、併ナガラ府縣會ノ——府縣參事會ノ定員增加ニ反對シタリト云フ理由ヲ以テ、此市參事會ノ增員ニ反對ガ出來ルト思フノデアリマス、殊ニ私ノ遺憾ニ思フコトハ、此政友會ノ御提案ニナッテ居ル所ノ府縣參事會ノ增員ノ比率ト、市參事會ノ增員ノ比率トニ於テ、何等ノ統一セル觀念ガナイト云フコトデアリマス、一方ニハ四分ノ一ヲ取リ、一方ハ八人或ハ十五人ヲ取ルト云フノデアリマシテ、其間ニ何等理論ニ根柢ノナイコトヲ、最モ遺憾トスル者デアリマス、最後ニ植原君ハ市町村長ノ公選問題ヲ御主張ニナッテ居リマシテ、恐ラク此地方制度ニ對スル政友會案中ノ最モ大ナル誇デアルト思フノデアリマス、植原君ハ我ガ日本ノ地方制度ヲシテ、今後革新ノ一方ニ出ヅル爲ニハ、此市町村長ノ公選主義ニ依ッテ進ムベキデアルト云フコトヲ、非常ニ力强ク力說ニナッタノデアリマス、勿論吾々ト雖モ將來市町村長ガ公選タルベシト云フ理想ニ對シテハ、決シテ反對ハシナイノデアリマス、併ナガラ現行ノ制度其モノヲ認容シテ置イテ、唯、市町村長ヲ公選ニスルダケニ依ッテ、市町村長ノ自治權擴張ガ忌憚ナク徹底的ニ實現スルト思フナラバ、是ハ驚クベキ錯誤デアルト思フノデアリマス、例ヘバ一ノ例證ヲ擧ゲテ見マセウ、市町村會ハ市町村公民ノ意思機關デアリマス、而シテ之ニ對立シテ居ル所ノ市町村長ハ執行機關デアル、今日ニ於テ植原君ハ弊害ノ方面ヲ御擧ゲニナッタケレドモ、今日ニ於キマシテハ、此間接選擧デアルガ故ニ、卽チ市會ノ議決機關ト此執行機關トハ、極メテ圓滿ナル運用ヲ持ッテ行クノデアリマス、然ルニ若シ市町村長ヲ公選ニ致シマスルト、植原君自身モ御述ニナッテ居リマスルガ、所謂此市長ナルモノト市會ナルモノトノ間ニ、非常ナル意思ノ疎隔ヲ來ス虞ノアルコトヲ吾々ハ見逃スコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ多數黨ノ橫暴ヲ論ジマスルケレドモ、其市會ニ於ケル多數黨ガ、或ル市長ヲ擁シテ居ル場合ニハ、其行政ノ善惡ハ別モノトシテ、少クモ其自治ノ運用ヲ圓滿ニ進行スルノデアリマス、然ルニ市長ナル者ガ公選ニ依ッテ市會ヲ向フニ廻シテ、此議決機關ト執行機關トガ、敢然トシテ相對立スル時ニハ、此始末ヲドウスルカト云フコトガ現行法令ニ於テハ何等解決ガ出來ナイノデアリマス、隨テ吾々ハ此市町村長ノ公選論ニ對シマシテハ、之ニ對シテ理論トシテ認容シマスケレドモ、少クトモ此市町村長ノ公選ヲ行フガ爲ニハ其全體不可分的ノ關係ニ在ル所ノ現今ノ市長制度ノ一切ニ對シテ、徹底的ナル整理、徹底的ナル改革ヲ斷行シナケレバ、決シテ其結果ニ於テ得ル所ハ無イノデアリマス(此時發言スル者アリ)靜ニ御聽キ下サイ、私ハ徒ニ反對センガ爲ニ、政友會ノ最モ然リト御信ジニナッテ居ル市町村長ノ公選論ニ反對スル者デハアリマセヌ、前段ニ申シマスル通リ、私ト雖モ此問題ニ對シテハ相當ノ共鳴モシテ見タイ、吾々ノ感情ガ之ヲ許スノデアリマス、吾々ノ理性モ之ヲ認容スルノデアリマス、併ナガラ吾吾ノ最モ考フベキコトハ、非常ナル改革ニ當ッテ、其改革ソレ自體ノ結末成績デアラネバナラヌノデアリマス、私ノ考ニ於テ、現行ノ市町村長ヲ公選ニシタ所デ、現行ノ市制或ハ町村制ニ對シテ適當ナル改革ヲ加ヘザル以上ハ、其市町村長ノ公選制度ハ決シテ徹底シナイト思フノデアリマス、例ヲ以テ言ヒマスルナラバ、或ハ原案執行ノ問題デアルトカ、或ハ停會ノ權利デアルトカ、若クハ解散ノ權利デアリマストカ、現行ノ市制町村制ハ、是等ニ對シテ決シテ市町村長ニ自由ナル權限ヲ與ヘテナイノデアリマス、同時ニ現行ノ議決機關ニ對シマシテハ唯、單ニ發案シタルモノヲ審議スルト云フノミデアッテ、所謂市町村會ニ自ラ發案スル自由ヲ與ヘテナイノデアリマス、斯樣ナ場合ニ於テ、此問題ニ觸レズシテ、唯、市町村長ノ公選ヲスルト云フ事ダケデハ、如何ニモ奇麗デハアリマスケレドモ、併ナガラ其結果ニ於テハ、斷ジテ何等ノ得ル所ナシト思フノデアリマス(拍手)殊ニ吾々ガ實際問題トシテ考慮セネバナラヌノハ、現在ノ事情ニ於テ市町村長ノ公選主義ヲ實行スルコトハ、選擧ガ非常ニ複雜ニナッテ、其處ニ非常ナル面倒ガ起ルト云フ點ト、又今日ノ間接選擧ニ依ル市長ト、公選選擧ニ依ル市長トハ、果シテ何レガ適任者ヲ出シ得ルカト云フコトハ、蓋シ大ナル問題デアラウト思フノデアリマス、要スルニ今次ノ選擧權、被選擧權ノ大擴張ハ、實ニ市町村會其モノノ大刷新ヲ、先ヅ以テ第一步ニ意味シテ居ルモノト考フルノデアリマス、大擴張後ノ議決機關ノ信用ヲ增加スルカ、此信用ヲ無クスルカト云フコトガ、今回ノ選擧權、被選擧權擴張ノ先決問題デアリマシテ、吾々ハ此意味カラ市會、町村會ノ決議ニ對シテ、深甚ナル敬意ヲ拂フ爲カラ、裁可——所謂認可ノ例ヲ廢シタノデアリマス、之ヲ要スルニ政友會ノ御修正ノ意見ヲ、之ヲ通觀シテ見ルナラバ、所謂地方分權論ガ其基礎ニナッテ居ルヤウデアリマス、或ハ稅制整理ノ問題ニ付テ、地租委讓ヲ論ジ、若クハ本日ノ議場ニ於テ、知事公選乃至市町村長直接選擧等ヲ御主張ニナルモ、畢竟政友會近時ノ政策ノ一端デアル所ノ地方分權論ノ御主張デアルト思フノデアリマス、我等モ亦同樣ナル希望、同樣ナル信念ヲ持ッテ居リマス、地方分權論ノ主張ハ、決シテ政友會ノ專賣特許デハナイコトヲ此際明カニシテ置クト共ニ、今後ノ我國ノ政治家ノ責任ハ、實ニ日本ノ地方其モノヽ繁榮、日本ノ地方其モノヽ隆盛ヲ希望スルコトニ於テ、始メテ其政治的生命モ、又其政治的光輝モアルト思フノデアリマス、唯、考フベキ事ハ——唯、此際最モ深ク考フベキ事ハ、斯樣ナ變革ヲ市町村長公選ト云フガ如キ、或ル程度マデノ變革ヲ斷行スルニ當リマシテハ、吾々ハ常ニ其全體トシテノ統一、其全體トシテノ完成ヲ考ヘナクテハナラヌ、渾然タル組織、整然タル有機的發達其モノヲ忘レテハナラヌノデアリマス、政友會ノ御修正ヲ拜見スルノニ、吾々ハ矛盾撞著ヲ屢、發見スルノデアリマス、僅カ簡單ナル、而モ卑近ナル修正意見ニ於テモ、不完全ノ連續デアリマス、不統一ガ續イテ居ルノデアリマス、例ヘバ郡ヲ廢スル規定ニ於テ、百四十五條ノ問題ニ觸レナイコトノ如キ、或ハ委任狀ノ問題ニ於テ、府縣制ニ擴張シテ、市町村ニ於テ之ヲ現行法ニ止メントスルガ如キ、若クハ府縣參事會員ノ增員ト、市參事會員ノ增員トノ間ニ、何等ノ統一ナキガ如キ、或ハ又市町村會ノ定員ヲ增加シナガラ、府縣會ノ定員ニ付テ何等觸レナイガ如キ、吾々ハ斯樣ナル所謂統一ナキ、所謂有機的機能ノ渾然タル一致ヲシナイ所ノ修正案ニ對シマシテハ、遺憾ナガラ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、植原君ハ徹底的ニ改革スルコトハ、此際遠慮スルト云フ御話デアリマス、併ナガラ政友會ノ其徹底的デナイト云フ修正意見デスラ、既ニ私ガ指摘シタ通リニ、全體ノ統一全體ノ聯絡ガ無イノデアリマス、私ハ願クハ政友會諸君ト共ニ、今後地方分權ノ事ヲ論ズルナラバ、是等ノ問題ニ對シマシテ、深甚ナル用意ト愼重ナル準備ノ下ニ

出發シタイト思フノデアリマス（拍手）或ハ市町村長公選論ト云フガ如キハ、如何ニモ一見美シイ議論デアリマス、綺麗ナ議論デアリマス、私共ハ其議論ニ眩惑サレテ、サウシテソレニ近寄ッテ見ルト、爲ンゾ知ラン、其議論ハ唯〻一本立デアル、何等ノ聯絡モ、何等ノ統一モ無イ、丁度東京デ今頃流行ル所ノ「バラク」普請ノ「ショーウインドー」ノヤウナモノデアルマイカト思フノデアリマス（拍手）吾々ハ要スルニ政府提案ノ今日ノ地方制度ハ、即チ普通選舉ノ結果ニ依ル選舉權ノ問題ト、サウシテ郡役所廢止ニ依ル所ノ其結果ガ重大ナル原因デアルト聞イテ、之ニ絶對贊成ヲスルト共ニ、吾々ハ今日直ニ出來ルコト、今日即今ニ於テ可能デアリ、且ツ實行ノ範圍ニ屬スルコトニ於テ、修正意見ヲ提案シタ次第デアリマス、即チ委員長ノ報告ノ修正意見ハ、自治機關ノ整齊デアリ、自治權ノ擴張デアル、吾々ハ此程度ニ於テ、今日ノ地方制度ニ贊成ヲ表スル者デアリ、即チ委員長ノ報告ニ對シマシテ、全體的ノ贊成ヲ表シ、而シテ政友會ノ御提案ニ對シテ、遺憾ナガラ反對ノ意ヲ表スル者デアリマス（拍手）

○副議長（小泉又次郎君）　赤間嘉之吉君

少數者意見書

一北海道地方費法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト認ムルニ依リ少數者意見書及提出候也

大正十五年三月十二日

北海道地方費法中改正法律案委員少數意見者

赤間嘉之吉　外九名

（小字ハ少數意見）

北海道地方費法中改正法律案中左ノ通修正ス

第八條第一項中○「二級町村長書記給料旅費」及「一戸長役場費及戸長以下給料旅費及諸給與」ヲ削リ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ外公共事務ノ爲費目ノ增加ヲ要スルトキハ北海道會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ム

〔赤間嘉之吉君登壇〕

○赤間嘉之吉君　私ハ植原君ノ修正意見ニ贊成ヲ致シマシテ、委員長ノ一部ノ報告ニ反對ヲ致シタイト思ヒマス、今回政府ガ地方制度ヲ改正致シマシテ、地方議會ノ選舉權、被選舉權ノ擴張ト同時ニ、地方自治權ノ擴張ヲ企テマシタ、之ニ付キマシテハ、大體ニ於テ贊意ヲ表スル者デゴザイマスルガ、併ナガラ先刻植原君ガ申シマシタヤウニ、甚ダ不徹底ナル所ガアル、只今由谷君ガ政友會ノ修正案ニ對シテ、細カニ反對ノ意見ヲ指摘セラレマシタケレドモ、之ニ付キマシテモ、後ニ一々辯駁ハ致シタイト思ヒマス、先ヅ植原君ノ修正意見ニ對シテ、大體ニ於テ贊意ヲ表シマスル所ハ、全體此市町村制ハ、明治二十一年ノ四月ニ發布セラレマシタモノデゴザイマシテ、當時市町村制ノ理由ナルモノガ其法律ニ附イテ居ル、之ヲ見マスルト云フト「地方自治體ハ其自治體ノ共同事務ニ任スヘキノミナラス一般行政ニ屬スルモノモ全國ノ統治ニ必要ニシテ官府自ラ處理スヘキモノヲ除クノ外ハ之ヲ地方ニ分任スルヲ得策ナリトス」ト云フ理由ガ書イテアッテ、非常ニ地方分權、地方自治權ノ擴張ト云フコトハ、明治二十一年ノ當時ニ於テ政府ハ見テ居ッタノデゴザイマスルガ、爾來歲ヲ經ルニ從ヒマシテ、段々此大趣意ニハ逆行致シマシテ、何時ノ間ニカ漸次地方分權ガ中央集權ニ傾イテ參ッテ居リマス、之ヲドウシテモ中央集權ノ弊ヲ打破致シマシテ、地方分權ノ主義ヲ擴張シナケレバナラヌト云フコトハ、我ガ政友會多年ノ主張デアッテ、大正八年ニ衆議院議員選舉法、即チ普選案ガ本議會ニ上程セラレマシタ時ニ於キマシテモ、當時ノ原内閣時代ニ於テ、政府及我黨ハ之ニ對シテ尚早意見ヲ唱ヘマシタ、此尚早意見ヲ唱ヘマシタノハ、衆議院議員選舉法ニ於ケル普通選舉ハ最モ望ム所デアルケレドモ、是ト併行致シマシテ、地方ノ自治權ヲ擴張シナケレバナラヌ、地方自治ヲ擴張致シテ、然ル後ニ中央ノ衆議院議員選舉法ヲ普通選舉ニ及バナケレバナラヌト云フコトハ、當時我黨ヲ代表致シテ我黨ノ代議士ガ此壇上ニ於キマシテ說明致シテ居リマス、政府モ亦當時之ニ說明致シテ居リマシタ、是故ニ自治權ノ擴張ト云フコトニ付キマシテハ、大體ニ於テ我黨ハ異議ハゴザイマセヌケレドモ、植原君モ前來申述ベマシタヤウニ、此度ノ改正ハマダ甚ダ不徹底デアル、此點ニ付テハ逐次申上ゲマスガ、第一ニ植原君ノ修正意見ニ對シテ由谷君ノ申述ベマシタ郡ニ關スル問題、折角現在ノ府縣制ニハ郡市ト云フ此郡上云フモノヲ認メテ居リマスガ、之ニ對シテ政府委員ノ答辯ハ、將來郡ヲ認ムル必要ガアル場合ニハ、各省別々ニ之ヲ適當ノ處置ヲ執ルト云フコトヲ答辯サレテ居リマスケレドモ、併ナガラ現在ニ於テ、縣ノ下ニ直ニ町村ト云フコトニナッテ參リマスルト云フト、總テノ方面ニ於テ非常ニ不便デアルト云フコトハ、植原君モ一應指摘サレマシタケレドモ、之ヲ細カニ申シマスルト、第一遞信省ノ所管ニ於ケル郵便ノ配達デアル、何縣ノ何村ト云フコトニシテ郵便ニ出シマシタ所ガ、其縣内ニ同ジ村名ナリ町名ナリガ五ツナリ三ツナリアルト、ドコニ持ッテ行ッテ配達シテ宜イカ分ラヌコトニナル、又司法事務ノ方カラ申シマスルト、裁判所或ハ檢事局カラ町村役場ニ照會致シマス場合ニ於テモ、或ル戸籍謄本ヲ町村役場カラ取ルト云フ場合ニ、何縣ノ何村ト云フコトニナッテ參リマスルト、一縣ノ中ニ數箇町村同一名ノ町村ガゴザイマスルト、ドノ町村デアルカ分ラヌコトニナッテ參リマスルシ、或ハ其他ノ戸籍事務ノ如キ、兵事々務ノ如キ、幾多ノ弊害ヲ生ズルト云フコトハ、今日ヨリ分リ切ッタ事デアル、ソレ故ニ私ハ必シモ府縣制ノ上ニ認メナケレバナラヌト云フノデハアリマセヌケレドモ、政府ハ我黨ノ質問ニ對シテ定メシ勅令ヲ以テ之ヲ規定スルト云フコトヲ答ヘルデアラウト思ヒマシタガ、必要ニ應ジテ政府ハ何等カノ處置ヲ執ルト云フ漠然タル答ヲ致シテ居リマス、ソレ故ニ統一ヲ致シマシテ、何カ郡ト云フモノヲ認メル必要ガアル、現在ノ府縣制ニ於キマシテハ、郡市ト云フコトガ規定シテゴザイマスガ故ニ、郡ト云フモノヲ存置致シテ、差當リ各省或ハ各局又人民一般ニ蒙ル所ノ非常ナル不便ヲ除去シヤウト云フノガ、郡市ト云フモノヲ府縣制ノ上ニ存續シタイト云フ吾々ノ意見デゴザイマス、由谷君ハ郡ハ從來行政區劃デアッタ、之ヲ今後既ニ行政區劃デナイト云フコトニナレバ、之ヲ存置シテ置ク必要ハ無イト云フコトヲ言ハレタヤウデアリマスケレドモ、只今申上ゲマス理由ニ依リマシテ、行政區劃トシテノ郡ハ、强イテ認メナクテモ宜イケレドモ、幾多ノ支障ガアル故ニ、此法律ノ上ニ郡ト云フモノヲ認メテ置イテ、或ハ勅令デ定メテモ宜シウゴザイマスケレドモ、政府ガ統一致シタ所ノ或ハ勅令ヲ出ストカ、法律ヲ出スト云フコトヲ明言致シマセヌガ故ニ、吾々ハ府縣制ノ上ニ郡ト云フモノヲ存置致シタイト思ヒマス、次ニ由谷君ハ府縣會ノ選舉長、數十箇町村ヨリ成ル所ノ地方ニ於テ、或ハ選舉長ヲ町村長ニスルノハ、黨派ノ關係ガアル、或ハ黨弊ノ甚シイ處ニナルト、是ガ爲ニ幾多ノ弊害ヲ生ズルト云フコトヲ申述ベラレテ、私共ノ修正案ニ對シテ反對意見ヲ述ベラレマシタケレドモ、私共ノ修正致シマシタノハ、市長若クハ府縣知事ノ指定シタル所ノ町村長若クハ官吏ト云フコトニ致シテ置キマシテ、必シモ町村長バカリデハナイ、今日ノ狀態カラ申シマスト、或ハ黨弊モゴザイマセウ、ソレガ爲ニ或ル町村長ヲシテ指定ヲ致シマスルト云フト、非常ナ弊害ヲ生ズル所モゴザイマセウ、ソレ等ノ所ハ此條項ニアル所ノ官吏ヲ指定スレバ、一向差支ハゴザイマセヌ、或ル地方ニ於キマシテハ、町村長ノ中ニ非常ニ有力ナル人ガアル、德望ノアル人ガアル、地方ノ或ハ理事官トカ屬官トカ云フヤウナ役人ヲシテ指定致シマスルヨリモ、其地方ニ於ケル所ノ德望ノアル町村長ヲ知事ガ指定致シテ、之ヲ選舉長ニ致シマスル方ガ、或ハ理事官ヲ指定スル、或ハ屬官ヲ指定スルヨリモ、寧ロ適當ナル所ノ選舉長ヲ得ラレルコトト私共ハ考ヘテ

居リマス、(拍手)此故ニ必シモ町村長トハ限ラズシテ、町村長或ハ官吏ノ中カラ府縣知事ハ適當ナ者ヲ指定スルト云フコトニ致シマシタ方ガ、法ノ運用ノ上ニ於テ、餘程範圍ガ廣イト考ヘテ居リマス(拍手)次ニハ府縣會議員或ハ市町村會議員ノ定數ニ滿タザルト云フノ文字ニ付テ、吾々ノ修正案ニ對シテ「滿チサルトキ」ト反對ノ意見ヲ申述ベラレマシタ、或ハ吾々政友會ノ者ハ、切メテ中學校ノ教科書デモ看テ見レバ宜イト云フコトヲ仰セラレマシタガ、今ノ教科書ノ中ニ於キマシテモ、或ハ康熙字典、或ハ其他ノ古イ書物ノ上カラ申シマシタナラバ、今日ノ小學校ノ教科書ノ假名遣ノ上ニ於テ、餘程誤ッテ居ル事モアル、是ハ昨年ノ議會ニ於テ、我黨ノ松山常次郎君カラ指摘致シマシタ次第デアリマス、今日ノ教科書ヲ看テ見マシテモ、餘程誤ッテ居ル事ガ多イ、又假名遣ヲ文部省ガ統一スル爲ニ、サウ云フモノニ拘泥セズシテ、教科書ノ假名遣ノ統一ヲ致シテ居リマスルヤウデゴザイマス、既ニ小學校ノ教科書スラモ、昔ノモノニ拘泥シナイデ、新シイ假名遣ヲ定メテ居リマスルガ、只今吾々ノ修正致シマシタ所ノ定員ノ三分ノ二ニ滿タサルトキ——之ヲ從來「滿タサルトキ」トアルノヲ、殊更ニ政府ハ「滿チサルトキ」ト云フコトニ訂正ヲシテ此度法律ヲ出シテ居リマスガ、或ハ是ハ法制局ノ參事官デアルカ、或ハ內務省ノ御役人デアルカ、國語ノ假名遣ヲ調ベテ見テ、是ハ「滿チサル」デナケレバナラヌ、「滿タサル」デハイケナイト云フコトニ始メテ氣ガ付イタカモ知レマセヌガ、此「滿タサルトキ」ト云フ文字ハ、明治二十一年ノ四月ニ發布セラレマシタ所ノ町村制、ソレニ始メカラ此「滿タサル」ト云フコトニ使ヒ來ッテ居ッテ、既ニ今日マデ四十年間モ「滿タサル」ト云フコトヲ遣ヒ馴レテ來テ、吾吾國民ハ何等ノ不便ヲ感ゼナイ、ソレヲ誤テ居ルト云フ考ヲ持ッテ居ナカッタノデアリマス、國民ハ既ニ「滿タサル」ト云フ文字ニモウ馴レ來ッテ居ル、ソレガ或ハ國語ノ假名遣ノ上ニ於テ誤ッテ居ルカドウカト云フコトヲ深ク詮鑿シナイデモ宜シイト思ヒマス植原君ノ指摘致シマシタヤウニ「但シ」ト云フ「シ」ヲ附ケルガ宜イカトカ、附ケナイガ宜イトカ、「其ノ」ノ「ノ」ノ字ヲ附ケルガ宜イトカ附ケナイガ宜イトカ「此ノ限リニ在ラス」ト云フ所ニ「リ」ヲ附ケルガ宜シイ、附ケナイガ宜シイト云フヤウナ、法制局アタリデハ細カナ假名遣ノ詮鑿ヲ始終致シテ居リマスケレドモ、既ニ吾々國民ガ四十年間馴レ來ッテ居ル所ノ文字ヲ、假ニ誤リガアルト致シマシテモ、此際之ヲ改正スル必要ガ何處ニゴザイマセウカ(拍手)而モ之ヲ改正スルト云フナラバ、府縣制、市制、町村制ノ全體ニ亙ッテ此改正ヲスレバ宜シイケレドモ、或ル條項ニハ矢張此「滿タサル」ト云フコトヲ殘シテ置イテ、一部分ダケヲ改正スルト云フコトハ、非常ニ不徹底デアルト考ヘテ居リマス(拍手)ソレデ吾々ハ既ニ四十年間使ヒ馴レテ居リマスル所ノ「滿タサル」ト云フ所ノ文字ヲ其儘存續致シタイト云フノガ、吾々少數ノ意見デアリマス(「モウ宜シイ」「簡單」ト呼フ者アリ)由谷君ノ反駁致シマシタ所ダケハ說明ヲスル必要ガアリマス、ドウゾ十二時マデハ御辛抱ヲ願ヒタイ、府縣會ガ公益ニ關スル意見書ヲ內務大臣ニ呈出スルト云フ此條項ヲ、吾々ハ主務大臣ト云フコトニ修正ヲ致シタイノデアリマス、是ハ植原君ガ提案理由ニモ申述ベマシタヤウニ、各省ニ向ッテ府縣會ハ意見ヲ呈出スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、各省ニ向ッテ意見書ヲ呈出スル事柄ト云フモノハ、或ハ各省ニ亙ル事柄デゴザイマスルガ故ニ殊更ニ內務省ニ關係ノ無イ、必シモ內務省ヲ經ナイデモ、或ハ郵便ノ問題ナラバ、遞信省ニ持ッテ行ッテ宜シイ、兵事ニ關スル問題ナラバ陸軍省ニ持ッテ行ッテ宜シイ、海軍省ニ持ッテ行ッテ宜シイ、必シモ內務大臣ヲ經ナイデモ宜シイ問題デアル、殊更ニ內務大臣ニ呈出スルト云フコトニ致シマスルノハ、是ハ卽チ繁文縟禮デアル、是故ニ私共ハ其主管大臣ニ持ッテ行ッテ意見書ヲ呈出スルコトニ致シタイト云フ考デゴザイマス、主管大臣ニ意見書ヲ呈出致シマシテ、主管大臣ガ之ヲ地方官ヲ監督致シテ居リマスル所ノ內務大臣ニ合議スル必要ガアレバ、始メテ他ノ主管大臣カラ內務大臣ニ之ヲ合議シテ宜シイ、內務省ニ回覽スレバ宜シイト考ヘテ居ル、此必要モナイモノヲ悉ク內務大臣ニ出サナケレバナラヌト云フコトハ、甚ダ適當デナイト考ヘマスルガ故ニ、吾々ハ之ヲ修正致シマシタ所以デゴザイマス、由谷君ハ府縣會ノ府縣參事會ノ議長ガ、採決權ト議決權トヲ併セテ持ッテ居ルノハ不適當ナルガ故ニ、單ニ知事ヲ議長トスル府縣參事會ヲ認メテ、知事ヲ府縣參事會ノ議長トシテ、採決權ダケヲ持タスルト云フコトデゴザイマスガ、吾々ハ民意ヲ暢達スル上カラ考ヘマシテ、府縣參事會ナルモノハモウ官吏ヲ一切加ヘナイ、是ハ植原君ガ說明致シマシタ通リデゴザリマス、何ガ故ニ官吏ヲ——官吏タル知事ヲ府縣參事會ノ議長ニ殘シテ置カナケレバナラヌカ、理事者ト議決機關トハ此際吾々ハ一切引離レテシマッテ、民意ヲ暢達致シマスル上カラ、府縣參事會議長モ矢張府縣會議員タル府縣參事會員ガ互選ヲ致シマシテ、サウシテ議長ヲ定ムルト云フコトニ致シマシタ、知事ハ府縣參事會ニ決シテ何等ノ干涉ヲシナイコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、是ハ府縣制、市制及町村制ヲ通ジマシテ、或ハ市制ニ於テ、或ハ市制ハ勿論、今市會議長ヲ選擧致シテ居リマスルガ、町村會ニ於キマシテモ、施行機關ト議決機關トハ之ヲ別ニ致シマシテ、町村長ガ議長ニナルト云フ今日ノ制度ハスッカリ改メテ、町村會議員ガ議長ヲ選擧スル——互選スルト云フコトニ改メタイ、此意味カラ致シマシテ、府縣參事會ニ致シマシテモ、府縣參事會ノ議長ハ、參事會員ガ互選ヲスルト云フコトニ修正ヲ致シタイ、サウシテ始メテ或ハ縣民或ハ町村民ノ代表機關デアル所ノ意義ヲ徹底スル譯ニナルト思ヒマス、更ニ市會議員、町村會議員ノ定員ヲ吾々ハ增加致シマシタ、此增加ノ理由ニ付キマシテハ植原君モ說明致シマシタガ、今日ノ思想界ガ段々變遷シテ參リマスルシ、階級的ノ鬪爭ガ甚シクナッテ參リマシタ所ノ現狀ニ於キマシテハ、地方ノ小サイ區域ニナル程此軋轢ハ最モ甚シイ、或ハ町村ニ於テハ地主ヤ小作人トノ爭、資本家ト勞働者ノ爭ト云フ風ニ、非常ニ此階級的モ團體的ノ鬪爭ガ甚シクナッテ參リマス、隨テ此市會議員或ハ町村會議員等ノ數ヲ現在ノヤウナ小サイ數ニ致シテ居リマスルト云フト、或ル場合ニ於キマシテ此階級的ノ鬪爭ガ益々甚シクナッテ參リマスルガ故ニ、或ル一部ノ階級、一部ノ團體ノ人ハ、代表者ヲ出ス機會ガ無イヤウニナッテ、出スコトガ出來ナイヤウナコトニナッテ參リマス、此故ニ市會議員或ハ町村會員ノ數ヲ增加致シマシテ、此弊ヲ除去致シタイト云フノガ吾々ガ定員ヲ增加致シタル根本ノ觀念デゴザイマス(拍手)デ然ラバ府縣會議員ノ數ハ何故增サナカッタカト云フ御問デゴザイマシタガ、是ハデス、モウ縣下ト云フ風ニ廣イ區域ニナッテ參リマスト、或ハ一市內、或ハ一町村內ニ於ケルガ如ク殆ド弊害ガ無イト考ヘマスルガ故ニ、之ヲ此際强イテ改ムル必要ハ無イト考ヘマシタノデアリマス(拍手)町村會ノ議長、之ヲ現在ノヤウニ町村長ヲ議長トスルノヲ原則ト致スト云フ、之ハ與黨側ノ御修正ノ御意見デゴザイマスルガ、特別ノ町村ニ町村條例ヲ設ケテ、町村會議長ヲ町村會議員ノ中カラ選擧シテ宜シイト云フコトニ致サレテ居リマス、隨テ吾々ノ提出致シマシタ所ノ修正案ニ致シテ、從來歷史的ニ圓滿ナル發達ヲ致シテ居ル所ノ此自治ヲ脅威スルト云フヤウナコトヲ仰セラレマシタケレドモ、是ハ誤タル考デアルト私ハ考ヘテ居ル、現在市長或ハ町村長ハ、町村會議員ガ選擧致シテ居リマス——市會或ハ町村會ニ於テ選擧致シテ居リマスルガ、現ニ此各地方ノ市ニ於キマシテモ、市會議員ガ選擧致シマスル所ノ市長ナルモノハ、ドウ云フ人ヲ物色致シマスルカト云フト、大抵市會ニ於テハ市長ノ銓衡委員ナルモノヲ設ケテ、其銓衡委員ナル人ハ、市長ノ候補者ニナルベキ人ヲ知ラナイ、有ユル方面ヲ物色致シマスケレ

ドモ、適當ナ人ガ無イ、適當ナ人ガ出來ナイ、ソレ故ニ或ハ内務省ニ出テ、參ッテ内務大臣ニ聞クカ、或ハ内務省ノ局長ニ聞クカ致シテ、漸ク物色致シタノハ地方官ノ古手デアル、其内務大臣或ハ内務省ノ局長邊リカラ選定シテ貰ッタ所ノ市長候補者ナルモノハ、其銓衡委員タル人ハ一面識モナイ、アレガ宜カラウ、是ガ宜カラウト云フ話ヲ聽イテ、初メテ其人ニ會ッテ見ル、唯一遍會ッテ見テ成程アノ人ハ宜サウデアルト云フコトデ、直ニ銓衡委員ハ之ヲ決定致シテ行クノガ通常ノ狀態デアル、ソレガ故ニ市長ヲ選擧致シマシテ、一年カ二年モ經タナイ中ニ、切角選擧致シテ居ル所ノ市會議員ガ既ニ市長ニハ飽キガ來テ、モウアノ市長デハイケナイ、市長ハ不信任デアルト云フヤウナ聲ガ段々起ッテ參リマシテ、全國ノ各市ヲ通ジテ見マシテモ、市長ガ一任期續クカ續カヌカ、再選セラルヽ市長ハ至ッテ少イヤウナ狀態デアル、斯ウ云フヤウナコトデハ、ドウ致シマシテモ市町村ノ事務ヲ圓滿ニ遂行スルト云フコトハ私ハ出來ナイト考ヘテ居ル、ソレデ町村長ニ致シマシテモ、町村會議員ガ之ヲ現在ニ於テハ選擧致シテ居リマスル、サウシテ之ニ町村會ノ議長ヲ兼ネサシテ居リマスルガ故ニ、町村會タル議決機關ト、執行機關タル所ノ町村長ノ間ガ、或ル場合ニ於テハ圓滿ニ參リマセウケレドモ、ソレガ爲ニ色ヽナ弊害ガ生ジテ來ルト云フコトモ亦考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、或ハ市ニ於キマシテハ市長ト市會議員ト馴合ッテ、色ヽナ弊害ガ生ジテ居ル、或ハ時ニ依テハ、砂利ヲ喰ッタリ硝子ヲ喰ッタリスルヤウナコトモ生ジテ居リマスル、斯ウ云フコトハドウシテモ此議決機關ト執行機關トハ別ナモノニシナケレバナラヌシ、又町村會ノ議長ト町村長トハ別ナモノニ致シマシテ、議決機關ト執行機關トハ、ハッキリ之ヲ別ニ致シマスルシ、又町村長ト町村會議長トヲ兼ネサレテ置キマスルト云フト、只今申上ゲマスルヤウニ色ヽナ之ニ弊害ノ伴フト云フコトハ當然免レナイ次第デゴザイマスル、町村長ガ議案ノ編成ヲ致シ、之ヲ町村會ニ提案致シマスルト云フト、之ヲ決議ヲスルニハ町村長ガ其議長ノ席ニジット坐ッテ居ッテ、サウシテ是ハ自分ガ提案致シタノデアルカラ、之ヲ是非共議決シテ呉レト云フヤウナ風ニナッテ參リマスルト云フト、其間ニ種々ナ弊害ガ生ジテ參リマシテ、却テ町村自治ヲ圓滿ニ遂行スルコトガ出來ナイヤウナ結果ニナッテ參リマスト思ヒマス、是故ニ町村會ト議長ト町村長トハ全ク別ナモノニ致シタイ、次ニハ此市參事會員ノ增員ニ由谷君ハ反對ヲセラレマシタヤウデゴザイマス、是モ縣會議員、府縣參事會員ノ定數ヲ、府縣會議員ノ數ニ按分致シマシテ、府縣會議員ノ四分ノ一ヲ以テ參事會員トスルト云フヤウニ、同ジヤウナ理由デ以テ參事會員モ增加致シマシタノデゴザイマス、次ニハ町村長ノ公選、此市長及町村長、之ヲ公民ノ直接選擧ニスル、之ニ對シテ由谷君ハ反對セラレマシタガ、將來ハ市町村長ハ公選セラルベサモノデアルト云フコトニハ反對ハシナイト云フ御意見デアッタケレドモ、現在ノ制度ヲ其儘ニシテ市町村長公選ノミヲ實行スルノハ甚ダ適當デナイト云フ御意見デゴザイマシタガ、先程カラモ申述ベマシタヤウニ、現在ノヤウニ市會或ハ町村會デ以テ市長ヲ選擧シ、町村長ヲ選擧スルト云フコトニ致シテ置キマスルト、幾多ノ弊害ガ生ジテ參リマス、又民意ヲ暢達スル上カラ申シマシテモ、間接選擧ニ致シマスルト云フト、市公民或ハ町村公民ハ自分ハ之ヲ適當デナイト思フ所ノ市長或ハ町村長ヲ、市會或ハ町村會デ選擧スルト云フヤウナコトニナッテ參リマス、市公民ノ多數、町村公民ノ多數ハ、此市長或ハ町村長ノ候補者ハ、多數ノ人ハ信任シテ居ナイ人ヲ市會ガ選擧ヲシ、町村會ガ選擧ヲスルト云フコトニナッテ參リマス、或ハ市民大會トナリ、或ハ町村民ノ大會トナッテ、折角市會デ選擧致シマシタ、或ハ町村會デ選擧致シマシタ所ノ市長或ハ町村長ニ對シテ、市民或ハ町村民ハ之ニ大反對ヲスルヤウナ結果ヲ生ジテ參リマスル(拍手)斯樣ナ事ハドウシテモ市長ヲ市公止ノ直接選擧トシ、町村長ヲ町村公民ノ直接選擧ト致シマシテ、斯樣ニ致シマスルト云フト、初メテ市民或ハ町村民ノ意見ガ市長ノ選擧ノ上ニ現ハレ、町村長ノ選擧ノ上ニ現ハレマシテ、市公民ノ望ム所、町村公民ノ望ム所ノ適當ナル候補者ヲ出スコトガ出來マスル、現在ノヤウニ市會或ハ町村會ノ少數ノ人ガ選擧ヲ致シマスルト云フト、非常ナル不公平ガ生ジテ參リマス、只今由谷君ノ御話ニハ明治初年ノ頃、マダ國會開設ノ請願ノアル頃ニ政府ニ於キマシテハ地方官會議ヲ開イテ、此地方官會議デ以テ現在ノ帝國議會ニ於ケルヤウナ會議ヲ開イテ見タコトガゴザイマスルガ、丁度是ト同ジヤウナ結果ニナルト思ヒマスル、地方官ガ集ッテ民意ヲ代表スルト云フヤウナ意味カラシテ、以前ハ地方官會議ヲ開イテ、丁度今日ノ帝國議會ニ代ルヤウナ會議ヲ致シマシタケレドモ、決シテ此地方官ナルモノガ民意ヲ代表スルモノデハナイ、帝國議會ガ國民ノ意思ヲ今日代表スルヤウニナリマシタノハ、吾々多數ノ國民ガ此選擧權ヲ有シテ、初メテ衆議院議員ヲ中央ニ送リ、帝國議會ニ於テ初メテ民意ヲ代表スルコトガ出來ルヤウニナッタノデマリマス、今由谷君ノ仰セラレマシタ所ノ意味ハ　丁度矢張此地方官會議ノ主義ノヤウナ意味ニナッテ參リマスト私ハ考ヘテ居リマス、此故ニ市長及町村長ハ市公民及町村公民ノ直接選擧ト致シマシテ、サウシテ初メテ此萬機公論ニ決スルト云フ趣意ヲ貫徹スルコトガ出來ルト私ハ考ヘテ居リマス、大體ニ於テ由谷君ノ御指摘ニナリマシタノハ是ダケデアッタト思ヒマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、我黨ハ中央集權ノ弊ヲ改メテ、地方分權、自治權ノ範圍ヲ擴張スルト云フ、此論據カラ出發致シマシテ、修正案ヲ提出致シテ居リマス、此主義ハ單リ地方制度ノミナラズ、總テノ方面ニ於テハ我黨ハ此主義ハ一貫致シテ居リマスル(拍手)先般稅制整理ニ於キマシテ我黨ノ先輩ノ諸君ガ主張セラレマシタ、或ハ委員會ニ於テ、本會議ニ於テ、主張致シマシタヤウニ、地租委讓ノ問題ノ如キ、或ハ先年義務教育費國庫負擔ノ途ヲ開クヤウニ吾々ガ主張致シマシタノハ、全ク此中央集權ノ弊ヲ矯メ、地方分權、自治權ノ範圍ヲ擴張スルト云フ、此主義カラ出發致シマシテ地租委讓ヲ唱ヘ、或ハ義務教育費國庫負擔ノ途ヲ開クヤウニ致シマシタ主義デゴザイマシテ、單リ地方制度ノミ許リデハゴザイマセヌ、總テノ租稅制度ニ向ッテモ其意見ヲ主張致シテ居リマスル、府縣參事會カラ官吏ノ參事會員ヲ全然除クト云フコトニ付キマシテハ、先刻申述ベマシタ通リデゴザイマスガ、與黨ノ諸君ノ修正案ニハ參事會ノ議長ハ矢張府縣知事ヲ認ムルト云フコトニナッテ居リマス、府縣ノ高等官二名ノ參事會員ハ是ハ全ク削ッテシマッテ、サウシテ府縣知事ダケヲ議長ニ殘シテ置クト云フコトハ、折角是マデ修正ヲスルト云フコトニ御企ニナリマシタナラバ、百尺竿頭モウ一歩ヲ進メテ、セメテ此府縣知事ト云フコトモ取除ケニナリマシタナレバドウデゴザイマセウカト思ヒマス、斯樣ニ致シマシテ初メテ民意ヲ暢達スルコトモ出來マスル(拍手)ソレカラ與黨側ノ與黨諸君ノ希望條件ト致シマシテハ、三部制府縣ノ參事會員ヲ十二名トスル勅令ノ制定ヲ希望セラレテ居リマスルガ、既ニ此際總テノ法律案、府縣制、市町村制ニ向ッテ修正ヲ企テラレマシタナラバ、此法律デ以テ修正ノ出來ル所ノ此三部制ノ府縣參事會員ヲ十二名トスル勅令ノ制定ト云フコトハ、既ニ十二名ト云フコトニ指定致シマスレバ、必ラモ勅令デナクトモ法律デ以テ宜シイノデゴザイマスカラ、何故モウ一歩進ンデ之ヲ法律ニ修正ヲ御企ニナラナカッタノデゴザイマセウカト思ヒマス(拍手)ソレカラ從來市長ハ有給市長ダケヲ認メテ居リマシタケレドモ、我黨ノ修正案ハ有給市長ノ外ニ名譽職ノ市長モ認メテ居リマスル、是ハ一市内ニ於テ非常ナ德望家ガアリ、市内ニ於テ有力ナル人ガアッテモ、現在有給制度デアルガ爲ニ市長トナルコトヲ肯ジナイ、之ヲ名譽職ノ市長ヲ認メマシテ、有給市長ト名譽職ノ市長ト相併セテ之ヲ實行スルヤウニナリマスル

ト、有給ノ市長ヨリモ其土地ニ德望ノアリ、勢力ノアル有力ナル所ノ市長ヲ選擧スルコトガ出來テ、市ノ自治ヲ圓滿ニ遂行スルコトガ必ズ出來ルト私共ハ確信致シテ居リマス(拍手)此故ニ市長ニハ有給市長ノ外ニ名譽職ノ市長ヲ認ムルト云フコトニ致シテ居リマス、此點ニ付テハ與黨ノ諸君ノ間ニモ或ハ政友本黨ノ諸君ノ間ニモ、贊意ヲ表セラレテ居リマシタケレドモ、黨議ニ制セラレテ遂ニ是ニハ贊成セラレナカッタヤウデゴザイマスル(拍手)併ナガラ或一人ノ人ハ此採決ノ際ニハ起立ヲセラレテ居リマシタヤウデゴザイマス、與黨ノ諸君ハ既ニ政府ノ提案デアルガ故ニ、縱令自分ニハ惡イト云フコトヲ御考付キニナリマシテモ、政府案ハ通サナケレバナラヌ、甚シク修正スルノハ政府ニ痛棒ヲ加ヘル所以デアルト云フ考デアルカ致シマシテ、吾々ノ修正案ノ趣旨ニハ大體ニ於テ御贊成ニナッテ居リマシタ所ノ御方モ、之ニ贊成ヲセラレナカッタヤウデゴザイマスルガ、願クハ是ハ一黨一派ノ問題デハナイ、黨派ノ問題デハナイ、既ニ黨派ノ問題デナイト云フコトニナリマシタナラバ、諸君モ胸襟ヲ披イテ——吾々ノ修正案ニ對シテ贊成スベキ所ハ胸襟ヲ披イテ御贊成ニナッテ、吾々ノ修正案ニ對シテ起立ノ際ニハ御贊成ニナル方ガ國民ノ爲メ、地方ノ爲ニ適當デアルト私ハ考ヘテ居リマス(拍手)更ニ附帶條件トシテ——希望條件ト致シマシテ與黨カラ提案セラレマシタ此市町村長ノ優遇ノ問題、市長及町村長ヲ優遇シタイ、現在ノ待遇甚ダ薄イカラ、之ヲ物質的デナイ、其他ノ方面カラ優遇ノ途ヲ講ゼラレタイト云フコトヲ、委員會ニ於テ政府ニ質問ヲセラレマスルシ、更ニ最後ニハ此希望條件トシテ提案セラレマシテ、是ニハ吾々ハ固ヨリ同意デゴザイマスル、贊成ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、ソレニ贊成ヲ致シマシタガ、私共ハ市長モ町村長モ勿論優遇ヲ致サナケレバナリマセヌケレドモ、更ニ進ンデ助役其他ノ吏員ニ向ッテモ、モウ少シ優遇ノ途ヲ開キタイ思ヒマス、何ト言ヒマシテモ、國政ヲ圓滿ニ遂行致シマスル其根本ハ、地方自治デアル、此地方自治ヲ圓滿ニ遂行スルガ爲ニハ、町村長ヲ優遇シ、或ハ助役ヲ優遇シ、町村吏員ヲ優遇スルコトガ、其地方自治ヲ圓滿ニ遂行スル上カラ最モ必要ナコト、思ヒマス、ソレ故ニ吾々ハ此優遇ノ途ハ、市町村長バカリデナク、更ニ進ンデ其下ノ吏員ニモ及ビタイト云フ考ヲ持ッテ居リマスル(拍手)前來申述ベマシタヤウニ、吾々ノ修正意見ハ大分多岐ニ亙ッテ居リマスル、多岐ニ亙テ居リマスルガ、是ハドウシテモ、此モット進ンデ府縣制、或ハ市制、町村制ハ根本的ニ改正ヲ致シタイト考ヘテ居リマスケレドモ、今俄ニ之ヲ修正ヲスルト云フコトハ、時日ガ許シマセヌノデゴザイマスカラ、吾々ハ此僅カノ範圍ニ於テ修正ヲ致シテ居リマスケレドモ、此修正致シテ居リマス箇條ハ、最モ現在ノ狀態ニ於テ必要デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマスルノミナラズ、與黨ノ諸君ニ於キマシテモ、既ニ委員會ニ於キマシテハ、質問ノ間ニ於テ此吾々ノ修正意見ニ贊成スルヤウナ意味ノ御質問ガアッタヤウデゴザイマス(拍手)既ニ起立ノ際ニ於キマシテハ、或ル一人ノ委員ハ、吾々ノ修正意見ニ對シテ贊成ヲ表セラレテ、起立ヲシテ居ラレマシタ位デアリマスカラ、諸君ニ於キマシテモ、更ニ胸襟ヲ御開キニナリマシテ、吾々ノ修正意見ニ對シテ御贊成アランコトヲ希望致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君)　加藤鎌五郎君

(加藤鎌五郎君登壇)

○加藤鎌五郎君　諸君、私ハ茲ニ委員長ノ修正意見ニ贊成ヲ表シ、併セテ此機會ニ於キマシテ、委員長修正ノ骨子ハ我ガ政友本黨ノ主張デアリマスルガ故ニ、此機會ニ於テ之ヲ明ニ致シテ置キタイト存ジマス(拍手)今回ノ地方制度改正ノ主ナル點ハ、若槪內務大臣ガ先日御說明ニナリマシタル如ク、一ハ選擧權及被選擧權擴張デアル、二ハ選擧制度ノ改正、三ハ自治機關ノ整齊、四ハ自治權ノ擴張デアルノデアリマス、一應是等ノ事ヲ拜聽致シマスルト、自治制ノ上ニ大ナル何物カアルヤウデゴザイマスルガ、選擧權ノ擴張ト云ヒ、選擧制度ノ改正ト云フガ如キコトハ、衆議院議員選擧法改正ノ結果ヲ受ケタモノデアリマシテ、此處ニ特ニ新シク、吾等ハ之ヲ喜ブ程ノコトハナイノデ、當然ノ歸結デアルノデアリマス(拍手)仍テ此案ノ生命、最モ大ナル意義ト云フモノハ、自治權ノ擴張デアルト云フコトヲ、內務大臣ガ說明サレタノデアリマシテ、私共モ自治權ノ擴張ノ聲ヲ大ニサレルコトニ依リマシテ、定メテ大ナル自治權擴張アルコトヲ期待致シタノデアリマス、併ナガラ其內容ヲ調査スル時ニ於キマシテハ、擴張サレタル範圍ノ極メテ狹キコトニ大ナル失望ヲ禁ジ得ナイノデアリマス(拍手)自治權ノ擴張ト申シテ今回改正サレタノハ、自治權擴張ノ唯一枝葉末節デアルノデアリマス、而シテ根本ニ向ッテハ何等觸レザリシ事ヲ吾々ハ遺憾ト致スノデアル、何ヲカ枝葉末節ト云フカ、唯從來ニ於テ府縣知事ガ認可許可シタル所ノ些末ナル手續ヲ廢シタノデアルノデアリマス、一例ヲ申シマスレバ、現行府縣制ニ於キマシテハ、會議規則ヲ設クベシ、傍聽人取締規則ヲ設クベシ、而シテ會議規則ハ內務大臣ノ許可ヲ受クベシト規定シテアルノヲ、今回ハ此許可ヲ受クベシト云フノヲ止メタノニ過ギナイノデアリマス(拍手)市制ナドニ於キマシテハ、現行法ニ於キマシテハ、市役所ノ位置ヲ定メ、若クハ之ヲ變更セントスル場合、區役所ノ位置ヲ定メ、若クハ之ヲ變更セントスルガ如キ此些末ナル手續ヲ廢サレタノデアリマス、斯ノ如キ廢サレタルモノガ二十位アリマスルガ、是ハ自治權ノ擴張ノ一小部分デアリマシテ、唯、事務ノ簡捷ヲ圖ラタト云フニ過ギナイノデアリマシテ、是レ吾々ガ今回ノ地方制度擴張ニ對シテ大ナル失望ヲ爲シタト云フ點、(卽チ是デアルノデアリマス(拍手)

(此時小泉副議長議長席ヲ退キ粕谷議長代リ著席)

私共ハ自治權ノ擴張ヲ政府ガ聲明サレルナラバ、今ノ府縣制ニ對シテ大ニ擴張ノ手ヲ染メナケレバナラヌト思フノデアリマス、只今ノ府縣制ハ、是ハ自治制ト謂フベキカ他治制ト謂フベキカデアリマス、卽チ其首腦者タル所ノ知事ハ官僚デアリマス、而シテ執行機關ノ主ナルモノハ、悉ク地方團體ト何等ノ交涉ノ無イ所ノ是亦官僚デアル、事務ヲ執ル所ノ者モ、殆ド全部地方自治團體ト何等ノ關リ無イ所ノ官吏デアルノデアリマス、斯ノ如クニシテ自治トハ稱シナガラ、府縣會ノ權限ハ唯、財政ニ關スル事項豫算ニ關スル決議權ヲ持ッタダケデアリマス、是ハ自治制ト云フノデナクシテ、他治デアルノデアリマス、若シソレ之ヲ其比例ヲ言ヘヾ、八分他治官治、二分自治ノ狀態デアルノデアリマシテ、茲ニ大ナル改正ヲ施スニアラズンバ、自治權ノ擴張ナド、云フコトハ吾等ハ言ヘナイト信ズル者デアリマス(拍手)何ヲカ私共ハ府縣制ノ上ニ於テ、自治權ノ擴張ヲドノ邊ニ伸スベキカ、卽チ只今ノ市制、町村制ニ於キマシテハ、此市制ノ十二條ニ於キマシテ市ハ市住民ノ權利義務又ハ市ノ事務ニ關シ市條例ヲ設クルコトヲ得」トアルノデアル、而シテ市制ノ四十一條ニ於テハ「市會ハ市ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス」町村制ニ於キマシテモ亦十條ニ同樣ナ事ガ規定シテアルノデアリマス、卽チ此府縣制ニ於キマシテモ眞ニ自治權ノ擴張ヲ爲サント致シマスレバ、府縣ノ一切ノ事件ヲ決議シ、府縣ノ條例ヲ此市町村制同樣ニ設クルコトヲ制定スルコト、或ハ之ヲ自治權ト申シマスカ、條例制定權ト申シマスカ、此處マデ及バナケレバナラナイノデアルニ拘ラズ、何等其邊ニ手ヲ著ケテナイコトニ對シマシテ、今回ノ地方制度改正ニ吾々ハ甚ダ遺憾ヲ感ズルノデアリマス(拍手)殊ニ私共ガ此府縣制ノ第八十二條第四項ニ於テ「府縣會若クハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ、又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ、理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メザルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ」トアル、卽チ是ハ原案執行ト云フコトデアルノデアリマス、固ヨリ府縣會ガ權限ヲ超エ、法律命令ニ違反シタル決議ヲ爲シマシタナラバ、原案執行ハ當然デハゴザイマスルナレドモ、唯、公益ニ反スル——害アリト認ムルト云フガ如キ漫然、漠然タル文字ヲ用ヰマシテ、府縣會ガ豫算ノ上ヨリ見テ否決シタルモノヲ、原案執行スルナドト云フコトハ、是ハ府縣會ノ意思ヲ無視シ、府縣會ノ決議ヲ蹂躪致シタルモノデアリマシテ、私共ハ全部原案執行ヲ廢セヨト云フノデハゴザイマセヌガ、斯樣ニ漠然タル文字ヲ用ヰテ府縣會ノ決議ノ意思ヲ無視蹂躪スルガ如キコトノナイヤウニ、此範圍ヲ相當明確ニシテ——此範圍ヲ狹メザルベカラザルモノギアルト信ズルモノデアリマスガ、此點ニ對シテモ何等ノ考慮ノサレザルコトハ、返ヘスヾヾモ今回ノ府縣制ガ自治權ノ擴張ト稱シナガラ、其實極メテ微小ナルコトニ對シテハ吾々ハ遺憾至極ノ言葉ヲ繰返サザルヲ得ナイノデアリマス(「ヒヤ〳〵」拍手)諸君我黨ノ先輩ハ此自治權擴張ノ爲ニ終始一貫努力致シタノデアリマス、床次總裁、小橋總

務ノ如キ、第一回ノ改正ニ當リマシテモ、第二回ノ改正ニ當リマシテモ、此地方制度自治權擴張ノ爲ニ努力致サレタノデアリマスガ、今回ノ此機會ニ於キマシテモ、右樣ノ主義ニ依リマシテ私共ハ茲ニ徹底セル修正ヲ致シタカッタノデアリマスルガ、何分委員會ノ日數ガ短クシテ、政友會ノ諸君モ言ハル、如ク、到底此短時日ニ全般ニ亙ッテ修正ヲスルコトノ困難デアルコトヲ信ジマシタガ故ニ、遺憾デハアリマスルガ、暫定應急ノコト、シ、他日今迄ノ立場ヨリ致シマシテ、適當ナル機會ニ於テ根本的ノ修正ヲ爲スト云フコトヲ聲明致シマシテ、三個ノ主ナル點ノ修正ヲ爲シタノデアリマス、卽チ第一ハ此參事會ノ權限ニ關シ、參事會ノ組織ニ關スルコトデアル、第二ハ府縣參事會員ノ定員ニ關スルコト、第三ハ市町村長ノ選任ニ關スルコトデアリマス、政友會ノ諸君ハ先刻來與黨ノ主張ト言ハレマスガ、與黨ハ斯ノ如キ主張ハシナカッタノデアリマシテ、原案ヲ與黨ハ維持シタノデアリマス、我黨ガ此三種ノ主張ヲ致シマシテ之ニ追隨致サレタノデアリマス（ヒヤヒヤ、拍手）此等ノ問題ニ對シマシテハ是ハ私共ハ暫定的應急策ト申シマスカ、是ハ現行制度若クハ今回政府ガ提出サレマシタル所ノ案其物ト較ベマスルト、格段相違デアリマシテ、自治權擴張ノ爲ニ大ニ貢獻シタルモノデアルコトヲ信ジマス（拍手）與黨ノ諸君及多數ノ委員諸君ガ我黨ノ主張ニ贊成サレタコトハ、私共ノ間ニ欣快ト致ス所デアリマス（拍手、笑聲）諸君既ニ此等ノ問題ハ多數ノ方々ヨリ先ニ相當紹介サレマシタガ故ニ、極ク簡單ニ私共ノ主張ノ在ル所ヲ申シタイト思フノデアリマス、只今ノ府縣制ニ依リマスレバ、參事會ハ府縣知事一名、高等官二名、名譽職參事會員ヲ以テ組織スルコトニナッテ居リマスルガ、今回ハ此官吏――高等官二名ヲ除イタノデアリマス、從來ニ於キマシテ未ダ縣會議員其他參事會員ニ於テ、法制行政ノ智識ノ乏シカリシ時ニ於キマシテハ、或ハ是モ必要デアッタカモ知レマセヌガ、最早今ノ時代ニ於テハ斯樣ナル必要ノナイコトヲ信ジマシテ、是亦我黨ハ此高等官二名ヲ除クコトヲ小橋總務ヨリ主張致サレタノデアリマス、而シテ政友會ノ諸君ハ議長デアル所ノ知事モ之ヲ除クベシト云フノ意見デアリマスガ、最早二人ノ手足デアル所ノ高等官ヲ除イテ置ケバ、知事ハ唯、議長デアル、可否同數ノ場合採決スルノミデアリマシテ、唯、最早殘骸ガ議長席ニ横ッテ在ルガ如キモノニ、斯樣ナルコトハ大シテ差支ナイコトデアリ、是ガ又當然デアルト思フノデアリマス、而シテ此現行法以上ニ、今回ノ政府提出ノ改正案ハ府縣知事ガ議長トシテ採決權ノ外ニ、尙ホ議決權ヲ有スルト云フコトニナリマス、故ニ是ハ却テ自治權ノ擴張如キデナク、寧ロ縮少ト云フ意味ニナルノデアリマス、例ヘバ此三部制ノ所ニ於キトシテ、名譽職參事會員ハ五人デアル、其時ニ此一人ガ知事提出ノ原案ヲ贊成致セバ、ソレガ通過スルト云フ有樣ニナルノデアリマス、何トナレバ一人ニ對シテ高等官ガ二名加ハリ、更ニ知事ガ一名加ッテ、四票ト四票ニナル、ソコデ採決權ヲ持ッテ居ル知事ガ提出ノ原案ヲ認ムルコトニナルノデアリマスガ故ニ、今回ノ提案ハ參事會ニ對シマシテハ自治權ヲ却テ縮小シタルコトニナルノデアリマス、仍テ此點ハ三派モ一致致シタルコトデアリマスルガ、參事會ノ議長タル知事ハ唯、採決權ヲ有スルノミト致シタノデアリマス、次ニ參事會ノ定員ヲ殖シマシタルコトハ、一面ニ於テ高等官ヲ除キマシタル埋合セモアリマスガ、又一面ニ於テ府縣會議員ノ多數ノ意思ニ合致セシムル爲ニ、參事會員ノ數モ多クスル、又府縣會ノ意思ヲ反映セシムル上ニ於キマシテモ適當デアルト信ジ、之ヲ十名ニ增スコトニシ、三部制ノ所ニ於キマシテハ、先刻モ委員長報告ノ通リ十二名――勅令ヲ以テ十二名トシ、之ヲ市郡折半スルト云フ希望ヲ我黨ヨリ附シ、是亦多數諸君ノ贊成ヲ得タコトデゴザイマス、第三ニ市町村長ノ選擧ニ關シマシテハ、只今ハ市制ニ依リマスレバ、市長ヲ選擧セントスルトキハ內務大臣ノ命令ヲ受ケテ、サウシテ三人ノ候補者ヲ選擧推薦スルコトニナッテ居ルノデアリマス、苟モ自己ノ信ズル所ノ市長ヲ自治團體ガ選擧スルニ、內務省カラ命令ヲ受ケテ、ソレデ初メテ選擧ヲ開始スルガ如キハ、不見識至極デアルト私共ハ存ズルノデアリマス、又市町村制ニ於キマシテハ、選擧シタル後ニ於テ知事ノ認可ヲ得ベシト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、自己ノ信ズル所ノ町村長ヲ選擧シテ、知事ノ認可ハ何モ必要ノナイコトデアリマス、此間ニ於テハ從來弊害モ少カラザルコトデアルノデアリマス、仍テ自ラ發意シ、自ラ之ヲ決定シテ、直チニ市長トシテ就職シ得ル、所謂自主獨往、此事ハ洵ニ自治體ノ上ニ於テ一面カラ觀察致シマスレバ、取扱ヲ粗略ニシタガ如クニモ思ヘマスガ、實ハ然ラズシテ、自治ノ本義ニ合シ、自治體ノ上ニ清新潑溂ノ意氣ヲ與ヘタルコトデアルト存ズルノデアリマス、併ナガラ私共ハ一面ニ於テ此市町村長ノ地位ヲ優遇セナケレバナラヌト云フコトハ、選擧ト別問題デゴザイマスガ故ニ、市長ナドニ於キマシテハ、我黨ノ希望ニ依リ、宮中等ニ於キマシテモ相當ノ御優遇ヲ賜ハルヤウ、町村長ナドニ於キマシテ、自治ノ功勞ニ對シテ叙位、叙勳其他ノ表彰ヲ致シマシテ、其優遇方法ヲ講ズルト云フコトハ洵ニ至當デアルコトヲ信ジ、是亦我黨ガ主張シ、多數委員諸君ノ御贊成ヲ得タコトハ洵ニ欣幸ト致ス次第デアリマス、政友會ノ諸君ハ、先刻植原君ノ如キハ市町村長ノ公選論ヲ主張致サレタノデアリマス、私共モ趣旨ニ於キマシテハ洵ニ結構デアリマシテ、何レ近ク其機會ノ來ラムコトヲ欲スル者デゴザイマス、唯、市長ヲ公選ニスルト云フコトノミヲ以テ、市長ノ權限ヲ殖スコトニ考ヘ及バナカッタコトハ、如何ニモ徹底ヲ缺キタルモノデアルト思フノデアリマス、例ヘバ市制ノ第二條ニハ「市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍內ニ於テ其ノ公共事務ヲ云々處理ス」ト云フコトガアル、法令ノ範圍內ニ於テ其公共事務ヲ處理スト云フ、此法令ノ範圍內ニ於ケル公共事務ノ擴張ヲシナケレバナラヌノデアル、唯、只今ノ自治體ニ於テハ繁瑣ナル色々ノ法律命令ニ限ッテ市ハ縛ラレテ居ル、苟モ公選ニシタル以上ハ、市長ノ權限ヲ增サムコトヲ考ヘナケレバナラヌ、然ルニ此點ニ於テハ少シモ修正ノ意見ガ現ハレテ居ラナイデアリマス、苟モ公選ニシタル以上ハ、又市會ニ對シテ、原案執行權ノ如キモ之ヲ與ヘナケレバ、公選ニシタ意義ガ徹底シナイノデアリマス、此點ニ對シテ唯、徒ニ名ヲ公選ニシタダケデ、時勢トモ合ハズ、權限現狀ノ儘デ、市町村長ヲ公選スルガ如キハ、徒ニ地方團體ニ於テ黨爭ヲ甚シクスル以外ニ、何モノ、貢獻スル所ガナイノデアリマス（拍手、「ノーノー」）諸君私共ハ此點ニ對シテ、斯樣ナ三個ノ意見及ビ二ツノ希望條件ヲ附シタノデアリマシテ、私共ノ主張ヨリ見マスレバ、尙ホ一憾ノ點ガアルノデアリマスガ、何レ適當ノ機會ニ於テ之ヲ實現致シタイト思フコトヲ、茲ニ天下ニ聲明致サントスル者デゴザイマス、右ノ主旨ニ依リマシテ願クハ委員會修正通リ、卽チ我黨ノ主張ニ御贊成アランコトヲ切望致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）　石坂豐一君

（石坂豐一君登壇）

○石坂豐一君　私共ハ只今上程サレテ居リマス所ノ府縣制改正案其他六件ノ法案ニ對シマシテ、我黨提出ノ意見ニ贊成ヲ表シ、茲ニ其趣旨ヲ辯明致スト共ニ、反對ノ諸君ニ對シテ一言吾々ノ主張ヲ闡明シナケレバナラヌ必要ヲ認メルノデアリマス、甚ダ時間切迫致シマシテ、皆樣モ御退屈デアリマセウガ、暫時御淸聽ヲ汚シマス（謹聽）吾々ノ考フル所ニ依リマスト云フト、我國ノ自治ハ、明治時代ニ於キマシテハ指導ヲ主トシテ施行シテ居ッタノデアリマス、又大正ニ入リマシテハ此指導的ヨリ轉換致シマシテ、市町村民ノ自覺ニ基ク所ノ自治ニ變ッタノデアリマス、是ハ時勢ノ進歩ニ伴ヒマシテ當然ノコトデアリマスガ、市町村民ノ自覺ニ伴ヒマシテ、當然法律モ相當ニ改正シナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、今回政府ノ御提案ニナリマシタ所ノ改正ハ曩ニ植原君ノ述ベラレタカ如ク、又諸君ノ御主張ニナッテ居ルガ如ク、衆議院議員選擧法ノ改正ニ伴ヒ、選擧權及被選擧權ノ擴張ト、今一ツハ郡役所ノ廢止ニ伴ヒマシテ、之ニ必要ナル改正ニ基イテ居ルノデアリマス、內務大臣ハ此改正ニ對シテ四ツノ理由ヲ申シテ居ラレルノデアリマスガ、其根本ノ必要ハ今申シタ二ツニ外ナラヌノデアリマス、故ニ內務大臣ハ四ツノ理由ヲ揭ゲテ居ラレルケレドモ、其實ハ加藤君ノ述ベラレタガ如ク、選擧權及被選擧權ハ當然ノ擴張ヲナサレタニ過ギズシテ、其他ノ所謂自治權限ノ擴張竝ニ自治機關ノ改善、此二ツニ付テハ何等觸レテ居ル所ガナイト信ズルノデアリマス（拍手）選擧方法ノ改正ニ付キマシテモ、是亦徹底セザル所ガアルノデアリマス、吾々ハ曩ニ赤間君ノ說明ニ依リマシテ、今ハ多クヲ語リマセヌケレドモ、先ノ由谷君ノ反對論ニ對シテ、少シク赤間君ノ辯明ヲ補足シテ置キタイト思フノデアリマス（謹聽）ソレハドウ云フ點デアルカト申シマスト、市町村會議員ノ員數ヲ增加シテ置キナガラ、府議會議員ノ定數ヲ增加シナ

カッタノハ如何ナル譯デアルカ、斯樣ノ御質問デアル、是ハ從來ノ府縣會議員ノ定員ト、市町村會議員ノ定員トノ割方ガ全ク違フノデアリマス、從來ノ市町村會議員ハ、今日ニ於テ村ト云フ所ニ於テハ級別ヲ廢シテアリマスガ、大ナル町及市ニ於テハ依然トシテ級別選舉ニナッテ居ルノデアリマス、其級別選舉ヲ今回ノ改正ニ依ッテ撤廢シマスルガ故ニ、所謂此點ノ調和ヲ取ランガ爲ニ議員ノ員數ヲ增加スル必要ヲ認ムルノデアリマス(拍手)由谷君御存知ノ如ク、府縣會議員ニハ決シテ級別選舉ハナカッタノデアル、其級別選舉ヲ廢スルト同時ニ、所謂各階級ヲ代表スル所ノ議員ノ定數ヲ增加スルコトニ依ッテ、初メテ被選舉權擴張ノ意味ヲ成スノデアリマス、此點ニ於キマシテ明敏ナル由谷君ガ、此點ヲ御察シナカッタト云フコトハ頗ル遺憾ニ存ジマス、又甚ダ些々タル事デアリマスガ、由谷君ハ法文ノ假名遣ヲ直シタ事ニ付テ御批評ニナリマシタ、斯ノ如キ事ハ赤間君ノ唱ヘラレタガ如ク、必シモ文法ニ拘泥スル必要ハナイノデアル、數十年來慣レ來ッタ所ノ法律用字例ニ依ッテ――法ノ全體ヲ通ジタル所ノ用字例ニ從フト云フコトハ當然ノ事デアル(「ヒヤ〳〵」拍手)若モ所謂字典ニ拘泥スルト云フコトデアルナラバ、第一貴方ノ御名前ヲ「ユタニ」君ト云フノハ間違ッテ居ルノデアル、若シ貴方ヲ「ヨシタニ」ト云フナラバ貴方ハ之ニ奇怪ナル返辭ヲ爲サルデアラウ、左樣ナ事ヲ申サルヽモノデハアリマセヌ(拍手)世ノ中ニ通ッタ事ハ通ッタ事デ宜シイ、法律モ之ヲ認メルノガ當然デアル、其次ニ私ガ申上ゲタイコトハ、市町村長ノ公民選擧、此公民選擧ニ伴ッテ法律上相當ノ權限ヲ附與シテナイト云フコトニ言及セラレマシタ、只今加藤君モ其點ヲ述ベラレマシタ、併ナガラ吾々ノ信ズル所ニ依リマスレバ、斯ノ如キ法律上ノ權限ヲ振舞フト云フコトハ既ニ遲イノデアル、吾々ハ民衆ノ公正ナル判斷ト正義ニ基ク所ノ力ニ依ッテハ、其識見高邁ナル者ヲ市長ナリ町村長ニ選ブコトニナッタナラバ、町村長ノ職務ハ立派ニ成シ遂ゲラレルト信ズルノデアリマス(「ヒヤヒヤ」拍手)町村長ニハ警察權モ附與シテアリマセヌ、又原案執行ノ規定モアリマセヌ、ソレハ御說ノ通リデアル、併ナガラ民衆ノ公正ナル判斷ハ警察力ニモ勝ルノデアル、民衆ノ熱誠ナル所ノ判斷ハ兵力ニモ勝ルノデアリマス(拍手)諸君ハ此點ヲ考ヘズシテ、徒ニ法律ノ枝葉末節ニ心ヲ留メラレテ居ルト云フコトハ、甚ダ吾々ノ遺憾トスル所デアル、ソレカラ更ニ只今加藤君ノ御說ニ依リマシテ、本黨ノ諸君モ此修正ニ御滿足ニナッテ居ラヌヤウデアル、然ラバ本黨ニ於カレマシテモ、飜然トシテ吾々ノ努力ニ依ッテ修正ヲ致シタル所ノ此修正ノ全部ヲ鵜呑ニ爲サッタ方ガ宜イデハナイカ(拍手)此際ニ於テ時間ガ無カッタトカ、色ヽノ事ヲ言ッテカラニ、之ニ辯明ヲ附セルト云フコトハ、國民ヲ欺クモノナリト信ズルノデアリマス(「ヒヤ〳〵」、拍手)ソレカラ郡ノ名稱ニ付テ言及セラレマシタガ、此點ニ付テハ我國ノ郡ノ歷史ハ頗ル古イノデアッテ、現在一万二千餘ノ町村ノ中デ、郡ノ名稱ヲ除リマシテ直ニ世間ニ通リ得ル町村ト云フモノハ、サウ餘計アリマセヌ、僅ニ町デアルトカ、大キナル村ト云フヤウナ所ハ、或ハ郡ノ名稱ヲ除ッテモ通ズルカモ知レマセヌガ、其他ノ大多數ハ郡ヲ省キマシタナラバ、決シテ世間ニ通ラナイノデアリマス、サウシテ永久ニ施行スベキ所ノ府縣制ノ中ニ、從來郡長ノ管轄タル區域、若クハ島司ノ管轄タル區域ト稱スルガ如キ、長タラシイ文字ヲ用ヰテ永ク存續シテ置キマシテモ、十年二十年ノ末ニ行キマシタラ、誰モ了解スル者ハ無イト信ズルノデアリマス(「ヒヤヒヤ」)私共ハ此際ニ於テ地方制度ノ如キモノハ、左樣ニ頻繁ニ改正スベキモノデハナイ、相當ノ機會ニ於テハ出來ルダケ十分徹底スル所ノ改正ヲ施シマシテ、サウシテ地方人民ニ其運用ヲ慣熟セシメルノ必要ガアル、今日一條改メ、明日又數箇條ニ修正ヲ加ヘテ、サウシテ何時モ改正ニ改正ヲ加ヘルト云フコトハ、國民ヲシテ不安ノ域ニ陷ルヽモノデアル、故ニ吾々ハ茲ニ十分ノ努力ヲ以テ本案ヲ修正シテ、敢テ諸君ノ御協贊ヲ求メル次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　是ニテ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマスガ、之ニ先ダッテ一言致シマス、赤間君ノ修正案モ、土屋君ノ修正案モ、共ニ委員長報告ノ修正ト共通ノ點ハアリマセヌ、茲ニ採決ノ順序ニ付テ御諮リヲ致シタイト思ヒマスガ、先ヅ府縣制中改正法律案、市制中改正法律案、町村制中改正法律案、北海道會法中改正法律案、此四案ヲ一括シテ採決ヲ致シマス、而シテ此四案ニ付キマシテハ赤間君外九名提出ノ修正案ガアリマス、其外ニ市制中改正法律案外二案ニ付キマシテハ、土屋清三郎君提出ノ修正案ガアリマス、其外ニ委員長報告ノ修正デアリマス、之ヲ順次赤間君ノ修正、土屋君ノ修正、委員長ノ報告、斯ウ云フ順序ニ依ッテ之ヲ採決ヲ致シマス、次ニ北海道地方費法中改正法律案ノ採決ヲ致シ、最後ニ水利組合法中改正法律案、徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案、此二案ヲ一括シテ順次採決致シマス、之ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、仍テ其通リノ順序ヲ取ッテ採決致シマス――先ヅ府縣制中改正法律案、市制中改正法律案、町村制中改正法律案、北海道會法中改正法律案、此四案ニ對シマスル赤間君外九名御提出ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○議長(粕谷義三君)　起立少數デアリマス、仍テ修正案ハ否決セラレマシタ――次ニ市制中改正法律案外二案ニ對スル土屋清三郎君御提出ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○議長(粕谷義三君)　起立少數デアリマス、仍テ修正案ハ否決セラレマシタ――最後ニ委員長報告ノ修正ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告修正通リ決定致シマシタ、次ニ委員長報告ノ修正ノ箇所以外ハ原案通リ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、仍テ其通リ決シマシタ――次ニ北海道地方費法中改正法律案ニハ、赤間君外九名御提出ノ修正ガアリマス、其修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○議長(粕谷義三君)　起立少數デアリマス、仍テ修正案ハ否決サレマシタ――次ニ本案ノ委員長報告ハ可決デアリマス、之ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長ノ報告通リ可決致シマシタ、最後ニ水利組合法中改正法律案、徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案、右二案ハ何レモ委員長報告ハ可決デアリマス、兩案ヲ一括シテ委員長ノ報告通リ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、兩案トモ委員長報告ノ通リ可決致シマシタ、是ニテ七案ノ第二讀會ヲ終局致シマス

○作間耕逸君　直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君)　作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ七案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

府縣制中改正法律案　第三讀會
市制中改正法律案　第三讀會
町村制中改正法律案　第三讀會
北海道會法中改正法律案　第三讀會
北海道地方費法中改正法律案　第三讀會
水利組合法中改正法律案　第三讀會
徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案　第三讀會

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ノ議決通リ、可決確定致シマス――議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス――山本芳治君

○山本芳治君　簡單デアリマスカラ此席カラ發言ヲ御許シヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君)　許シマス

○山本芳治君　本月十三日ノ本會議ニ於ケル本員ノ演說中、本黨ノ諸君ニ御考慮ヲ煩シタイト申シタ言說ノ中ニ、若シ不穩當ノ言葉ガアリマスレバ、ソレハ決シテ惡意カラ出タモノデハアリマセヌ、而シテ議場ガ騷々シカッタ爲ニ、論旨ガ徹底シナカッタカモ知レマセヌガ、當日ノ速記錄ヲ御覽下サイマシタナラバ、本員ノ意見ノ在ル所ハ十分ニ御諒承下サルト思フノデアリマス一言釋明致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　次ニ日程第四十八乃至五十八同一委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四十八、日本勸業銀行法中改正法律案、日程第四十九、農工銀行法中改正法律案、日程第五十、北海道拓殖銀行法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ一讀會ノ續ヲ開キマス――委員長山本厚三君

第四十八　日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出貴族院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十五日

日本勸業銀行法中改正法律案委員長

衆議院議長粕谷義三殿

山本　厚三

第四十九　農工銀行法中改正法律案（政府提出貴族院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一農工銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十五日

農工銀行法中改正法律案委員長

山本　厚三

衆議院議長粕谷義三殿

第五十　北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出貴族院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）

右本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十五日

北海道拓殖銀行法中改正法律案委員長

山本　厚三

衆議院議長粕谷義三殿

〔山本厚三君登壇〕

○山本厚三君　日本勸業銀行法中改正法律案外二件ノ委員ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報告致シマス、本案ノ改正ノ要旨ニ付テハ、改メテ申上ゲル迄モアリマセヌカラ、是ハ省略致シマスガ、之ニ對シマシテハ二日間ニ亙ッテ委員諸君カラ非常ニ熱心ナル御質問ガアリマシテ、其御質問ハ非常ニ多岐ニ渉リマスルガ、其二三ダケハ如何ニ時間切迫ト雖モ報告ヲ致サナケレバナラヌカト考ヘマスカラ、暫時御清聽ヲ煩シマス、其本案ニ直接ニ關係ノアリマスル希望ノ點、卽チ質問ノ要點ハ、今回ノ改正ニハ非常ニ有益ナ改正ガアルケレドモ、其中ニ水産組合ニ對スル所ノ資金供給ノ途ガ開イテナイ、是ハ政府ニ於キマシテハ水産組合ト云フモノハ特ニ仕事ヲシテ居ラヌ、又其組合ニ組合費强制徵收ノ權利モ與ヘテ居ラヌ、故ニ水産組合トカ或ハ漁業組合ニ對シテハ、特ニ此途ガ與ヘテアルガ、水産組合ニ對シテハ之ヲ除外シタト云フ御意見デアリマスガ、實際ノ模樣ヲ調ベテ見ルト、水産組合ニ於テモ可ナリ仕事ヲ致シテ居ル、又資本ヲ融通スル途ヲ付ケレバ十分ナル仕事ガ出來ルノデアリマス、此途ガ缺ケテ居ルガ故ニ、特ニ此仕事ガ少イノデアル、又此質問者ノ要旨ハ、日本ニ於ケル水産ノ養殖ト云フ事ニ付テハ非常ニ研究ガ足リナイ、之ニ就テハ殊ニ水産組合ニ資金供給ノ途ヲ設ケテ、一層積極的ニ産業ノ發展ヲ圖ラナケレバナラヌト云フノガ趣意デアリマシテ、是ハ政府ニ於テモ其趣意ニ付テ諒承サレタ次第デアリマス、今一ツ直接關係ノアリマスルノハ、是等ノ幾多ノ新シキ金融ノ途ヲ開イタ爲ニ、サナキダニ此産業方面ニ資金ガ少カッタモノガ、一層此供給ノ途ガ少クナッテ、農村ノ資金ニ對シテ缺乏ヲ來ス虞ハナイカ、斯ウ云フ事ニ付テ可ナリ熱心ニ質問ヲサレマシタガ、之ニ就テ政府ハ是等ノ今回資金ヲ新ニ供給シマス所ノ三ツノ組合、是等ノモノハ矢張從來モ是等ノ銀行ニ於テ資金ヲ供給シ來ッタモノト同一性質ノモノデアッテドウシテモ此際是等ノモノニハ資金供給ノ途ヲ與ヘナケレバナラヌ、卽チ農村資金ト云フモノト同一ノ意味ニ於テ之ヲ許シタノデアル、斯樣ナル御答辯デアリマシタ、其他特殊銀行ニ對シテ金利ガ非常ニ高イ、例ヘバ北海道拓殖銀行ノ如キニ於テハ、一割近キ金利ヲ持ッテ居ルカラシテ、之ニ對シテハ政友會ノ方カラノ御質問デアリマスガ、割增債券ノ發行ヲ許シテ、現在ノ土功組合等ニ一割近キ資金ヲ供給シテ居ルカラ、是等ニ對シテハ割增債券デモ許シタナラバ、低利ヲ供給スルコトガ出來ルデアラウト云フ熱心ナル御希望兼御意見ガアリマシタガ、之ニ就テハ割增債券ハ出來ヌ、斯樣ナ場合ニ割增債券ヲ許スコトハ、今日政府ハ許ス考ハナイト云フ御意見デアリマシタ、其他二三ノ重要ナル御質問ハアリマシタガ、是ハ速記錄ニ於テ諸君ノ御覽ヲ願ヒタイト考ヘマス、斯樣ナ質問應答ノ結果討論ニ入リマシテ、滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、但シ本黨ノ佐藤君ヨリ、又憲政會ノ岡本君ヨリ此水産組合ニ對シテハ、ドウシテモ此金融ノ途ヲ開ク必要ガアルカラ、政府ニ於テハ十分調査ヲ致シテ適當ノ時期ニ其途ヲ與ヘテ貰ヒタイ、是ハ、希望條件デハアリマセヌガ、單ニ希望ヲ述ベラレマシタ、政府モ之ニ對シマシテハ、十分考慮ヲスルト云フ御答デアリマシタ、斯樣ニ致シマシテ、滿場一致無修正デ可決致シタ次第デアリマスアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　質問ノ通告ガアリマセヌカラ、直ニ採決ヲ致シマス、三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○作間耕逸君　三案ヲ一括シテ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　作間君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

日本勸業銀行法中改正法律案

第二讀會（確定議）

農工銀行法中改正法律案

第二讀會（確定議）

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第二讀會（確定議）

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ、三案トモ委員長ノ報告通リ可決確定致シマシタ

○作間耕逸君　殘餘ノ日程ニ對シテ延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時五十八分散會

衆議院議事速記錄第二十九號中正誤

頁	段	行	誤	正
七七〇	一	六	金鵄勳章年金令中改正法律案	金鵄勳章年金ニ關スル法律案

衆議院議事速記錄第三十號中正誤

頁	段	行	誤	正
七九一	四	六	摘約	摘譯
同	同	一一	人間	者
同	同	二〇	專賣局ノ販賣人ニ對シテ	政府的元賣捌人ニシテ
七九二	一	九	二十分	四十分
同	同	四二	代耕物	對抗物
同	二	三五	一點	六點
同	三	二三	自由	需要
同	四	一一	其他ノ	衍
同	同	一五	鹽ハ	鹽產量ハ
同	同	一七	太沽	塘沽
八〇七	一	五	太沽	塘沽
同	一	六		